秩父宮殿下

戰史御研究のため けさ旅順へ向はせらる

特別列車にて陸大生と御共に 御氣色彌よ麗し

滿洲の第一夜を大連ヤマトホテルに過ごさせ給うた秩父宮殿下には前日の御繁忙なる御見學に御疲れもあらせられず九日朝六時十五分早くも御目覺めあり六時四十五分洋食の御朝食を攝らせられ午前七時二十分ヤマトホテル御出發、御沿道に堵列した各學校團體及び一般市民がお名殘を惜み奉送申し上げるうちを大連驛に向はせられ、七時三十分發特別列車にて宇佐美滿鐵鐵道部長の御先導により御附諸官及び御同窓の陸大生一行五十餘名及び藤根滿鐵理事、藤井秘書役、大連まで御出迎ひ申したる三宅軍參謀長、二宮憲兵隊長、中谷警務局長其他を隨へさせられいと御機嫌麗しく旅順へ向はせられた

畏し、奉迎者に謁を賜はる

旅順驛御着の宮殿下 沿道堵列者に御會釋

かくてお召列車が同八時四十分、朝風に日の丸の國旗を飜へしつゝ靜かに旅順驛ホームに停車すれば宮殿下には本間、淺見兩御附武官を隨へさせられて、太田長官、畑軍司令官以下在旅官民多數の奉迎を受けさせられつゝ陸軍大尉の御通常服なる颯爽たるお姿にて徐ろに掃き淸められたるプラットホームに降り立たせ、直ちに設けの御踏臺より正面に整列奉迎せる名越第九聯隊長以下百十六名の陸軍將校、久保田駐在武官以下三十九名の海軍將校、中島翻譯官以下百十三名の關東廳關係文官及び在鄕軍人、地方有志に對し御會釋

列立賜謁 次いで九里驛長御先導・鐵道部長御誘導にて驛構內貴賓室に入らせられ、こゝにて再び長官、軍司令官以下厚東要塞司令官、藤田軍經理部長、宮崎軍醫部長、井上工大學長、安岡檢察官長、土屋高等法院長、長谷川教授、西山民政署長、中谷警務局長東畑市會議長、永山市長の順にていちいち單獨賜謁の後、關東軍よりの軍一號の御召自動車にて驛を基點に御道筋東洋橋袂までの驛前通沿道の兩側に整列した陸海軍人、學校團體及び一般奉迎團數千人の

赤誠溢る る奉迎に對し御會釋を賜ひつゝ白玉山南道を山上の納骨祠へと向はせられた

戰歿將士の英靈を懇ろに弔はせ給ふ

白玉山納骨祠に御會釋をたまひ 戰跡を御巡行、往時を偲ばせらる

宮殿下には午前九時、お召自動車にて白玉山表忠塔下に御到着、こゝより納骨祠參道まで堵列の團體代表、在鄕軍人、工大學生、旅順一中、青訓、少年團に對し御影池學務課長の御誘導にて畏くも賜謁の後、厚東要塞司令官の御誘導にて

納骨祠 にいとも懇ろに御會釋あり日露戰役戰歿將士の英靈を弔はせ給うた、それより先着の陸大生一同にお加はり遊ばされ三宅參謀長の御誘導にて祠前に於て旅順港や各砲臺を御遠望、關東軍高橋參謀より旅順の一般地形に就て約五十分間に亘り戰役當時の狀況並に將來に於ける旅順等につき詳細なる說明を御聽講あらせられたが、宮殿下には終始地圖や双眼鏡を御手に遊ばされ、納骨祠表忠塔などをカメラに納められて後同九時五十分御下山、東洋橋を經て殿島町乃木町三丁目裏通りを御通過鰭江町を經て土屋町派出所前より戰利品陳列館にお成り、約四十分間にわたり細川砲兵少佐より當時の彼我軍器、寫眞、模型、占領品等の說明を御聽取、當時の

苦戰を 偲ばせ給ひ御感慨深げに拜せられた、十時四十分同館御發黃金山要塞口に成らせられた、同地は旅順港口に面せる高臺で港內外を掌指する最重要の要塞口で久保田海軍駐在武官及び廣瀨中佐と共に港口閉塞決死隊に參加した在旅順松崎一等機關兵曹より閉塞隊の當時の行動に關し一時間餘に亘り詳細なる御說明を申し上げたが、殿下には殊の外

御熱心 に御聽取種々御下問遊ばされた、時に午後零時十五分、宮殿下には未だ御晝食も攝らせられずそれより一路黃金山道路を北に民政署橫手より伊知地町、憲兵分隊前を御通過、公學堂裏へ右折して柳町、十年町を經て東鷄冠山北堡壘へお成り、同砲臺にて暫く扈從諸官及び御學友と共に畏くも一同と同樣のホテル仕出しのサンドイッチで御晝餐をお攝り遊ばされた

旅順お成りの秩父宮殿下

（上）白玉山納骨祠にお會釋の殿下（下）左―旅順驛頭にて列立賜謁（同右―驛頭に奉迎の旅順の知名士

秩父宮奉迎の輕氣球を揭揚

秩父宮殿下をお迎へ申した大連全市は歡喜の極に達し市民は何れも心から奉迎申し上げたが、わが社では八日連鎖商店御前の廣場に奉迎の文字をつるした長さ十一米突、幅四米突の大輕氣球を晴れ渡つた中空高く揭げた

東鷄冠山で御晝餐

午後の御動靜

東鷄冠山に於て簡單なる御晝餐を終らせられたる宮殿下には午後一時半より村田、河村兩大佐より旅順攻防戰に關する講話を御聽取、それより同三時[illegible]、同四時二龍山砲臺に御成り各一時間それぞれ同砲臺附近の戰鬪狀況を御聽講遊ばされ、同六時偕行社に於ける軍司令官の御招宴に合臨、同夜八時御假泊所たるヤマトホテルに御歸館の豫定である

酒肴料下賜

秩父宮殿下には九日大連御出發に際し水谷民政署長事務取扱並に田中市長に對し御下賜品あり、尙殿下御來連に際し事務取扱に直接關係あつた民政署員並に市吏員及び台臨遊ばされた日淸油房、滿蒙資源館・窯業會社、中央試驗所、大連工場に對し夫々酒肴料を御下賜になつた

けふから春祭り

大連、沙河口の兩神社

九日の宵祭を以て大連、沙河口兩神社の春季大祭は始まるが、大連神社は既に九日朝より參詣人で賑はひ正午までに彌生高女、盲啞學校幼稚園等の各團體の參詣があつた、宵祭は大連は午後六時より、沙河口は同八時より始まり、それぞれ餘興もあるが、十日の本祭には兩神社とも大連市長供進使として參向、神輿の渡御及び電氣遊園には手踊、芝居等の餘興がある、なほ當日電園は入場無料である

窃盜詐欺捕ふ

長春日本橋通材木商松島良平（二〇）は去月初旬滿鮮杭木株式會社出張員と僞稱し市內吉野町五番地名古屋館に投宿、宿料約八十圓に對し滿銀支店拂の不渡小切手三百五十圓を渡して逃走、四月廿一日、東鄕町東鄕旅館に侵入し金側懷中時計鎖付一個（時價百二十圓）を竊取、外數件に亘り竊盜詐欺を働き鞍山に逃走中を六日鞍山署の手に逮捕され九日大連署に護送されて來た

覆面の三人組雜貨商を襲ひ

主人を傷け金を奪ひ逃走す ゆふべ周水子の騷ぎ

八日午後七時三十分ごろ大連管內周水子周水屯一一〇番地雜貨商閻寶貴（三〇）方へ覆面の三人組支那人強盜が押入り、家人數名を縛り上げ、各々手にせるモーゼル拳銃を突きつけて「金を出せ、正直に出さぬと鏖殺するぞ」と凄文句をならべて脅迫、主人寶貴は大洋一圓より持ち合せがないといふや賊は「貴樣は不正直な奴だ、射ち殺してやる」と拳銃を發射し左大腿部に盲貫銃創を負はせ、家人の恐れ戰くのを尻目にかけて家宅搜査を行ひ、大洋一圓と小洋八十錢を強奪「二時間以內に警察へ屆けると祟りが恐ろしいぞ」とをどしつけ宵暗に紛れて逃走した、急報により大連署では御警衛の一部をさいてオートバイで現場に急行、藤井司法主任指揮の下に徹宵非常線を張り犯人搜査に努めたが未だ逮捕するに至らない

視察團の教授 カフエーで暴行

女學生を連れ飮み步き

教育團の滿鮮視察中團々旅行先で醜態を演じ母國教育界の問題となつてゐる折柄、またも大阪帝國女子藥學專門學校教授が女生徒を引き連れてカフエーを飮み廻り亂鬪を演じた不祥事件がある、八日午後十一時ごろ宿屋の浴衣の上にレンコートを羽織つた「先生」と呼ばれる紳士が女生徒らしいのを二名連れ數軒のカフエーを飮み步き強か

酩酊し て市內浪速町カフエー翠香に至り「俺は大正八年の京都帝大出だ」と氣焰をあげ、女生徒の止めるのも聞かず友人溝口某を呼出すといつて電話を掛けたが、先方に通じぬのに腹を立て誰彼れなしに罵倒し居合せた客に迷惑をかけるので、見兼ねた翠香の主人が「生徒が可哀想だから宿へお歸りなさい」と促すと「貴樣は專門學校教授を侮辱するか」と摑みかゝり電話機を投げつけるやら衝立を突き倒すやら亂暴狼藉のところへ

女生徒 八九名と宿屋の帳場等が馳けつけ、手足を取つて連れ歸つた、この亂暴紳士は八日うらる丸で滿鮮見學のため女生徒五十餘名を引率來連した帝國女子藥學專門學校教授間島寬吾氏と判明一行の菅道子女史は同氏の亂暴を翠香主人に深く陳謝して引取つたが、この醜狀を目擊した人々は多數女生徒を預り長途の旅行にある教育者の斯る非常識な行動に非難の聲を放つてゐた

排日鮮人強盜團片割れ十名捕ふ

間島總領事館警察に

【間島特電八日發】間島總領事館警察署では七日から八日にかけて大活動の結果某地點において不逞鮮人十名を逮捕し引續き連類者を搜查中であるが、彼等は共產黨又は革命を標榜する十六名組の排日鮮人の強盜團で殺人の數も多い見込であり、既報鮮人新聞記者および鮮人農業者を殺害したのもこの一味の行爲とみられるので當局は意氣込んで搜查を續けてゐる

滿電バスの晝火事

場所柄とて一時は大騷ぎ

九日午前十時五十分ごろ市內常盤橋滿電自動車部屋上商品物置場より發火、黑煙が濛々としてあがつてゐるのを作業中の滿電軌道係大橋章が發見、急報により駈つけた大連消防署の活動により同十一時十五分雜品木材を燒失したのみで大事に至らず鎭火したが、原因は地下室のストーヴの煙突より火を發して同置場の壁に燃え移つたものらしく、小崗子署から大内署長を始め豬股司法主任外各係官出張實地檢證を行つたが、場所柄とて一時は交通を遮斷され群衆道路兩側に垣をなして非常な騷ぎであつた損害輕微

支那から優勝盃寄贈

極東大會に

【東京九日發電】今回の極東大會には國民政府側から左の優勝盃を寄贈することゝなつた

一、主席蔣介石盃（一般選手權）
一、外交部長王正廷盃（野球選手權）
一、教育部長蔣夢麟盃（蹴球選手權）
一、工商部長孔祥熙盃（バレーボール選手權）

中華青年運動會

來月八日第九回中華青年大運動會が譚家屯の大連運動場で擧行される事になり目下着々準備中である、日支各方面より賞品の寄附が多いが本社よりは例年の通りメダルを贈る事になつた

艷色生膽祕譚 (106)

伊藤松雄作　河原緑鶴太郎畫

品川沖 (三)

「思ひもかけぬ人、本人ではないが」

さう云はれて蘭川、ぢつと考へたが、

「あツ!」

「思ひ當りましたか、確にお仙とやら申さるゝ御婦人からの使ひと睨みました。蘭川殿の名をかたつてな、それも今朝のことでした」

「ほう、どんな風態の仁がまいりましたな?」

「變裝か知れませんが、乞食のやうな」

蘭川は蒼白んだ額に油汗をしたらせて眼を瞑つた。

ヴァンヴキーラは立上ると、氣付の酒瓶を卓上へとりおろした。

「あなた疲れてゐます、顏色も尋常でありません。一盃やるとよろしい」

「ありがたう御座います」

「えゝ、そりや眞實……」

「えゝ——」

さうなると蘭川にも見當がつかなかつた。

「は、は、御心配なさるな、あなたの思つて居らるゝ事件とは違ふでせうよ」

「と仰有るは?」

「近頃江戸に起つた怪死事件、其ひつかかりではありませんか?」

「ほ、ほう、それは初耳」

「下谷の藥種商、それ蘭川殿も御存知の筈ぢや」

「あつ、大黒屋才兵衞」

「さうです、その人毒藥で殺られました」

「うーむ、それもお仙に違ひありません、恩を仇で返す奴です。追分宿で私がたてゝやつた策をそのまゝ、お仙めに違ひありません」

「ま、お待ちなさい、これからどこへゆかれるのです」

の上へ腰をおとした。

「充分眠るがよろしい」

ヴァンヴキーラが室を出ていつてしまふと、蘭川はそのまゝウトウトまどろみはじめた。

とばりが、ヅッシリ重く垂れた部屋内は瀟暗く、彼の眠りは何ものにも邪げられなかつた。

折々唸くは惡夢にうなされでもしてゐるのか?

それとも旅疲れに加へて、おもいもかけぬお仙の出現に鼎蟄した彼。

身心の過勞からか?

蘭川は血相變へて立上つたが、ヴァンヴキーラにかういはれてハツト氣付けば、窓外は、はやしらじらと朝の光が流れてゐるのだつた。

「しまつた!」

舌打して蘭川ぐつたりと長椅子

時刻は曉に近づいたと見え、溝潮か、波音がだんだん近く響いてきた。

舌に燃える酒をグッとやると、漸く人心地がついて來たらしい。

蘭川は碓氷の峠で崖下へおちた折、くぢいた左の手首を療治するため、磯部の湯宿にかくれて十日餘り、漸く痛みがうすらいだを幸ひ、駕籠の垂れをふかぶかとおろして江戸入りしたのであつた。

が、湯島の邸近くへ來ると、何故か邊りが嚴しく戒められてあるらしい際にヒヨイと氣付いた。

閉された門前にも裏門口にも怪しい風態の男が立話をし乍らそれとなしに周圍に眼を配つてゐる。

「しまつた、こいつアお仙の阿魔め、いま頃になつて一件を訴へ出たな」

で、そのまゝ蘭川、人眼をしのびしのび神奈川宿へ入りこんだのである。

處へきかされたのが、

「變裝——乞食風で蘭川の名をかたり……」

と來た。

「ヴァンヴキーラ先生、何用だと申しましたか?」

「例の、物持參いたしましてな」

第六回 滿日勝繼碁戰

(林勝四回目 氏三回)　二段 林 仁作氏　二子 井上 太市氏

○四一ヲの十五	●四二ルの十六	○四三ワの十四	●四四ヌの十六	
○四五レの十七	●四六タの十七	○四七ソの十五	●四八ヨの十一	
○四九ヨの十	●五〇カの十一	○五一ヌの十四	●五二リの十四	
○五三ヌの十五	●五四リの十六	○五五ワの十八	●五六ヲの十八	
○五七レの十八	●五八カの十	○五九ヨの十八	●六〇リの十三	

キネマと演藝

秩父宮殿下拜寫

關東廳と滿鐵の映畫班

關東廳及び滿鐵の映畫班にては今回御來滿遊ばされた秩父宮殿下の御動靜謹寫を許可されたので關東廳では澁野技師、滿鐵にては早川技師が日々の御動靜を拜寫し奉ることゝなり八日の御來連より兩映畫班は活躍をつゞけてゐる

踊る幻影

絕讃された「何が彼女をそうさせたか」に次いで帝キネが鈴木重吉監督と高津慶子のコンビネーションに杉狂兒を加へて、この三人のトリオで製作した現代劇である。

◆そしてこの一篇によつて鈴木重吉はそのテクニシャンであることを充分に示してゐる、三木茂のカメラも監督の注文を生かしてベストを盡してゐる。

◆物語りはサーカスの道化師がスクリーンに描いた夢であり、題名通りにそこに幻影が踊るのであるる、だから道化師が映畫を見るところから幻影を描き出し、ガルボのラブロオマンスのハッピイエンドで終るため、少々難解な筋であるが、「踊る幻影」の題名を頭に置いて見れば譯なく物語は諒解される。

◆だから、道化師がスクリーンを見始めてからの俳優の演技監督手法、その他一切の脚色演出が誇張に過ぎたり、その映畫表現一切が現實性に乏しくても、その缺點らしく見える凡てによつて踊る幻影が描き出されてゐる特殊の作品なのである。

◆俳優では何と言つても杉狂兒の三太郎が第一である、高津慶子は松竹座の樂劇生としての光りがこの一篇で強く見出される、それに奇術師に扮した若葉馨が嫌な役所をよくこなしてゐるのも注目される。

◆要は鈴木重吉が思ふ存分技巧をこらして踊る幻影を描き出したところに興味をそゝる一篇である

【十日から演藝館上映】

協和會館映畫「アスファルト」

大連滿鐵社員倶樂部にては十日午後七時半から協和會館で映畫會を催しドイツウーファ社作品ペティ・アーマン主演「アスファルト」九卷を封切上映する、會費は大人五十錢小人三十錢會員外一圓

演藝日記

▲五月七日　昨夜の試寫でデュープらしいといふ疑ひのあつた「アスファルト」がけふの滿鐵社會課の試寫で斷じてデュープでない、特殊なレンズによつてクランクされたものでウーファのプリントによくある例だとの見解が正しいことになつたから専門家の多い滿鐵の意見により昨報の「デュープで細部が味はれない」といふことは取消す。またゆふべの試寫を見損ねた人のために今夜もバレてから常盤座で「アスファルト」の試寫會が催された

げふから大日活で封切の「大忠臣藏」を里見、淺洋が特別應援で解說するが▲大日活側の話によれば里見はまだ正式に入つた譯でないとのこと▲滿活社の森氏が兩三日前から來連して大いに暗中飛躍をしてゐるが、その結果は相當注目されてゐる▲また大日活では試みとして「大忠臣藏」の特別興行に新しい優待券を贈呈する▲今週の入場者は洩れなく次週公開の「テンピ」の割引券を贈呈する▲今夜は大連神社の宵祭で大日活がスタートを切り明日の本祭には常盤座が「アスファルト」演藝館が「踊る幻影」で初日の蓋開け▲また歌舞伎座は昇之助の初日で春祭りに珍しい興行戰が開展される

大連 JQAK

五月十日午後七時

▲童謠(イ)ほうほう螢(ロ)蝶々の子供
▲ハーモニカ(イ)エスツチデイアンチナ(ロ)トルコの女王
▲浪花節「南部坂雪の別れ」(四面)
▲和洋合奏(イ)元祿花見踊(ロ)京鹿子娘道成寺
▲長唄「都鳥」(二面)
▲ジヤズソング(イ)ふるさと(ロ)春の行進曲
▲新民謠(イ)大森海岸小唄(ロ)海苔の唄
▲スポーツ小唄(イ)勝利の唄(ロ)早慶戰時代の唄
▲歌舞伎劇「伽羅先代萩」(二面)
▲浪花節「金州城攻擊」(四面)

(昭和三年十二月二十五日第三種郵便物認可)

萬泉刃物店

大連市浪速町三丁目

インデアン

プリンス 350c.c. ¥610. チーフサイドカー付 ¥1350.
スカウト 37 560c.c. ¥710. チーフリヤカー付 ¥1360.
スカウト 47 750c.c. ¥790. 4シリンダーサイドカー付 ¥1400.

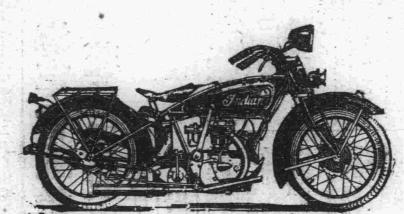
マンシュー ダイリテン
フクコー コンス
ダイレン カンブドーリ
デンワ 6131.6132.

京大教授 文學博士 小西重直著
教育の本質觀
▼世界最初の教育本質論
▲教育界の燈明臺!
▼教育學絶好の教科書!
▼先生一生の念願の著!
グローブ筆「スタンツ孤兒院に於けるペスタロッチー」三色版口繪入上製
四六判 二〇〇頁 定價一圓二十錢 送料八錢

玉川叢書
成城學園長 玉川學園長 小原國芳著 四六判上製堂々七百頁の大册
50版
母のための教育學
▼重版また重版遂に五十版突破!
▼教育出版界の驚異!
▼女性として此書だけはゼヒ日本の子供達のために一本を
▼四圓を二圓五十錢に斷然値下
定價二圓五十錢 送料十四錢

小西・桑木 兩博士監修
文科大學講座 全十五巻
(説明書進呈)

東京府下町田町 振替東京二六六六五
玉川學園出版部
東京牛込河原町四 振替東京一五四二三

進增率能

TRADE MARK
DETROIT TWIST. DRILLS

元 入 輸
ホーン株式會社

ドリルノ覇王
デトロイト・トリル

1. DD印H.Sドリルは克く他製品の十本に相當す
2. 切れ味正宗の如く耐力象の如し
3. 製法全く獨特なり乞ふ型錄を見よ
● 時代はハイスピードを要求す ●

專賣販理代
鳥羽洋行
大連市近江町

越卓力耐

登錄商標
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
地球獅子牌

品質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板

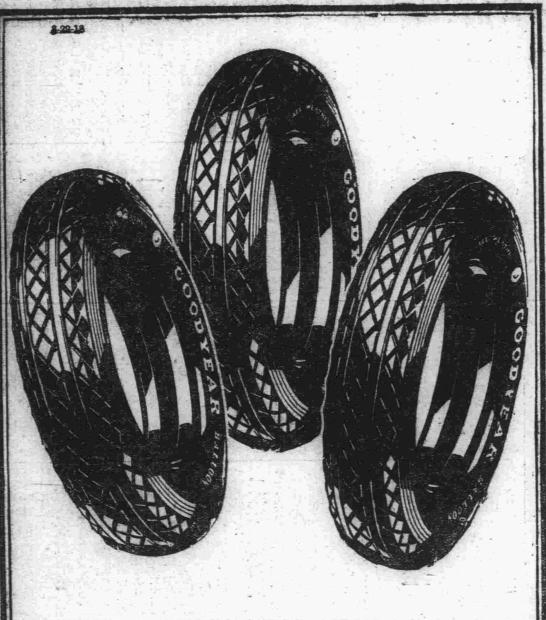
營業課目
鐵材、鋼板、管、棒、コーロ異型鋼
銅眞鍮、板、棒、管、線、鏻銅
亞鉛引針金、平浪板、釘、鋲力板
建築材料及耐火煉瓦
錫、鉛、亞鉛 ニッケル、アンチモニー ハビットメタル
電信、電話用機械及各種材料

TY
株式會社 大信洋行
本店 大連市監部通四十九番地

支店出張所
奉天 大西邊門外路南
哈爾賓 道裡新城大街
長春 城内東三道街
錦縣 城内東街
天津 日本租界桃山町
大阪市 南區安堂寺橋通三丁目

印刷一般
活版・石版 オフセット ジンク版
株式會社 東亞印刷 大連支店
大連市近江町 電話六七八三・九六四六番

建築―設計―監督
構造―計算―鑑定
宗像建築事務所
工學士 宗像主一
大連市連鎖商店街
電話三四九五番

學生用腕時計
新荷着
時計指輪 其他貴金屬一切
與田時計店 本店 支店
浪速町

これ等のタイヤーは無比の信頼と牽引力と耐久力を有すが故に世の人々は他の如何なるタイヤーよりもグッドイヤータイヤーを多く使用して居ます

グッドイヤー・タイヤーチューブ・ベルト及ホース類
代理店 公懋洋行
大連市山縣通二一二
電話五四七三番
振替大連二四三九番

GOODYEAR

良い醤油は……
キッコータツ
大連市伊勢町
丸辰醤油會社
電話四八五八番

大連市紀伊町建築協會三階
小野木 横井
共同建築事務所
工學士 小野木孝治
工學士 横井謙介

一、資本金 二百萬圓(拂込濟)
大連市西通
株式會社 大連商業銀行
一般銀行業務確實に御取扱可申候

發賣元 東京日本橋 近藤利兵衛商店
釀造元 東京淺草 神谷傳兵衛本店

社說　外交案件を整理せよ

日支間の交渉案件にして未解決のもの山積し、しかも當然に解決されねばならぬものにして容易に解決を見ぬのは日支國交のため憂慮すべき事項である。かの商租權問題の如きも當然に解決されねばならぬ問題であるのにも拘らず、その端緒をさへ見出し得ぬとは困つたものである。かくの如き大問題は兎に角として未解決案件は少しも解決整理せられることなく、それからそれへと累積せられつゝあるのは決して喜ばしい現象ではない。

最近、哈爾濱や間島方面で又また問題を起しつゝあるやうであるが支那側は例によつて責任回避、更に誠意の認むべきものがないから日本側の嚴重なる抗議もペーパープロテストとして張合のないこと夥しい。

日本と支那とが、かくの如く接觸し密接なる關係を保つてゐるからには、そこに色々な問題の惹起するのは當然といふべく而して場合によつては解決の困難なる案件の發生することも否定し得ぬところであらう。併しながら如何なる難問題といへども誠意を披瀝し責任を負ふの觀念を以て臨まんか片ッ端から解決整理し得ること明明白白である。

然るに何らの誠意を示さず責任 [illegible]

は、よし土地商租の細目が協定されたにしても日本人の生活程度、生活樣式を以てしては結局 空文に終らんのみと。而して支那の識者中にも朝鮮人は恐るべし併し日本內地人は恐るゝに足らずと。これ抑も何を物語るのであるか。然るに支那側は、ただに商租權の問題のみならず、あらゆる案件に關し常に責任を回避し誠意の披瀝を認め得ぬのは遺憾である。而して最近は問題が紛糾するや例の奧の手として外交權は南京政府になどと回避するのである。

メーデーに際し露支鮮の共產黨員が日本總領事に對し亂暴狼藉の限りを働いた。而して日本官憲は支那官憲の逮捕せる不逞鮮人の引渡しを要求せるに對し彼等鮮人は支那に歸化してゐるものであるからと言を左右にして容易に引渡さんともせず折角の日本官憲の嚴重なる抗議もまたペーパープロテストの常套に陷るのではないかと懷嘆せざるを得ぬのである。無論かくの如く曖昧に腕押しの抗議外交なるものをして今日の如くに至らしめたには日本側にも責任はあるのである。すなはち抗議することを知つて解決することを敢てしなかつた從來の對支外交の結果、遂に彼らから脚下を見すかされるに至つたものといはねばならぬ。

支那側では歸化鮮人などといふが一體、支那に戸籍法などいふものが存在してゐるのであるか。自分の方に都合のよい場合には歸化したといひ都合の惡い場合には不歸化鮮人などといふは法權問題が將に國際間の議題とならんとする際、結局は支那側の現實を暴露することにならぬであらうか。よし彼ら不逞鮮人が支那への歸化は確實なりとして果して然らば日本の總領事公館に對する亂暴狼藉の責任を如何にせんとするのか。

間島方面にありても支那官憲が白晝公然と排日を敢てし不逞鮮人を使嗾して日支間の國交を攪亂しつゝあるのである。これに對し日本側が如何に嚴重なる抗議を敢てするとも馬耳に東風といふのが昨今の支那官憲の態度である。

日支すくなくとも日滿間における外交案件は上述の如き狀態を以て推移しつゝあるのである。ここにおいて吾人は日本當局に對しては單なるペーパープロテストの無意義なることを認め、もつと有意義なる手段方法を講じ以て日支の國交を圓滑に進捗せんことを望むと共に支那側に對しては誠意を披瀝し責任を回避することなく問題の解決整理に努力せんことを要求するものである。而してまた同時に時代は展開し外交界もまた新時代に進みつゝあるを確認し、出ぬ化物を杞憂し當面を糊塗して責任を回避せんとするが如きことある支那側としては決して賢明なる方策といふことは出來ぬと思ふ。外交の大道は結局するところは公正妥當を以て坦坦たる大道とする。この大道を濶步することを回避し、詭辯を以て始終せんとするは國際的に支那を建設更生するゆゑんといふことは出來ぬではないか。

海軍會議始末で　花井氏政府を虐む
川村氏は小橋事件を追窮す　貴族院豫算總會

【東京九日發電】貴族院豫算總會第二日は九日午前十時廿六分開會前日に引續き質問に入り

長岡隆一郎氏(交)　森林收入に於て昭和四年度五百七十萬圓の減收を大藏省が發表してゐる、政府は敢へて收入に缺陷なしといふか

町田農相　五百七十萬圓の減收が昭和四年度と三年度との差であるとのことならその通りである

長岡氏　この數字より四年度森林收入を見れば木材の價格は到底 [illegible] 政府は此數字を認むるや

大橋政府委員　大體その通りである

長岡氏　昭和三年度實收は切手收入は減じてゐるのに電話の增收となれる理由如何

大橋政府委員　電話收入は左程景氣不景氣に依り變化するものでない

長岡氏　本年度にても倉庫に在る豫備材料を使用し又市外線の經費を減じてまで加入者の增加を圖るか

小泉遞相　五年度にてはやらぬ

長岡氏　公人所得は政府の見る如く增加してゐない、藏相は第三所得額十八萬圓の增收を正當と認むるや

井上藏相　正確なりと認むる

長岡氏　國民收入がいづれも減少してゐるのに政府が之に對し增收を認むるは勢ひ國民に對し苛斂誅求となり國民の負擔能力を無視した遣方でないか

井上藏相　配當收入も減じてゐると云はれるがそれは四年度の配當に據るもので五年度のに基いてゐない

之にて零時二分休憩

川村氏　首相は小橋氏を文相に奏薦した事をただしかつたと思ふや又あやまつたものと考ふるや

首相　奏薦の時はただしかつたと思ふ、結果から見ればあやまつて居た事になる

川村氏　政府は曩の四十線打切の鐵道方針を變更するため臺灣の公債三百萬圓を復活財源に流用して居るではないか、かつ此の復活線は多く關係政務官の出身地では無いか

首相　臺灣の公債を內地に流用したのでは無い、內地鐵道計畫は初めの計畫通りやつて居り何等變更しない

松田拓相　すこしも內地に臺灣の金を貸した事はない、臺灣に於ける公債發行をしなかつたに過ぎぬ

小橋事件は遺憾
首相川村氏に答ふ

[illegible]

午後一時四十七分休憩前に引續き再開

長岡隆一郎氏　首相は五年度の歲入に缺陷は無いと言はれるが私は決して歲入の增加があるとは考へない

濱口首相　歲入見積は官廳に於て注意して調查の上決定したものであるから何等の缺陷なきものと信ずる

長岡氏　若し五年度に歲入缺陷を生じた時は首相は責任をとるや

首相　架空の質問には答辯し得ない

川村竹治氏　首相は小橋氏の問題につき組閣前の事であると言ふが然らば小橋氏事件につき責任を感ぜざるものであるか

首相　小久保君尾崎君の質問あつた際私は心情を披瀝してお答へした、組閣當時私は之れを毫も知らず又知り樣が無かつた、之れを知つたのは小橋氏の退官してからの事である、然し奏薦の責任者として小橋氏が起訴され又豫審決定された事を聞いて眞に遺憾である事を深く感じたのである

兵力量決定の具體的事實如何
花井氏執拗に質問

花井氏　首相は臨時海相事務管理として海相としての資格をすべて有するか

首相　臨時海軍大臣事務管理は華府條約の際の前例によるもので海軍大臣の有する權限をすべて有する

花井氏　然らば臨時海相事務管理として副署してゐるか

首相　其の通り

花井氏　兵力量の決定については良く利害得失を考へてやつたと言ふが其の具體的事實如何

幣原外相　此の問題を外部に發表するは國家のため不利益であるから眞に不本意ながらお答へ出來ない

花井氏　條約により兵力を決定した事は憲法第十二條に關するもので第十一條に抵觸するものでない、即ち海軍省としては豫算に關係無き內部編制權に關するものに非らずと解する、條約の內容に統帥作用に關するものが規定されてあつた時は國務大臣として輔弼の責任をとるや又は責任外の事項となすや

幣原外相　斯くの如き憲法上の解釋にはお答へしかねる

花井氏　憲法第十三條の條約締結に關する輔弼責任は外務大臣の責任事項であるか

外相　外務大臣の責任なるは勿論である

花井氏　私は此の際ロンドン會議についての問題を解決したいのであるが政府が專ら答辯を回避するが故に之れ以上追及するを得ぬが立憲政治の合理化を希望する

花井卓藏氏　首相は貴衆兩院にて議會に對する國防の責任は政府が之れを負ふと言ふたが此の國防の意義如何、參謀本部條例第一條の國防の意義又は軍令部條例第一條にある國防の文字と同意義に解するや又は普通に言ふ意味の國防の意義であるか

首相　普通に言ふ國防の意味である

花井氏　統帥權についての輔弼の責任は憲法第五十五條の規定外であるとの解釋をとるや統帥權については答へぬと言ふ噂さがあるが國務大臣は國防の輔弼責任なしと言ふのか

首相　憲法第十一條第十二條の國務大臣の輔弼の範圍は學者間にて意見を異にして居るので憲法上の解釋につき政府としては明確に答辯しない

花井氏　解釋につき討論するのではない憲法第十一條については輔弼の責任をとらぬと言ふのか

首相　抽象的架空的問題については答辯を控へる

花井氏　江木鐵相は大正十四年內閣書記官長として當時政府の解決した憲法第十一條十二條の解釋を文書に認めて居るが今日なほ其の說をとるや

江木鐵相　今日同樣の考を持て居るとも持てないとも言へない

花井氏　ロンドン會議にて決定した兵力量は千九百卅五年迄のもので此の兵力を以て國防の安固を期し得ぬと考へぬと言ふが、其の內にある國防なる文字は先程述べた後段の意味なりや

幣原外相　然り

花井氏　何故に此の保有量で國防上安心し得るやを明示されたい

首相　此の條約は永久に帝國の兵力を拘束するものでなく短期間であるから差支へないと思ふ其の他の點は軍機に關する故說明し得ぬ

消費節約も　不景氣の原因

藤山雷太氏　私は金解禁即行論者であつたが解禁後經濟上の變化が起り不景氣となつた政府の宣傳せる消費節約も產業不振の因である政府の所見如何

首相　消費節約宣傳は金解禁の準備行爲であつたが今後は事情の許す範圍で產業振興に向つて消費を緩めたいと思ふ

藤山氏　解禁準備としては消費節約は必要では無かつた寧ろ國內消費を旺んにし廉價の生活品を供給する事にしたら今日の如き不況を來たさなかつたであらう

井上藏相　私は經濟界の前途を悲觀しない

藤山氏　政府は今回剩餘の全部を公債資金に當てたが其の爲め公債は下らず多くのものが公債を所持する事となり株式が下落した、之れ事業家が事欲を失つた譯である、禁解金利は當然騰るべくして騰らぬが政府は金利統制につき何等か考慮する處はないか

井上藏相　金利問題に對しては日銀の監督者が言及する事は此際良くないと思ふから答辯を避けたい

藤山氏　政府は今迄繰延べて居た事業を此の際失業救濟事業として起しては如何

江木鐵相　事業の繰延に就いて相當考慮を加へた

吉田社會局長官　失業問題の解決に國家の事業を利用する樣注意して居る

藤山氏　大藏省は事業のため公債を發行して失業對策を解決すべき財源を作つては如何

井上藏相　公債を發する意思はないが努めて之れが對策として企業財源を求める事に努めて居る

と答へ同六時二十四分休憩、午後七時五十分再開

渡邊修二男　司法官の身分上の獨立は保證されて居ると思ふが如何

首相　司法權の獨立は完全に出來て居ると思ふ

渡邊男　判事は身分上法相監督下にある然し之は大審院長の監督下に置くが良いと思ふが如何

法相　判事の身分は裁判所構成法により絕對に保證されて居る

渡邊男　今日の事情では法相も政爭の渦中にはいりやすい從つて其の監督下にある檢事の行動はやゝもすれば公正を期し難いと思ふ

法相　現行刑事訴訟法は廣範圍に亘つて起訴不起訴につき檢事に自由決定權を與へて居るたら支障なしと思ふ

渡邊男　司法檢察機關の志氣衰へ又命令が徹底せず威令行はれずと聞くが如何

法相　私は適當の方法指揮監督し居り未だかつて指揮命令が徹底しなかつた事はない

陸相の答辯　齟齬せず
松田拓相報告

【東京九日發電】政府は定例閣議散會後更に院內閣議を開き宇垣陸相が明日若しくは明後日登院する事になつてゐるので統帥權に對する陸相の答辯が政府と齟齬せざるやう七日松田拓相が宇垣陸相と打合せをした結果を拓相より報告し陸相も別にこれに異存なき旨を表明してゐるから答辯に破綻を來す樣な事はあるまいと述べて直ちに散會した

湯地氏より　文相に突込む
一千萬圓の使途に就て　義教費特別委員會

【東京九日發電】貴族院義務教育費國庫負擔法中改正案特別委員會は九日午前十時二十分開會、正副委員長互選の後鵜澤總明、南弘等より本案の財源問題は最も重要であつて豫算總會の方でも之れにつき質問も出て居る事であるから總會で此の點が明瞭になる迄暫く本會を延期されたいとの提議あり、午前中休憩する事として同十時半休憩午後三時再開

湯地氏　衆議院の速記錄によると此の一千萬圓は教育費の方に出さず戸數割か家屋稅の方の輕減に當ると言ふが、從來斯る事を明言した大臣はなかつた、文相の所見如何

田中文相　本年度の町村豫算は既に編成してある其處へ交附するのであるから差し當り減稅に當しむるのである

湯地氏　其處が問題である、教育費として配布せねば何等意義をなさぬ

文相　各町村の教育費輕減の方法として減稅するのである

湯地氏　本案は名は教育費なるも一千萬圓交附後の町村の取扱では土木費とするも教育費とするも違ひないと思ふ

文相　形式より見ればそうかも知れぬが國庫からの交附といふ名が判明りしてゐるから明瞭に區別がつくと思ふ

鵜澤氏　施行法中の何條かによつて教育費として或は特に使途を指定して交附するのかその手續き如何

文相　使途を指定する權限は文相にあるが今日迄は何々に振向けろとか或は大體の事を指定してゐる樣である

鵜澤氏　施行法第七條によつてであるか

篠原普通學務局長　府縣知事が夫々係員によつて財務監督をしてゐる

鵜澤氏　會計檢查院は使途につき檢查して居るか

文相　各地方廳に於いて豫算更正の手續を採る事になつて居る

鵜澤氏　增額しても市町村で他に使ふ事が自由となつて居ると目的を達せられないと思ふ施行法第七條第二項により交附金は何れ位であるか

篠原局長　四年度では三百五十九町村交附金二百二十七萬三千九百二十圓である

鵜澤氏　一村一校と言ふ樣な學校統一は何うなつて居るか

篠原局長　各町村は學校を統一して教育費の輕減を心掛けて居る

鵜澤氏　分校を認めて交附するたてまへであるか

篠原局長　只今の問題とは別な方法で交附する事になつて居る

湯地氏　一校平均義務教育費配當方法によると配布が皆六月一日となつて居るが其の根據如何

篠原局長　事務上の都合である

と答へ同四時十分散會した

義教費增加は
法の必要上止を得ぬ

阪本釤之助氏(同和)　義務教育費國庫負擔一千萬圓增額は單なる政黨の旗印を國民に約したが故に止むなく之を實行するのでない、之により如何程町村費過拂を緩和し得るや同額の支出をするなら他に有效に使用する途なきや、米穀法の本領は何にを目的とするものなるか、今日のやり方では其の運用の必要なかるべし

首相　教育費增加法案は全く法の必要上やむを得ぬもの故實行せんとするものである、之れにより町村經費負擔輕減を圖らんとするもので之れにより恩惠を受くるものは全國普遍的であるが、農村が比較的餘計に恩惠にあづかる事になるであらう而して間接には教育制度の改善にも利する事が出來る

町田農相　米穀法は米價の昂騰暴落の際其の價格を調節するを目的とする將來外米管理鮮米臺灣米の移入調節を適當にし得れば米の買入れや賣拂ひもなく國庫の損失もなく適當に出來る樣にし得る考へなり

と答へ午後九時五十分散會した

法權紊亂質問　內容緩和か

【東京九日發電】民政黨小俣政一氏提出の黨內五十餘名の賛成署名になる司法權紊亂に關する質問趣意書は之が提出方を幹部に依賴したる處幹部は其內容の露骨に過ぎる一方司法省方面にても司法省改革の如く誤解される節ありとてその提出を見合すやうとの希望があつたので本日迄提出を差控へてゐたが强て壓迫する譯にも行かぬので內容を緩和した上結局十日或は十一日中に之を提出することゝなつた

婦人公民權案は　衆議院通過見込
十日の本會議に上程

【東京九日發電】衆議院における婦人公民權附與に關する委員會は九日午前十時二十分開會末松偕一郎氏(民)委員長となり、西岡竹次郎氏より政府の所見を質し安達內相は市町村における選擧權だけを與へる方針であると答へなほ政府側と委員との間に應答あつて後山枡儀重氏より本案の字句修正の提議あり大多數を以て修正案を可決し零時十五分散會した、なほ本案は十日の本會議に上程し衆議院を通過する見込みである

病氣のため　出發を延期
十五日以後になるか　在哈中の財部全權

【ハルビン特電九日發】滿鐵理事公館の一室に疲勞のため引籠もり中の財部全權は軍醫診察の結果呼吸器病のため出發を延期、今朝來特務機關澤田中佐滿鐵石原運輸課長等から北滿の事情を聽取し、午後は在鄉軍人會長等の見舞を受けたが、記者との會見に

出發は未定だ、歸朝は十五日以後となるだらう、急いで歸つても議會には二三日より出席出來ぬそれに余の歸つた爲に現下の問題が政爭の具となることは面白からずと信ず、既に事務管理が置いてある今日であり若槻全權の歸國する前に色々言ふことは差し控へる必要がある、說明することは却つて反對黨のために良くないよ、軍令部關係については歸國後各方面の意見を聞き說明もして決せねばいけない要するに統帥權の憲法論は第二として軍令部長が辭任するは何等理由なきものとして留任を勸告し、本問題を政爭化させず圓滿なる解決方法を取らんとする意嚮らしい

北滿事情聽取

【ハルビン特電九日發】八日滿鐵公館の一室に落ついた財部海相は靜養中だが加藤商議會頭が午後一時訪問した際北滿事情の資料を提供した處會ひたいといふので會見した日露支の關係から赤白露の鬪爭機會均等による國際經濟の發展を說明したに對し財部全權は農產物、家畜、食料品の詳細なる質問あり日本及び諸外國との輸入品の比率は斷然軍縮と正反對に英米を凌駕してゐる率に耳を傾け鮮支人の移民狀況、東支問題等約一時間に亙り說明した

南北主力衝突は　こゝ數日中
蔣介石氏積極的攻勢

【上海特電九日發】八日南京發蚌埠に赴いた蔣介石氏は本日各軍に對し十日を期して總攻擊令を下すべく通達した、蔣氏は當分徐州に赴かず蚌埠にありて各軍を指揮する筈で、劉峙、陳調元氏等津浦線北段にある各將領を蚌埠に召集して本日重要軍事會議を開いたが、右會議の結果徐州以北の津浦線(へ山西軍)にありては守勢をとり、主力を隴海線(內北軍)に向け攻勢に出ることに決定した、蔣氏は今次の蚌埠行きに際してドイツ軍事顧問三名を同行せしめてゐること、南京出發に際し蚌埠に赴くことを祕してゐること等により今回は積極的攻勢に出る決意を有するものと見られる、斯くて永らく對抗狀態を續けてゐた南北兩軍はこの數日中に愈々主力軍の衝突を開始せんとする機運に到達した

今期配當は　一割一分の据置
大平滿鐵副總裁語る

【東京九日發電】六日朝入京せる大平滿鐵副總裁は九日午後三時初めて東京支社に其の姿を現はしたが氏は左の如く語つた

滿鐵減配の聲を聞くが昨年度は前年に比し收益增收三百萬圓あり一度一分增配を決した許りでもあるので今期は一割一分据置きである、小日山理事の後任は六月十日頃總裁上京の上決定される筈であるなほ全然見解がつかない、業務改善調查會は着々仕事を進めてゐるが改善すべき箇所なしとせばその儘であるの外ない、製鋼所の事は全く政府の肚一とつにある

なほ大平副總裁は來る廿二日東京發廿七日神戸より歸任する豫定である

井上藏相に　滿鐵業績說明

【東京特電九日發】既報の如く松田拓相と會見した大平副總裁は九日正午更に井上藏相を議會內大臣室に訪問し滿鐵今期の業績及び利益金處分方法、五年度豫算實行の見込みなどにつき說明する所あり且つその諒解を求め同一時辭去した、なほ午後は東京支社に至り、松岡前副總裁、三井物產、大倉組等の重役、入江海平氏、門田新松氏の訪問を受けた

選擧人名簿作成
資格調查表を近く配布

大連市では今秋九月市會議員の總選擧を行ふので本年七月二十二日現在で市會議員の選擧人名簿を調製するが、大連市に居住し戸別割を納めて居ながら警察署へ居住屆をしない者や市內で轉居しても其の屆出をしない者があるので、之れ等の資格調查は非常に困難で本籍や生年月日を判然に知る事が容易でない、從つて自然調查洩れも期し難き狀態にあるので、今回市役所では前記選擧人名簿調製に就て本籍、現住所、大連市に住居を占めたる年月日及納稅の初期、戸主又は戸主との續柄、氏名、出生年月日を記入出來るやうに印刷した資格調查表を作成し一兩日中に市內各小學校生徒の手を經て各戸に配布する事にした、右表の配布を受けた者は必要事項を記入の上本月末迄市役所に屆けて貰ひたいと

汪支那公使　歸國使命
懸案解決打合せ

【東京九日發電】駐日支那汪公使は既報の如く十二日歸國の途につくが汪公使は重光代理公使、王正廷氏等と會見し治外法權問題、小幡公使アグレマン問題等の重要日支懸案の最後的解決を圖す爲めの重要任務を帶びたもので歸任は六月三、四日頃である

船舶組合法案可決

【東京九日發電】船舶組合法案委員會は九日午前午後に亘り開會、政友會が强硬に原案支持の爲め纏まらず一時休憩した後再開し(船舶組合を海運業組合)に修正其の他二、三字句修正ありて原案を可決した

事後承諾案　委員會で承認

【東京九日發電】衆議院の昭和三年度第一豫備金支出の件外六件(事後承諾案)委員會は九日午前十時半開會大禮記念章費二十四萬圓支出の件につき高橋、佐藤各委員と政府委員との間に質問應答あり討論終結採決の結果全部政府提出の件を事後承諾するに決定し十一時半散會した

二法律案可決

【東京九日發電】貴族院の賠償金特別會計法中改正法律案委員會は九日午前原案通り可決次で大藏省預金部又は日銀、正金又は興銀に對する債權の讓渡を受くることに關する法律案を原案通り可決した

陸相けふ　出席希望

【東京九日發電】政府は九日の院內閣議において明日は兩院とも本會議であり成るべくならば陸相の登院を希望したいといふ意見出でたので直に陸軍側に問合せた

軍事參議官會議を開催

【東京九日發電】財部海相歸京後今年度海軍特命檢閱使の選定及その區域等決定のため軍事參議官會議を奏請するはずである、なほロンドン協定に規定された兵力量を軍事的立場より諮問さるべき軍事參議官會議は陸軍側も出席する要があるので別に開會されるはずであるが、前者に於ても便宜上相當論議されるものと見られてゐる

閣議決定事項

【東京九日發電】

一、臺北帝大官制中改正の件
一、朝鮮道立醫院官制中改正の件
一、陸軍給與令中改正の件
一、外國駐在陸軍武官給與令中改正の件
一、旅順工科大學教授　塚本小四郎　陞叙高等官一等

塚本工大教授免官

【東京九日發電】本日の閣議にて高等官一等に陞叙の塚本旅順工大教授は同時に依願免本官となつた

借替公債利廻　六分七厘强

【東京九日發電】英米兩市場において過般來借替へ交渉中であつた第二回英貨四分利公債の中ロンドンにおいて發行する一千二百五十萬ポンドは外電所報の如く期限三十五年發行價格九十ポンド利率五分五厘で纏まつた樣であるが右の條件に依つて利廻りを算出すると六分六厘となりこれに手數料の額面に對する五パーセント、發行稅二パーセントを加へると發行者利廻りは六分七厘强となり可なり發行者側には不利で現在內債の四十年もの五分五厘に比し非常に高價を失するがこれは最近わが財界が不振を極め東電の整理問題や株式取引所の立會ひ停止のため海外に對し稍信用を失墜しつゝある折柄已むを得ぬものとされてゐる

人事

▲相生由太郎氏　先代の跡目を繼ぎ四郎を由太郎と改名せるにつき九日各所縣訪挨拶す
▲山田武吉氏　十日うらる丸にて內地へ歸還

安閑帽子

何んだ彼だと多忙の中を閑を偸んでは得意の甲種免許の腕前で大連迄ブッ飛ばし市內の各映畫館を見廻つて歸つて來る有田保安課長▲商買柄丈けに好きな映畫を見る傍ら近く發すべき改築命令の腹案もお序に練つて來るのだが▲優秀映畫觀たさに大連に長驅する廳內のワンサ連中「保安課長は流石に話せる吾れらがファン課長だ」とスッカリ映畫課長に担つち上げてゐる▲飽く種拔きで通つて居る增田衞生課長の許へ、この程近畿地方の去る女學校寄宿舍發の行李荷物二十數個がゾロゾロと屆いた▲見付けた通中驚いて「御令妹さんでも御結婚になるのでせうか？」と御目出度い恰好で伺ひ立てると▲コレヘしたりお嫁入り仕度どころか母堂の荷物であつた

本日廳報及廳報附錄を添ふ

大連市公報を添ふ

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　九十五車

▲豆粕(碇り)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　[illegible]

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二萬三千枚

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　六千箱

▲包米　出來不申

現物後場(銀建)

品目	寄付	大引
混保(袋込)	七〇一〇	七〇一〇
大豆(裸物) 出來高 百十車	[illegible]	[illegible]
普通大豆(袋物)	六九〇〇	六九〇〇
大豆(裸物) 出來高 四十車	[illegible]	[illegible]
豆粕	二二七五	二二八〇
出來高	二萬六千枚	
豆油	出來不申	
高粱	四三八〇	四三八〇
出來高	二車	
包米	出來不申	

商品　後場(出來不申)

錢鈔　定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(近期 七十七萬圓 遠期 三百六萬圓)

現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 七萬九千圓 銀對洋 四千圓)

神戸特產(九日)

品目	値
大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
株新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日郵	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東新	[illegible]	[illegible]
株新	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

品	後場寄	後場引
中 先	不申	不申
信 中 先	不申	不申
新 中 先	不申	不申

東京期米

限月	後場寄	後場引
寄	不申	[illegible]
引	不申	[illegible]
高値	不申	[illegible]
安値	不申	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

神戸期米

限月	後場寄	後場引
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]

滿日地方版

奉天

安奉線名勝＝紹介の遊覽列車
奉天鐵道事務所の計畫

安奉線各地の名勝を紹介し且つは夏季における奉天市民の行樂に便宜を興へるため、奉天鐵道事務所では七月一日から毎日曜に奉天撫順間の遊覽列車を運轉することになつた、尚今年は魚釣、苺摘み、蕨狩その他時事に關した諸件を日曜遊覽案内として發表することになつてゐる、殊に本年は安奉線入賞が決定したので一層賑はふであらうと

出し行方を晦ました、文子には大連に戀人ありそこに走つたのではないかと云はれてゐる、大連市敷島町十三番地山根萬造長女靜枝(二)は同居人甘子義郎(二)と手に手を取つて七日午前十時家出したが瓦房店で發見され大連に送り返された、又市内松島町十三番地山口方山澤直十郎は去る五日金五圓を攜帶し自轉車に乘つて出て行つたまゝ行方不明となつた

町の便り

奉天輸入組合では八日午後一時から定時總會を開き四年度の決算報告と役員の改選を行つた

◇

奉天地方事務所では豫て滿鐵本社に對し市中汚物の自動車使用願ひを提出中の處、七日愈認可となつたのでトラック三臺で運搬する筈該仕事は請負制度とし近く入札に附すると

◇

交通委員會では通遼、熱河、開魯間の鐵道敷設の準備中であるが、經費は北寧鐵路局が擔當し暫時同線の支線として管理する由

人事

▲岸本中將　七日安東より來奉
▲時乘少將(陸大專攻科附)　七日湯崗子へ
▲牧野少將(滿鐵囑託)　八日撫順より來奉
▲中村朝鮮軍參謀長七日過奉赴通
▲村田第卅三聯隊長　七日夜赴旅
▲鈴木奉天鐵道事務所長七日歸奉
▲川邊同工務長　同上
▲古仁所滿鐵奉天公所長七日赴通
▲菊竹鄭家屯公所長　同上
▲横田滿電專務　七日鐵嶺へ
▲ポールシエール氏(駐日波蘭代理公使)七日過奉長春へ

鐵道線路に多數の石
機關士が發見

上り十六列車が六日午後二時半頃瓦房店驛を發車して遠方信號所附近に差掛つた際、下り線路上に拳大の石八個、上り線路上に廿三個を撒せ列車の運轉を妨害せる犯人あり、幸ひ同列車の機關士が發見し事なきを得た、目下犯人嚴探中

庵谷會頭上京
日支關税問題對策協議の爲

庵谷奉天商議會頭はこの程赴通し日支關税問題對策に關し滿鐵當局と打合せをなし七日歸奉したが、更に我が政府當局と打合せのため本月中旬上京し廿七、八、九の三日間大阪に於て開かれる日本商工會議所臨時總會にも列席し、關税及び課税問題を提案討議の上再び上京、協議決定後六月上旬歸奉する

男女家出三件

田市內霞町平井文子(一七)は過般無斷家出し大連の某カフエーに潛伏中取押へられ奉天に伴れ戻されたが七日家人の隙を見て又もや無斷家

哈爾賓

新綠の北滿に雪崩込む觀光團
三百名の一團もある
滿鐵旅客係は大童で準備中

北滿にも紅白の野桃が咲き新綠の色滿々しく、旅行團が押寄せるシーズンになつた、來る十四日午後六時にチチハルから三重縣鑛山商工團一行十三名がトップを切つて來哈し、十六日の急行で南下
▲東京電氣業者五名一行は十五日來哈、十六日出發▲南滿地方からは撫順高女生七十九名が十四日四列車で來哈、十五日三列車で南下▲鞍山中學生六十五名は十八日六列車で來哈、二十日三列車で歸校する外珍しくも六月十一日には靜岡運輸事務所の主催で三百名の商工業者及官公吏が來哈して一泊するがこんな大勢は旅館には到底收容し切れぬので滿鐵旅客係では今から準備を急いでゐる、これまで三百名以上の團體は來たことはあるが泊つた事はない

第八區の大火事
重輕傷五名

哈爾賓第八區埠頭倉庫片岡完爾氏所有倉から七日午前一時失火し午前八時に至るも鎭火せず、隣接せる正金保管の鈴木倉庫に延燒し鮮人精米所をなめつくし三名の重傷者を出し、倉庫にあつた木炭に火がつき消防夫必死の活動も容易に威力を發揮せず漸く自然鎭火した燒失坪數は三百六十、重輕傷者は孫炳文(二四)、金廣喜(二二)張景鎭(四〇)、妻咸女(三四)、金利和の五名は眞夜中の就寢中で生命危篤

濱江雜俎

東支鐵道の執務時間は五月十五日から午前八時より午後二時までと

吾等の町を語る

哈爾賓

華人の自覺に俟つ
特產の取引方法を改善せよ
國際運輸支店長　剛崎虎雄氏談

この町の占ひか？サテ誰もが一應に考へてゐることで、そして、大體に於て同じことだがネ「ハルビンを中心點としてコンパスの足を浦鹽と大連に向け、圓周を畫いたらどうなるかテ」

哈爾賓の聞容のやうだが、ハルビン――吾等の町の生命は、さうだ、矢張り開港をもつてゐることだらう、だが、三百萬噸の大豆を捌く港は勿論必要だが、東流、南行、總ての鐵は東支鐵道一千七十哩がもつ支配權如何で決定されるのだから東支が公平な運賃政策を立てない滿足な結果は得られない

◇

問題は北滿を代表する特產

取引上の關係が急務ぢやないかナ、元來、ハルビンの發展すると否とは支那人自體の自覺にあるのだが、現在の如き特產取引方法は世界の何處にも見られない奇現象なのだ、第一、大豆百車の取引を、何月渡で契約すると、全額の代金は支那糧棧に前拂ひする、そして愈々荷渡期が來ると容易に受渡をしない、時たまスッタ揉んだの末荷渡をした品物をみると惡質の上に挾雜物が五分乃至一割、甚しいのには水豆までも入つてると云ふ不道德さだ、問題にすると「それなら荷受をしなくつてもよい」とテンデ相手にしない、邦商では三井、三菱、日滿の如きも常に惱まされ、シビリスキーの閉店の原因も此の不正取引の結果が主要部分を占めてゐる

◇

糧棧が荷渡不履行の際は、必ず豫定の船腹が浦鹽又は大連に當いてゐるので、品物を一日も早く積込む必要上、市場で現物の手合をすると、必ず高いものに決つてるのだから、特產輸出商は支那糧棧に使はれてゐる小僧のやうなものだ、世界的の商品が斯くの如き不健全な取引方法によつてゐることは前代未聞だ

◇

結局北滿の發展を自然的に阻害することになる、過去二十有餘年間に支那側糧棧が世界商品だとの自覺から正しい取引方法を採つてゐたならこの町は現在以上に發展したことだらう、僕は支那糧棧の取引改善を先決問題とし、我等の町を明るく正しくするには、支那人自身の聰明と自覺にあることを提唱する

【寫眞は剛崎氏】

北滿の市俄古たれ
＝處女ハルビンに呼びかける
三井物產支店長　鬼虎孟太郎氏談

昨年十月に來た土地で皮相だけより判らないが……兎に角一ケ年二億萬圓の輸入貨物中本邦品は其の三分の二――一億二千萬圓は消化される都市だ、其の半分は綿絲布で特別の商賣としても其他は洋雜貨類である、それが直接在住邦人の手を經ずに殆ど大部分は露商の在支那商で日本全體の輸出からすれば別に問題でないが、ハルビンに在住する邦人としては是非、其のうちの大半は邦人直接に取引のできる方法を講じること

が必要だ

◇

それには政府として輸出保證法でも施行して大に獎勵をすると共に、邦人も亦自覺し所謂合理化により難局を打開する覺悟がなければならない、即ち、金融經濟市場に於て何も露商の背後にある必要はないのである、しかも邦商は二、三を除いた外は殆ど特產商ばかりで、本邦商品の輸入者は寥々であるのは不思議だ、サンプル式の商取引では無く、各自が統一戰線に立てば立派に現品を輸入して商内はできるのである、これは是非とも當市に於ける邦商の發展策としてお互に研究し大に活躍したいと希望してゐる

◇

若いフレッシュなローカルカラーの强いこの地は、青年で潑剌たる氣分をもつてゐるだけ將來を有してゐるこれで吉林、黑龍の廣漠たる處女地に鐵道が蜘蛛の網の如く交錯したら、滿洲のシカゴたるには充分な要素を備へることになる、現に、大正十一年に一度來たが道外(傅家甸)は六道街までより人家はなかつたが倍の十二道街までになつてゐる、この超スピードの跳躍振を觀るならば直に肯定されるだらう

◇

要するに新々の未來あり生氣にはちきれる青年の都市に、邦人は如何なる準備をもつて突進せんとするかゞ先決問題だ――滿洲の光は北方よりの旗幟をかざしてお互は戰線に立ちたい、幾多の改良すべき點を研究し覺醒したい、これが處女ハルビンに呼びかける言葉だ、そして吾人はシステマチックに彼女を愛しやうぢやないか

長春

范家屯の邦人殺し眞犯人逮捕
公主嶺の下宿屋に潛伏

去る三月范家屯南大通り一五射的業井上延太郎を殺害した犯人につき長春警察署は極力嚴探中、この程范家屯派出所警官が公主嶺新町二ノ一九下宿屋明興棧に止宿中の一支那人を逮捕、本署に於て取調中であるが七日眞犯人である旨自白したと

町の便り(長春)

なつた

◇

全哈野球大會は十一日午前十時から開始し滿鐵、午後は國際戰協會の試合で十八日優勝戰で幕

◇

全哈武道大會は十五日午前十時から小學校講堂で開催

◇

赤軍では一九〇八年生れの青年に對して赤衞士官學校に入學することを宣傳してゐる

◇一松江一餘滴◇

我等の全權財部海相歸るの報に滿洲里には東日高木、大朝中山、電通本橋、聯合哈日、哈通の特派員が出動▲一時間半豫定より遲れた全權を圍んだ記者連の面上には憔悴の氣がみなぎる、軍縮會議よりも猛烈な質問戰▲結局各特派員が本社への打電競爭にうつつたが、數千言の美文麗句も詮じつめれば全權がロンドン出發に際して出したステートメントと大同小異▲顧みるまでは意氣込んだ連中もナール程巧なものと感心▲ハルビンの東支電信局はこの通信のため午後三時から四時まで引續いた▲中心は軍令部長と統帥權問題だつたが解決は東京へ歸つて政府に報告してからとあり▲大魚を逸したと

童話と活寫會
明日の兒童愛護デー

既報＝來たる十一日の兒童デーの催しについては目下地事社會係りで研究中であるが、會場は長春座で先づ久永社會主事の說明、童話に次で活寫は實寫「海底の美觀」「天の櫻立」漫畫「ムブスヨットの卷」「蛙と蛙」喜劇「支那土產」社會劇「さすらひの少女」等を上映すると

西公園で茶屋を貸す

滿洲一の名をとつた長春西公園は流石にその設備と云ひ天然の利用と云ひ申分がないので、早くも若草に裝ひを一新した今日此頃家族的の團欒は殆ど日毎に彼方に一組此方に一組と見受けられるが今度地方事務所が公園内に貸茶屋等を許可することゝなつたから、今後は家族打揃つてピクニックに出かけるには至極便利である

吉林

軟式野球初試合
吉林軍脆くも慘敗す

長春青葉對吉林スポンヂ野球戰は既報の通り四日午後一時三十分より民會橫グラウンドに於て石射總領事の始球式に、青葉先攻にて開始、第三回までは兩軍得點なく頑張してゐたが、第四回の表で吉林軍の守備不完全から一擧に四點を興へ、第五回で青葉更に一點を擧げ、第七回に至り吉林軍僅かに一點を得て五對一で吉林軍は惨敗した兩軍の此の對抗戰は吉林球界今シーズンの勝頭を飾るもので、各ファン連に非常な興味を興へた

庭球試合
全吉林軍敗る

オール吉林對長春青葉の庭球戰は去る四日滿鐵コートに於て午前九時より開始、吉林側は練習不足の爲め三對二で敗れた、兩軍のメンバー左の如し

○長春　谷川四――○吉林　大木
(眞木)　(上村)

瓦房店

神社參拜者數
健康週間中の

四月廿七日より五月三日迄實施したる健康週間神社參拜者は左の通りで、保健衞生上相場効果を齎した

四月廿七日八六人、廿八日五八人、廿九日一三六人、卅日三三人、五月一日九四人、二日五八人、三日五七人計五二二人

公主嶺

新兵器の粹を蒐めて激戰四時間に亘る
壯烈を極めた鐵道警備演習

公主嶺を中心とせる獨立守備隊の鐵道警備演習は、五日午前九時聯急動員を行ひ范家屯以北孟家屯方面より攻防戰を開始し、七日午前七時公主嶺水源地附近に於て假想敵と遭遇、猛烈なる戰鬪の幕は切つて落され、輕重機關銃砲其他あらゆる新兵器の威力を示し激戰奮鬪、砲煙は天地を覆ひ裝甲車の突進猛擊等實戰を偲ばしめ、敵を蔡家驛方面に驅逐し戰鬪を終つたのは正午であつた

けふは＝兒童デー
さまざまの催物

公主嶺に於ける兒童デーは例年の如く十日午前九時より左記のプログラムで擧行される事となつた午前十時小學校の講堂において　お噺大會を催し、死亡兒童の家族慰問後旗行列を行ひ、公主嶺神社參拜、公園に於て子供相撲高脚踊、手品、寶探し等ありて後土產品の分配を行ひて散會

滿鐵社員異動

○(物部)山四――二石井大西
○(伊藤)細井――四島谷○
○(堀田)久保四――○小小林野
○(長澤)眞木――四花籠田谷○

滿鐵では五日附社報で社員の異動を發表したが、多年吉林滿鐵公所に勤務した田中宗吉氏が本社庶務部庶務課へ、小島一男氏が同庶務部社會課へ夫々榮轉、尚東洋醫院事務長花田孫平氏は同日附で公所勤務を命ぜられた

官帖相場暴落

吉林官帖相場は先月末日から下押し氣配を見せてゐたが、三日に至り俄然金對三百吊臺を割り其後三百三、四吊を持續してゐる

町の便り(公主嶺)

るは、誠に寒心に堪へぬ、各自左記各項を充分注意されたいと
一、外出先より歸りたる時及び食事前には手を洗ふ事
二、未熟な果物殊に小兒には「バナ、」杏、甜、玉蜀黍、葡萄、青豆等は控目にする事
三、野菜果實類は必ず消毒する事消毒藥は無料で消防隊から供給す
四、暴飮、暴食を愼しむ事
五、寢冷をせぬやう注意する事
六、屋內に蠅を入れぬ樣、驅除する事
七、衣類、寢具は時々日光消毒する事
八、食器類は時々煮沸消毒する事
九、他人の子供に飮食物を與へぬ事
十、家屋內外殊に臺所便所は清潔にする事

開原

九十九名に上る昨年の傳染病患者
日本人は七十一名

開原に於ける昨年度傳染病患者數は左の如し

病名	日本人	朝鮮人	中國人	計	死亡
赤痢	四五	七	六	五八	二〇
腸窒扶斯	三	三	四	一〇	四
パラチブス	二	一	一	三	一
猩紅熱	九	一	二	三	一
實扶埊里亞	三	一	三	六	二
痘瘡	一	一	一	一	一
計	七一	一二	一七	九九	一六

赤痢は半數以上にして、その發生月別は左記
四月一　六月一七　七月三　八月五　九月三　十二月一　計二八
日本人四十五名の職業別を示せば鐵道關係一八、地方事務所五、學校五、官衙八、銀行會社三、其他一般六であると

怖い赤痢の豫防方法

忌まはしい赤痢は毎年今頃から秋にかけて流行しはじめるが開原に於ける昨年の罹病者を調べて見ると、驚くなかれ日本人だけで四十五名、死亡五名であり人口僅かに二千餘名中斯くの如く多數發生す

郵便局四月業績

開原郵便局四月中事業成績左の如し

＝郵便＝
通常(引受　五〇、一八六通 / 配達　五六、八九七通)
小包(引受　二二五個 / 配達　一、七六七個)

＝爲替貯金＝
爲替(取組　七四件　一八、三五三圓 / 拂渡　一六二件　五、九八〇圓)
貯金(預入　一、四三三件　一七、八〇圓 / 拂戾　三〇六件　一二、六〇九圓)
振替(振込　七九九件　二三、四〇一圓 / 拂渡　七七件　三〇、三〇三圓)

畑軍司令官
來月十六日來開

關東軍司令官畑中將は來る六月十六日來開し、開原守備隊の檢閱を行ひ即日鐵嶺に向ふ

藤田經理部長

關東軍經理部長藤田主計監は來る六月十五日來開し開原守備隊及び開原憲兵分遣隊の會計々理檢査の上四平街に向ふと

税捐局長更迭

開原税務局長高紀强氏は今般海龍税捐局長に轉任、後任は新民縣より高鳳岐氏來任すると

弓道春季大會
あす道場で開催

開原弓道部では來る十一日午前十一時より滿鐵道場に於て春季大會を開催する

前田署長出奉

前川開原署長、東野兵事係兩氏は徵兵檢查の爲め適齡者八名を引率八日奉天に出張した

教育團遠征
開原で庭球試合

鐵嶺小學校普通學校日語學堂職員を一團とする教育團は來る十七日開原に遠征して開原教育團と庭球試合を行ふと

マラリヤ豫防

鐵嶺名物のマラリヤも滿鐵の防疫施設完備と共に著るしく減少し最近は年々二三名の患者發生に過ぎないが駐箚隊でも兵營附近を撒布し蚊群の發生を防ぐ爲め滿鐵から石油百八十六罐を購入したが近く到着次第撒布する筈と

遼陽

城壕川の築堤
一萬九千圓で七月中旬竣工

遼陽本町東側の城壕川は鞍安以北が數年前改修され、其の以南は築堤のみであつたを本年度石材護岸に改修することになり、七日本社で入札の結果一萬九千四百九十八圓で吉川組に落札七月十五日迄に竣工すと

士官學校生來遼

陸軍士官學校滿洲戰史研究團一行二百七十餘名は廿六日頃來遼首山橋山及び遼陽附近を視察する豫定なりと

鐵嶺

簡易保健加入者に無料で健康相談
大連愛宕町の健康相談所で
遞信局の新しい施設

關東遞信局では今回大連愛宕町に健康相談所を開放し簡易保險加入者に對し
(一)體質問題に就て(二)患者の病源性質療法に就て(三)治療の處方箋(四)體格檢查表診斷書(五)ワッセルマンの反應試驗等一切無料で相談乃至診斷に應じ沿線在住者には書面相談にも應答すると尚沿線居住者の書面相談は封筒の表に「通信事務」と朱書投函すれば郵税を要せぬと、鐵嶺に於ける保險加入者延人員四千三百人にとつて少からぬ福音である

四月末の郵便局業績
貯金は漸次良好

鐵嶺郵便局四月中は比較的閑散であつたが貯金成績は頗る好く、而も預け入れの口數は二千八百六十八口といふ多數で、金額は一萬八千五百五十九圓十一錢に達し、月毎に成績良好の傾向である一般の事務統計左の如し

通常郵便物

種別	引受	配達
普通	八七、〇一六通	八六、七七七通
書留	一、一一〇	一、一九九
價格表記	一六	一三六
書留小包	三三三	一、一三三
價格表記	一	一
代金引換	四	三五三

種別	受入	拂出
爲替	三、七〇二圓	四、六三三圓
貯金	一八、五五九	一七、七五三
振替	一六、八〇九	七、五五六

鞍山

吾等のあとつぎ兒童を慈しめ！
けふは兒童愛護デー
午後は小學校で演奏會の催し

鞍山滿鐵社會係では十日今期の兒童デーを開催、兒童愛護に關するパンフレットを全鞍山に配布し、午後零時三十分より小學校講堂に於て大連音樂會の演奏會を催し一般父兄にも聽かせ、鮫島社會主事の兒童愛護に關する談話がある筈

遺族及び陰巡捕に贈る筈である、此の際至急地方事務所庶務係まで申込まれたしと

人事

▲酒井憲兵分隊長　八日首山往復
▲長山警察署長　同上
▲見坊地方事務所長　同上
▲田中驛長　同上

兩警官への弔慰金
至急申込れたい

鞍山鐵西平安里附近に於て賊彈に斃れた故巡查部長横井善一氏並に重傷の陰巡捕に對する弔慰金及び見舞金は總計一千四百四圓五十錢に達したが、近く締切り橫井部長

野球優勝戰は愈よあす決戰
午後二時より運動場で

全鞍山各團體對抗の野球優勝戰は九日午後四時より滿鐵グラウンドに於て實業對製造課で開始、勝者と五星會の對抗戰は十一日午前八時より開始し、工務課事務課の對抗あり最後決戰は午後二時よりの豫定である

病院患者減少

鞍山滿鐵醫院の入院患者は昨今甚だ少く例のアミーバ赤痢患者も出ず毎日三百人を超えて居た外來患者も僅百名足らずに減少したと

鞍山中學の春季運動會
海軍記念日に

鞍山中學校では來る二十七日海軍記念日當日全校生徒の春季運動會

ミルク入
森永コノミビスケット
乳兒に安心して與へられる

營口

砲兵隊の演習
十四日午後四時から開始

海城砲兵隊では十四日營口に來り演習を行ひ同夜は當地に宿營し、十五日歸隊の筈、演習は十四日午後三時より四時の一時間、地域は南北本街、入船街、寶來街等にして、終了後同所に於て野砲、觀測器材化學兵器、機關銃等を一般に供覽した石橋中尉說明をなす筈である

輸組定時總會
十三日開催

營口輸入組合では十三日午後三時から公會堂に於て第二回定時組合員總會を開く筈

敬老會
十五日營口座にて

十五日營口座に於て開催の敬老會は同日午後五時から被招待者一同營口神社に參詣、記念の撮影をなし同六時から開會に決し、關本所長開會の辭、餘興は小學生の軍艦マーチ、童謠、武藏野、松月の舞踊、靜の家女優團の出演等

撫順

慰勞會
全鞍店員の
實業協會主催で來月一日開催

鞍山實業協會では六月一日滿鐵苗圃に於て全鞍山店員慰勞會を盛大に催すべく

箱田繁造、大惠新治郎、酒川傳太郎、阪元藤三郎、相谷彦三郎の五氏を委員に擧げ目下準備中である

五星會運動會
二十五日擧行

鞍山五星會では二十五日中學校々

を開催し、一般生徒を主とした競技を盛に行ふべく目下準備中である

輸組役員會

鞍山輸入組合では八日午後三時より實業會館に於て開催、左記事項を議了後林地方事務所長、木村警察署長井之上郵便局長其他來賓を招き鐵嶺に於て懇親宴を張つた

一、四月業績報告
一、總會開催の件
一、增口及規約一部改正の件
一、昭和五年度豫算審議の件
一、聯合總會へ提出議案審議の件
一、店員慰安會開催の件

全滿醫學大會出席

全滿醫學大會は來る十八日撫順に於て開催せられるが、鞍山醫院からも醫長並に醫員多數出席する

水利問題解決
公司より稅金を拂ふ

新屯、龍鳳、萬達屋各部落約三百町步の水利問題に關し鮮農大擧して領事館に押掛けた事件は、八日朝朝鮮總督府清水理事官來撫順署高等係と打合せ、農業公司責任者野中、古賀、田村の各氏を招致、理事官領事館の特別の斡旋で漸く金融方法につき同公司より中國地主や水利局に支拂ふべきものを支拂ひ目出度く解決した、之で鮮農も公司側も救はれた譯である

萬國動力會議に大橋氏出席

來る六月十五日ベルリンに於て開催される萬國動力會議に撫順發電所長大橋頼三氏が出席する、右は世界各國の事業の連絡状況等に依る觀油工業の研究報告、現況等を發表する爲である尚同氏は動力會議終了後は英獨等の工業界を視察する筈

安東

カフエー二人殺犯人に懲役十五年求刑
檢事の同情ある論告

新義州府民を驚倒せしめたカフエー豐樂の二人殺し事件の公判は七日新義州地方法院第一號法廷に於て開廷された、午後十二時十五分被告は悄然として着席、傍聽者は開廷二時間前より押寄せて立錐の餘地もない、裁判長より型の如き訊問をなし直に犯罪の審理に入る、終つて櫻木檢事立つて刑法第百九十九條を適用し懲役十五年を適當とするとて被告に同情ある求刑をなし神保辯護士の辯論に移つた

激戰夜に入る
守備隊の警備演習

既報獨立守備第四大隊は去る五日より警備演習を開始したが七日は安東驛を中心として午前七時より第六大隊參加のもとに一大警備演習を開始、午後一時頃よりは白熱し小銃、機關銃、大砲の音凄じく數千の觀衆殺到、演習は夜に入るまで繼續された

吳服商が商品を脫税
每年數萬圓を

新義州府內某一流吳服店では過日安東縣から多量の反物を輸入するに際し價格表を二様に作り一は原價を記し他の一は關稅を課せられても採算の出來る價格表を提示して課稅を受けてゐたの事で新義州稅關に押收されたと、尙從來も每年數萬圓の脫稅を行つてゐた事で目下嚴重取調中である

共販の成績
頗る良好

安東驛前共同販賣所は四月二十日開舖以來成績極めて良好で最近では日々二三百圓程度の賣揚があるが近く内部の電氣裝置が完備すれば夜間も相當賑はふものと觀られてゐる

文榮堂新店舖

市場通文榮堂書店では今回二階建煉瓦造の新樣式店舖を藏築の爲め三日から筋向ひの假營業所に移轉した、新築店舖は二階廣間を一般の集會其他に開放し屋上にはベランダを設ける、竣工期は九月末であると

新義州の春祭

新義州の春季大祭は來る十、十一兩日に行はれるが、平安神社の祭典並に御興渡御、寫眞及び素活動寫眞及び相撲など例年の通り盛大に擧行される事となつて

危險な野犬

最近安東市內に野犬出沒、五日午前十一時頃四番通三丁目附近に於て清原秀雄(一二)六日には同所通行中の鮮人某、同日濱崎通に於ては支那人が何れも野犬の爲め咬まれた

禁制品違反常習犯

六日奉天發安東着の第五列車内に於て禁制品密輸常習犯を檢擧の上現品を押收した、犯人は奉天支那街居住の列車內販賣員李杏林(二〇)にて同人は安東の同類と識し合せて右の犯罪をなしてゐたものと見られ、目下嚴重取調中

苦闘を語る
創業廿周年を迎へて
南滿洲瓦斯株式會社に富次專務を訪ふ

（終）

然るにこの値下に刺戟されて二三年後には内地瓦斯會社が二圓四十錢を二圓に下げ、東京だけは一圓八十錢に値下するに至つたが、日本に於ける瓦斯料金の値下斷行は當時の滿鐵瓦斯作業がその最初となつてゐる、其後歐洲戰亂により炭價の暴騰はその極度に達し、全世界の瓦斯會社にとつては所謂受難時代を出現し、日本の各瓦斯會社も一躍、三圓五十錢乃至三圓八十錢に値上の餘儀なき立場となつた。

▽―△

また自分たちも已むを得ず二圓六十錢に値上したが、多くの會社は今日尚この料金を保つてゐる、これは炭價と勞銀との關係に因ずられてゐるためだが、東京は大都市だけに需要戸數の關係上當時より幾分値下してゐるも、自分たちの料金と殆どその差がなく從つて東京と大連とは瓦斯料金に於て日本一に安い都市となつてゐる、

▽―△

然し創業當時の大連は所謂ダルニー時代の漁村にいくらか毛がはえたやうなもので、建物もバラックが多く、而も高粱殼の天井といつた風だから、燈火用のため屋内引込工事に行つて職工などが、高粱天井とは知らずに足を辷らして天井を踏み拔き眞逆樣に墜落したなどのエピソートも決して少くない、明治四十五年だつたと思ふが丁度その年は工場擴張に迫られてゐたけれど、豫算の都合で一ケ年繰延べといふことゝなつた、然るに皮肉にもその年から急に瓦斯需要量が激增し年末の供給が果して順調に行くかゞ危ぶまれたゝめ、已むを得ず鐵製レトルトを應用して增産計畫をたて辛うじて急場を間に合はせたこともあつた

▽―△

兎も角二十年間、他の同業者がよくやる事變をホントに一つも起さず、また需要者にも一回として迷惑をかけず、從つて何等非難の聲も聞くことなく來たことは、全く從業員の注意と緊張した氣分、即ち自らの仕事を各自が愛し、且つ同僚を愛し合つて呉れたことによることで、創業當時から終始一貫今日まで瓦斯事業に沒頭して來た自分としては深く感謝してる次第である、

▽―△

殊に事業の性質が頗る地味であるため就業員としても惠まれない處が多々あつたゞらうけれど、全員一致して二十年間一糸も亂れなかつたことは感激のほかない、勿論今後も一般家庭のため最善の努力を盡して行くが、日本人家庭では燃料問題としての瓦斯は既に徹底してゐるも、支那人方面が未だ徹底するまでに至つてないため、「なるほど」といふところまで十二分に宣傳して見たいと思つてゐる、これはいふまでもなく支那人家庭の燃料問題解決であり、且つその家庭經濟のためであらうと信じてゐる【寫眞は開業式當日餘興場の來賓】

閻氏の力も及ばぬ 勞働組合の強さ
官業從業員は優待
遊んでる天津の電話交換手

支那の勞働組合は、蔣介石だらうが閻錫山だらうが軍閥の絶對權力を以てしても容易に動かすことの出來ない強固な團結力を持て居る、最近閻錫山は北方政府樹立準備と對南京政府の討蔣軍事に莫大の軍費が必要なので

山西派 管轄下の全機關―各省政府、市政府、縣政府其他あらゆる機關に經費三割減、つまり職員俸給三割減を申し渡した、所が、郵便、電報、電燈、電話などの官營機關の從業員はその限りにあらずとの減俸免除令が出て、電話交換手や電燈工夫などが下ツ端の役人より

給料も 多く、ノホホンで暮してゐるといふ奇觀を呈してゐる、これは減俸による工會の活動から勞働大衆の反感を買つては不利だとの考へから來たものであるが、その最も適例として擧げられるのは、天津の電話が普通の呼出しから自働交換機に替つたのが今から

一年半 程前で、これは必然的に數百名の交換手が犧牲にならねばならぬ筈だが、自働交換機になつて一年半、未だに一人の解雇者もなく、通常呼出機當時の交換手がその儘居殘つてゐる、天津の電話は各國租界が主で、現在約六千の自働交換機が出來て居り、尚支那町に四百足らずの舊機があるのだがその僅かに四百未滿の

呼出機 に五百何十人かの交換手がブラ〳〵集つて居る、普通一人の交換手が四十機位の交換を扱ひ得るのだから、百五十人あれば交代しても充分の所を六百人近くが頑張つてゐるのである電話局では彼等の工會の力を怖れて

解雇も ならず、みすみす貸銀を支拂つて雇つて置かねばならぬ、これでは電話事業の改善も出來ず故障百出なのも無理がない斷つて置くが支那の電話交換手は全部大の男で、所謂交換手といふ言葉から來る

女性の 概念は支那では生れて來ない、男なればこそ強力な工會を楯にして、流石の閻錫山をして工會員の減俸免除が、全機關職員三割減俸令の但し書となつて來るのである

五月の問題

印度の外貨排斥

インドの反英運動に伴ひ、外國綿布の不買運動が猛烈になつて來た、最初ボンベイに始まつた此の運動は漸次奥地にも及びデリー・アムリツア・ラホールその他各地の綿布同業組合は三ケ月乃至一ケ年間外國綿布不買の決議をした、最近にはデリー綿布商組合からマンチエスター、横濱等の商業會議所に對し、インド向綿布の積出しには今後大いに警戒を要し、買手側と相談の上で積出され度しとの警告を出した、此の運動は英國品排斥が主であるが、我が國としても等閑視する譯にはいかない。

日支關稅協定

三月十二日假調印を了した日支關稅協定に關する交換公文は、四月三十日我が樞密院本會議に於いて承認されたので、重光代理駐支公使と王正廷外交部長の間に正式調印が行はれる事となつた、此の協定の結果、支那よりの輸出品は二分五厘の附加稅が賦課され、大連港よりの輸出品も愈々五月十日から適用され從來より百斤當り四錢七厘の增加となる。

日支條約改訂

かねて交渉の緒についてゐる日支通商條約改訂の第二問題、即ち治外法權撤廢問題に就いて近く討議が始められるやうな報道が傳へられゐるが、南北對立の形勢次第によつては、又一頓挫かも知れぬ

支那對日感情

南北分立の影響か、最近南方國民政府の對日感情は漸次良好となりつゝある、今度我が副島義一博士は同政府の法律顧問として招聘される事になつたが引續き各方面に日本人顧問を招く意思がある。

當年上海の霸者今何處？
歐洲大戰の勇將達 其の後の消息物語

（一）

歐洲大戰が獨墺軍の完全な降伏に依つて目出度く休戰の幕を閉ぢてより既に十餘年を經過した、未曾有の戰禍に戰慄した世界は恆久平和の樹立を目ざしてワシントンからジュネーヴへの道を辿つた、そして遂に國策の具としての戰爭を抛棄するケロッグ不戰條約の成立を見るに至つた「一九三〇年ロンドン海軍條約」は此の不戰の條約を實行に移した第一歩である

世界の輿論は斯くして 滔々相率ゐて軍縮の大勢に傾く、曾て歐洲大戰の當時驍々たる武勳を樹てた各國の勇將のその後は、此の著るしい世界の動きに照して特に興味があらう。最近ドイツ海軍の祖と言はれたフオンターピッツ提督が八十二歲の高齡を以てミュンヘンで逝去したドイツの海神と呼ばれた提督が、大戰當時勇猛果敢、潜水艇戰を決行、聯合軍の心膽を寒からしめたは人の知るところである

一九二〇年休戰後幾許 もなくして死んだ英國海軍の名提督フイッシャ卿に次いで鬼籍に入つた海將である、フオンターピッツ提督は大戰當時兩交戰國の海將中の最高齡者であつた、提督の好敵手英國の提督ベツテー卿は最も弱年で今猶六十歲に達しない、英國は國家の危機に一身を挺した憂國の名將に報いること極めて厚く、ベツテー提督は戰後「ボロデールのボロデール子及び北海・ブルックビーのベツテー男」と言ふ

嚴しい稱號を與へられ 更に議會の議決により十萬磅の功勞金を與へられた、ベツテー提督に次で英國海軍の巨星はジエリコー伯、即ちジョン・ラシュワース・ジエリコー提督である、當年七十ジユットランド海戰の功に依つて五萬磅を授與され、貴族に列せられた「スカパのジエリコー子及びサウザンプトンのブロスカ子」と言ふのがその稱號である、大戰當時活躍した米國の提督はウリアム・エス・シムス、及びヒュー・ロドマン兩將である

兩提督とも今は豫備役 に編入され、シムス提督はロード・アイルランドのニユーポートに、ロドマン提督は故山ケンタッキーのフランフオートに、悠々自適の日を送つて居る、シムス提督は遣歐米國艦隊の司令ロッドマン提督は當時北海に於て英國の指揮上に活躍した米國第六戰鬪艦隊の司令である

家庭とコドモ

健康な血液は美容の第一要素
美しくなりたい人は日光に浴せ

血色が良くて生氣のあることは美容に缺くことの出來ない要素で、如何に整へる容貌でも血色が惡くては美感は起りません、又如何に進歩した精巧な美容術でも健全な血液なしでは容色に生氣を與へることが出來ません、從つて

▲**美容は常に** 健全な血液を必要とし、これなしに完全な美容は絶對に望まれません、血液を健全に保つには全身の無病健全を要することは勿論でありますが、殊に充分な日光、新鮮な空氣、適度な運動と適當した食餌等が必要です、先づ日光は血色を良くするに最も必要なもので、血球や血色素は日光の直射がなくては充分に成生しません

▲**日蔭の草木** に緑味が無いやうに長く地下室や鑛坑等で働いてゐる人は蒼白くて生氣に乏しいものです、ですから美容を望めば屢々戸外にあつて日光に浴することが必要です、終日日當りの惡い室內に蟄居して美容を欲するのは恰も樹によつて魚を求むるに等しいとも言へませう、美容には鮮紅の血が血管內に流れてゐることを要するが、それには酸素に富んだ新鮮な空氣を充分に呼吸することが肝要です、詳言すれば呼吸によつて酸素が血液の血色素と

▲**充分に結合** して多量の酸化ヘモグロビンが成生することが大切で、炭酸瓦斯其他の有毒瓦斯に富み酸素の少ない空氣を呼吸すれば血は暗赤色となり、血球を破壞して甚だしく血色を害します狹い所に多人數蟄居してゐる場合種々な化學工業に從事してゐる人々の血色の惡いことは萬人の知るところで美容を望む人は屢々森林田園、海邊に行き新鮮な空氣を心行くばかり吸はねばなりません、又血液を健全にする爲には適度の

▲**運動が必要** です、即ち運動によつて新陳代謝が盛になり多量の血液が消費されると同時に新しい血液が補充されます、これに依り常に多量の生き生きとした血液が全身を循環し、從つて血色がよくなります、これに反して終日徒食安逸を貪る人は血液の消費量が少い代りにその補充量も少くその爲に古い老いた血球が比較的澤山にあるとになります、血も亦一種の生物である以上老たものが澤山で

▲**若いものが** 少くては生氣の有りやうがありません、運動家の血色が生き生きとしてゐるのに老人や座食してゐる人の顏色に生氣が見られないのは全くこれが爲です、食餌の選擇も亦血液の保健上必要な條件であります、榮養學の立場から言へば血色を良くする爲には主養素（含水炭素、蛋白質、水分、鹽分等）と副養素（ヴイタミン）とを體重、年齡、職業活動の程度等に應じ適當な配合と分量とを以て攝取することにありこの目的を達する爲の

▲**食品の撰擇** 配合、調理法等に就いては茲に申上げませんが要諦は哺乳兒には母乳が最も適當な食餌で成人には季節々々の新鮮な食物を彼是と取交ぜて消化し易いやうに調理し、腹八分目に攝ることです、殊に血液病を豫防し常に血色を良くしてゐる爲には綠色甘藍「マッパウド」豌豆、菠薐草、牛肉、豌豆、にんぢん、白豆、馬鈴薯等を必要とし、新鮮な野菜類、林檎、梨、柑橘類等を缺がしてはなりません餘り美食したり、或は偏食したり粗食したり又は過食、減食したりすれば必ず血液に變化を起して血色を害ひ、永い間には重い血液病となつて著るしく美容を損ねる結果を來します（和田醫學士談）

▲童　詩▼

おうま

大廣場校三年　河野松生

でんきこうえんの
うまにのつたら
すうと
うごきだした。
そのときどこかで
おんがくが
きこえた。
タララッタ
タンタン
タララッタ
タタン
わたしも一しよに
うたつちやつた。

大チャンノ　モウジウガリ（69）

ハルミチ作　ジラウ畫

「ヒツポダ　ヒツポダ」
「ズイブン　オホキナ　ヒツポダ　ナ」
ドジンドモ　ハ　カハ　ノ　ナカ　ヲ　ユビサシナガラ　ワイワイ　サワイテ　キマス　ソコヘ　大チャンタチノ　ジドウシヤ　ガ　ヤツテキマシタ。

「ナンダ　ナンダ？」
大チャン　ハ　ジドウシヤ　ノ　ウヘニ　ノボツテ　ドジンドモノ　ユビサスハウヲ　ナガメルト　フカイ　カハ　ノ　ナカニ　オホキナ　カバ　ガ　ウイタリ　シヅンダリシテキマス　大チャン　ハ　テツパウニ　テヲ　カケマシタ。

趣味の挿花（下）
……花道の眞諦……

三好洞石

▽**藝術は**△ 美的感情の發現であり知的感情である事は既に世間知悉の事で此の二者の內で先づ知的感情としての藝術より得る所が多い樣でありますので此の點を述べる事に致しませう、例へば櫻の花を描いた繪で、櫻の知識を與へ又梅の花を描いた繪で梅の知識を與へるなどは先づ繪畫が第一であります、次に詩文や戲曲によりて未見の經驗人生の秘奧を知らしめる、即ち藝術は過去現在未來を通じ靈魂宇宙とも交通し得られる程、我々に大きい

▽**効果の**△ 範圍を持つてゐる、故に知的教育にも多くの藝術的構式が用ひられる、教科書から繪畫と文學を除いたなれば殘る所によりて得る所は僅少であらう、次に藝術の道德的効果の直接と間接の關係に就いて述べて見ませう直接効果と云ふのは藝術の內容が道德的であり之を鑑賞する者が道德的教訓を得る事である、例へば忠臣孝子を描いた繪を見る者に忠孝を教へるが故に小學校の兒童の教育として効果がある、又「先代萩」の淨瑠璃を聽くとか芝居を見て政岡親子の忠節を感じ「壺坂」の淨瑠璃なり

▽**芝居を**△ 見てお里の貞節に教訓を得る芝居や淨瑠璃も社會を道德的に導く有力な教材であります、而して夫等の教訓は藝術の內容となつて居る爲に換言すれば教訓が藝術の形式に包まれて居る爲に其の効果を增す事を注意して貰ひたいのであります、露骨に教訓だけを與へ樣とすると教訓は大抵無味乾燥であるが爲に受入れられない、夫に藝術と云ふ形式に包まれると愉快を與へながら愚鈍な者にも受け入れられる、例へば忠義を盡せと云ふよりは楠正成の繪を見せるとか

▽**先代萩**△ の淨瑠璃なり芝居を見せる方が効果を廣く又深くする、花道は道德的な知的な藝術である、從つて他との混同を許さないけれども一般藝術の効果を知つて子弟を教導せねばならぬ、故に花道家は藝術の知的なり道德的なる方面を理解し往々耳にする不道德的な事のない樣に努めて注意する事を要する次第であります

新刊兒童教育書紹介

▲理科教育（五月號）　國家の盛衰と理科教育の振興、美の話、科學思想養成の實際方案に就ての座談會、史實より見たる光その他（四十錢、東京市小石川區雜司ヶ谷理科教育研究會）

カメラ遍歷　水產試驗場の巻【下】

◆「へーえ、滿洲にも日本人の漁師が居るんですか」などゝ目を丸くする人がある、ふざけちやいけない、市場のタヽキに水をぶつかけられて澤よく頭を並べてゐる魚といふ魚はおほよそ日本人の漁師がこゝいらの海から獲つたものなのである、現在關東州內に板子一枚下地獄のきわどい生活をしてゐる日本人漁師は約三百人、これらの漁師はたいてい五六十噸位の發動機船を所有して手繰り網やトロール網を使つて海の底をひつかき廻してゐるのである

◆手繰網やトロール網にかゝつて來る魚は先づ此の頃盛んに獲れるエビやカナガシラを始めとして五月から六月にかけてとれる鯛、それにカレヒ、ヒラメ、グチなどの底棲魚類、これらの魚に取つては深い海の底も決して絶體安全のユートピアでは有り得ないのである、そこへ行くと支那人の漁獲法は頗るマンマンデーだ、彼等はたいてい舊來のはひ繩を使つてゐる、長い繩に結びつけた澤山な針にエサをつけそれを海に沈ませて魚の食ひつくのを氣永に待つて居やうといふのだから頗る悠長である、斯うした時代遲れの漁獲法を唯一無二の方法として墨守してゐる支那人漁師に取つて手繰網やトロール網が一大脅威であることは無理もない

「何とかして俺達の漁場から手繰網やトロール網を追拂はなければ俺達の顎は干上つてしまふ」と彼等支那人漁師どもは暗夜密かに大きな石や岩を漁場の要所々々に投げ込んで網を引けないやうにしたりする、兎に角海上は誰の所有とも極つてゐないのだから轉がつてゐる鹽は先に取つたものゝ所有だこんな有樣だから漁場では陸のものゝ想像も出來ないやうな殺氣立つた大爭奪戰が四六時中續けられてゐる

◆手繰網やトロール網で海底から掬ひ上げたあまたの漁獲物は船の底の貯藏室に頭を揃へてきれいに並べ、細かく碎いた氷を入れて運送する、こゝで一寸氷鯛と生鯛との説明をして置かう、氷鯛といふのはよほど遠方から氷につめて運送されたもので生鯛といふのはすぐ此の近海で捕れたものゝやうに考へられるが、生鯛といふのも氷鯛といふのも結局獲れる場所は同じことで唯船で運んで來る場合氷づめにして來るか生簀に入れて生かして來るかの相違なのである、生鯛が氷鯛より値段が高いといふのもつまりは運搬上の手數が違ふからことである

◆四月の初め頃からボツボツ海老が市場に出るが、それは對岸の山東高角から南方約二三十哩の石島灣沖で獲れるやつだ、此の頃になると漁場がぐつと渤海灣に入つて龍口沖あたりに海老が集つて來るそして海老がだんだん少くなる頃から同じ網に鰆やサワラが盛にかゝつて來る、鰆の安くなるのもその頃からだ

◆滿洲名物の黄花魚の漁獲も春が最も多い、漁場として有名なのは熊岳城沖で漁獲高から見ても鯛に次いでだ、しかし日本人は値段の安い黄花魚を食はない

「どうも日本人は餘りに傳統的でいけませんね、料理の仕方によつては隨分うまく食へるんだが、さて買つて食ふものが殆どない、そのくせ支那料理に出たりする黄花魚を無條件で賞讃するんだからやり切れない、とにかく主婦の頭を大いに開發する必要がありますね」と試驗場員がグチを言ふのも無理はない

◆日本人は新らしがり屋のくせに極めて傳統的だ、味噌汁を吸つてマグロの刺身を食つてそして疊の上に寢なければ承知出來ない人種なんだ、だから滿洲に來ても滋養價があつて値段も安いカナガシラだとか黄花魚だとか太刀魚だとかを顧みやうともしない、滿洲に來たらやはり滿洲土產の魚を食はなければ嘘だ、滿鐵家庭研究所では在滿邦人が滿洲產の安い魚を食はないのを遺憾としてこれらの魚の料理法を研究してゐるさうだが、生活改善、家庭經濟の合理化もこんなところから入つてゆくのがほんたうだらう

◆關東州の養殖事業としては先づ牡蠣が有望である、最近では海上に浮んだ筏から針金を垂れその針金に牡蠣を附着せしめて立體的な養殖をやつてゐるが場所の經濟から見ても牡蠣の大さを揃へる上から見ても頗る好成果を納めてゐるさうである、尙淺海利用の養殖としてはアサリなどは頗る有望、關東州の漁業に於て最も漁獲高の多いのは鯛が第一位で年額約八十五萬圓、次は黄花魚の約八十萬圓、それに次いでは鯖の約五十五萬圓などで太刀魚やヒラメの四十萬圓も馬鹿に出來ない

寫眞說明
上＝標本陳列室、關東州近海で獲れるあらゆる魚族が網羅されてゐる
下＝罐詰製造室

探偵小説 **女妖**（85）

江戸川亂歩作　横溝正史　伊藤幾久造畫

古塔の老婆（五）

引き千切られた謄本を見て、瀧子は思はず息を呑んだ。

彼女はわざ〳〵このシヤトワール村までやつて來たのは、たゞ、この河内兵部の子孫が知りたいためであつた。總ての謎はこの謄本の中に包まれてゐる。彼女は今一息でこの謎を解き得る處迄やつて來たのだ。しかもその肝腎のところで、又してもまんまと敵のために出しぬかれて了つた。

瀧子が地團駄を踏んで口惜しがつたのも無理はない。

「爺さん、爺さん――」

瀧子は急がしく奥へ向つて聲をかける。

「はア、何んだね」

老役人は轆氣さうに奥から出て來た。

「今日、此の謄本を見に來た人があるつて、貴方さつき言つてましたね。どんな人?」

「さうですな、一人は背の高い、外國人らしい紳士でしたよ。その人が朝一番に飛込んで來ると、この謄本を見せてくれといふので、その人が歸つてから、直また三十ぐらゐの立派な紳士がやつて來ましたよ」

「さう――ぢや、そのうちの一人に違ひない。爺さん、ほら、御覽なさい。此處ンところが三頁程千切れてゐますよ」

「ナ、何んだつて、謄本を破つたつて?」

爺さんは思はず顏の色を變へた。

「や！成程、本當だ。ひどい事をしやがる。こりやきつと、一番初めに來た外國人の仕業に違ひないこん畜生！」

「爺さん、その人、どうしたの?」

「さうだ。彼奴、この塔の中を見物させてくれと言つて登つて行つたが……まだ出て來ねえやうだ。」

老役人はさう言ふと、そゝくさと部屋の中から出てくると、薄暗い、埃つぽい階段を登つて行つた。

瀧子もむら〳〵と沸き起つてくる好奇心に驅られて、その後から續いた。この塔といふのは、その昔の物見櫓か何かのために建られたものに違ひない。螺線狀の狹い階段が、長く高く續いてゐた。

それが何年となく最早手を入れないと見えて、壁は落ち石はかけて、餘程注意しなければ足許が危ふい。役場の爺さんは、それでも慣れてゐると見えて、老人にも似合はぬ足どりで登つてゆく。瀧子もその後から急ぎながら。

「ねえ、爺さん、この塔の中には日頃誰が住んでゐるの?」

「あゝ、お和枝婆さんといふ七十ばかりの婆さんと、その孫娘の小夏といふのが二人、番人の代りに住んでゐるんですよ」

「まア、こんな氣味の惡いところに、よくそんな老人と子供と二人でゐられるものね」

「ナーニ、慣れてりやわけはありませんや。それにこの婆さんといふのが變人で、何でも祖先からの命令で、この塔の守をしてゐなければならんと自分で信じてゐるんでさ」

「まア、この塔を――、祖先からの命令で――?」

「さうだよ。何でも昔この城を建た河内兵部といふ男の子孫ださうで……」

「え?何ですつて?ぢやその婆さんといふのは、河内兵部の子孫なの……」

瀧子は思はずさう叫んだ。

何かしら不安な氣分が彼女の胸の中にむら〳〵と湧き起つてきたと、その途端、塔の上の方から一種異樣な叫び聲が、一聲高く、長く響いて來た。

その聲が、埃つぽい階段の上から、渦卷く樣にきこへて來た時、役場の老人も瀧子も思はずぞつとして足を止めた。

それは何か、斷末魔を思はせるやうな不氣味な聲だつた。

秩父宮樣

東鷄冠山上にて御熱心に戰史御研究

二時間も烈風中に立せらる 夕闇迫る頃御下山

秩父宮殿下には九日午前中白玉山戰利品陳列館、黄金山を夫々御視察の上午後一時二十分東鷄冠山にお成り、同所に於いて御携行の簡單なる御晝食を御攝り遊ばされたが、同四十分御晝食もそこ〳〵に再び陸大生と共に御受講に移られ戰役當時同砲臺の日本軍總攻擊に參加したる第三十三聯隊長村田步兵大佐より

第一回總攻擊

に於ける同砲臺攻擊の概況、同海城野砲聯隊長河村砲兵大佐より去る卅七年十二月二十七、八日即ち我軍爆發後の旅順總攻擊當時に於ける同方面に於ける我砲兵の情況につき御受講あり、兩氏は夫々當時に於て日露兩軍の攻防狀況及び我軍の苦戰其他につき詳細に御説明、河村大佐は時に充分なる御説明を申上ぐる爲め旅順砲兵隊をして遠く前面の大孤山、火石山の線即ち牛心山鳳凰山子、其他八ケ所の當時に於ける我砲兵陣地より一齊に擬砲火を揚げてその實況を髣髴たらしめたが、然るに折惡しくもこの頃より强風吹き出したので何れも

殿下の御身を

竊じ奉つたが、殿下には何等御意にかけ給はず二時間御熱心に御聽講あらせられ、時々重要事項を御筆記又は專門的事項、行動等に對し御下問あらせられた、次いで同三時三十五分鷂山なる望臺に成らせられたが、殿下にはさしもの急坂を意とせられず、グン〳〵御登攀遊ばされ本間御附武官など遙かに取殘された程であつた、この望臺は旅順戰跡中最高所の砲臺で東西に連なる鷄冠山、四堡壘、一ノ戶、盤龍、鉢卷、二龍、松樹の各砲壘を見下す所にして旅順在鄕軍人分會長大塚砲兵大佐は特に

盤龍山附近の戰鬪

につき約五十分に亘り御講話申し上げたが、同四時三十分二龍山戰跡御着、こゝは旅順總攻擊最終日に際し我が名古屋九師團第十九、第卅六聯隊が最も猛烈なる爆破を行ひたるの地を以て有名であるが、殿下御來旅に際し態々朝鮮より來旅の朝鮮軍參謀長中村少將より同じく遺骸を以て有名なる二龍山堡壘と共に戰鬪狀況を御説明し、又細川砲兵中佐より攻城重砲兵の目標偵察につき詳細なる講話を申し上げた、かくて殿下には旅順戰跡御視察第一日の御日程を恙なく終へさせられ同六時二十分夕闇迫る

砲臺を御下山

直に陸大生一行を隨へさせられ偕行社における畑軍司令官の御招宴に臨御、附武官や當日の説明者御學友等と御談笑遊ばされ午後八時御假泊所たるヤマトホテルに御歸還遊ばされた

軍司令官の御歡迎宴 昨夜偕行社にて

畑關東軍司令官は九日午後六時三十分より秩父宮殿下以下陸大戰史視察團一行並に中村朝鮮軍參謀長外、講話者一同を偕行社に招待し軍部より厚東要塞司令官、三宅參謀長及各部長、幕僚等出席、軍司令官は御遠慮の爲め、主人側を代表して三宅參謀長より、殿下御歡迎の辭を述べ開宴、デザートコースに入るや一同起立、酒盃を擧げて殿下の御健康を奉祝したが殿下には御機嫌麗しく御談笑遊ばされ午後八時五十分御假泊所へ御歸還遊ばされた

滿鐵の扈從者

秩父宮殿下には陸大生一行と共に十一日朝旅順御發沿線戰蹟御視察の途に上らせられるが、滿鐵よりは總裁病氣のため代理として藤根理事以下保々地方部長、市川鐵道部次長、藤井秘書役等が扈從し申上ることゝなつた

明朝沿線へ御出發 先づ金州へ成らせられ 湯崗子に御假泊遊さる

秩父宮殿下、十一日の御日程左の如し

午前六時三十分旅順ヤマトホテル御出發▲同六時四十分旅順驛御出發金州に向はせらる▲同八時十分金州驛御着(驛ホームにて)▲同八時二十分南山へ御成御説明(三宅少將)▲同九時五十六分金州城南門御着御説明(金州民政支署長)御途中種馬所種馬台覽▲同十時五十分金州驛御出發御晝食(列車中)▲午後十二時四十分龍王廟附近臨時停車場御下車同附近御見學▲同六時三十分湯崗子驛御着對翠閣御假泊

御道筋

一、御假泊所=より明治町を橫切り海岸通に出で左折して漣橋を渡り直進して關東廳正門前扶桑町、日本橋を經て旅順驛へ

二、金州驛=より驛前通に出で奥町角より左へ十丁四十六間を經て南山麓へ

三、南山戰蹟=より奥町角を左折驛前通より南門へ

四、南門城壁=より南街東街を經東門に出で城壁の外側に沿ひ金大道路南門外交叉點より驛前通を過ぎ金州驛へ

五、龍王廟=の踏切假停車場より東方に向つて約二丁進まれ獨立家屋附近に至り左折して斜に山上記念碑へ

六、湯崗子驛=より溫泉行道路を東方へ直行

東鷄冠山上の秩父宮殿下

(上)戰跡を御視察(下)村田步兵大佐の講話を御熱心に御聽取(列中の中央が殿下) 本社寫眞班謹寫

第二回旅順閉塞隊の狀況を御説明 光榮の松崎隆義氏謹話

黄金山砲臺にて「日露役に於ける攻防の實況」を御説明申上げた松崎隆義氏は、第二回旅順港閉塞隊に加はり報國丸乘組員として砲煙彈雨裡に天佑を得て生き殘つた一人で、時に閉塞隊の實況を御説明申上げる適任者として選ばれたのであるが

氏は恐懼し

乍ら語る 私の如き卑しき野人が、かゝる高貴の御前に罷り出で、御説明申上げると云ふことさへ唯々夢の樣に感じられまして、恐懼の餘り感慨の申し述べ樣もありませぬ、黄金山上で閉塞隊當時の模樣に就き御説明申上げましたのは久保田駐在武官と不肖私とでありましたが、久保田中佐殿は第一回から第三回迄の困難だつた閉塞狀況を順序立つて御説明になり、私は當時の記憶に依つて第二回閉塞隊の狀況を印象的に御説明申上げました、指揮官たる廣瀨中佐の訣別の言葉や決死隊員が一樣に締めた報國丸信號旗で急造した下帶も御覽に供しました、私の御説明は主として閉塞船の行動、爆破の狀況乘組員の壯烈な決意等に就いてゞありましたが御説明中畏くも

明治大帝の

御ことどもに就て申上げました際は、宮殿下は一々不動の御姿勢でイトも御感慨深げに御聽取あらせられました、何分卑賤の身がかゝる高貴の御前に罷出たことは生涯初めてのことで感激と恐懼の程は口や筆では盡されませぬ

三百年前の『蓮の實』と『粘菌』獻上の光榮

秩父宮殿下のお目にとまって 大連第一、二中で手續

秩父宮殿下御假泊所たるヤマトホテルには各學校生徒の圖畫、手工品、博物蒐集品等の成績品を陳列し、八日午後九時、殿下が滿洲館における滿鐵の御招待宴からお歸りと共に御覽にそなへたところ宮殿下にはいと御滿足に思召されたに拜したが、そのうち、大連第一中學校より出品せる粘菌と稱する原生植物について同校小林教諭が御説明申上げたところ、御意にかなひお持ち歸りの意をお洩らしあらせられたので、同校では有難き思召に感激し直ちに獻上の手續をとつた、なほ大連第二中學出品の同校泊教諭が普蘭店にて採集せる約三百年前の蓮の實及びそれが自然發芽の押花にしたものをお目にとめさせられたので同校にても直ちに獻上の手續をとるべく一中の粘菌と共に九日午後一旦

關東廳に

送り、同廳を經て殿下のお手許に差上げられる筈である、なほ獻上すべき蓮の實は普蘭店の獨家劉雨田氏の昔、堀割であつたところの泥炭層より採集されたもので、二、三百年を經た今日なほ發芽力を有し、教育專門學校教授大賀一郎博士がこの蓮の實の研究によつて博士論文とした程の珍しいものである、洩れ承る處によれば殿下が斯く博物採集物にお目をとめさせられたことは御兄君陛下が生物學に御造詣深く興味を持たせられるため

陛下への

御參考に思召されたと拜察され、今更ながら殿下の御兄弟宮への御情愛深きことに一同恐懼感激してゐる

我國特殊の原生植物

粘菌について 小林教諭語る

出品物について殿下に御説明申上げ且つ粘菌獻上の光榮に浴した一中小林教諭は語る

粘菌は植物ではありますが生物として全く下等なもので動植物の境にある樣なものです、獻上のものは三種類でありますが、これは當校五年の溪正夫君が昨年八月安奉沿線で採集したものです、これは胞子が發芽せば粘液體のものとなり、朽葉等のうへを匍つて歩いて小さいバクテリヤを食べるのですが成長す

砲兵情況を御講話

大塚大佐講話

自分は望臺に於て同方面に於ける攻略の一般を申上ぐる豫定であつたが、教官の瀧田中佐より戰史にあることは大體に於て學生も知つて居ること故、斷片的でも教訓的の話をして貰ひたいといふことであつたので、主として砲兵の情況について講話を行つた、それで當時最も困難とせられてゐた支那の周壁が非常な強度だと云ふことを隊長等が考へて居た所が事實はより以上なる強度であつて、今日ではこれが一つも殘されてゐないのでこの點を主として申上げた、又三十五分間も東北正面に向つて強風吹き荒む中に終始殿下には御聽取遊ばされて、恐懼感激に堪へない次第であつた

支那官憲が我領事分館威嚇

不逞鮮人の引渡要求 昨日局子街に於て

【間島特電九日發】局子街領事分館警察では此程獨立運動の急先鋒金仁三を逮捕し馬車に乘せて警官四名が護送の途中、金は大聲で「支那人が日本警官につれられて行くから助けて呉れ」と叫び、其の際に支那兵十數名が兵舍から飛び出し同人を奪回せんと追跡したので我が警官は馬車をフルハト河に乘入れ活動寫眞其儘の光景にて漸く分館に引揚げた處、支那側は金を歸化入籍者との理由で引渡しを要求すると共に武裝巡警を配置して分館を監視し、六日の如き歸化鮮人三百名を煽動して分館の燒打が起ると威嚇して金の引渡しを要求したが田中副領事はこれをはねつけた、引續き支那側の陰險なる策を警戒中であるが、最近間島各地共支那官憲の對日態度が頗る險惡の度を加へつゝあるのは注目される

宇佐神宮の神樂奉奏

大連神社春祭り

大連神社の春祭には宇佐神宮專屬の神代神樂十八番を奉奏する事になつたが、これがため同神宮神樂職中野儀司氏ほか九名の一行は八日入港のうらる丸で來連した、春祭には神社、本祭には御旅所後祭には神社の三日間奉奏するが同神樂を滿洲で奉奏する事はこれが最初である、また一行は宇佐神宮々司、男爵到津公熙氏より免狀を有する日本有數の古典神樂で莊嚴そのものゝ如くさながら神代を偲び日本國體の

尊嚴を

現はし思想上にも教育上にも裨益する處大なるものがある、因に神樂番組は左の通りである

扇の舞▲花神樂▲三氣都和伊命の舞▲手種▲御先▲太刀神樂▲弓神樂▲地割▲大神▲天兒屋根命の舞▲高皇産靈神の舞▲四鬼神▲日象神▲太玉命▲素盞鳴尊▲手力雄尊▲天目一個尊▲天鈿女尊戸取明神▲番外大太刀の舞七五三の舞

都計や道路施設 歐洲ではモウ行詰り

長澤技師、視察のお土産話

關東廳土木課大連出張所長長澤鑑五氏は八ケ月の豫定で歐米各地を視察中であつたが、印度洋を經由上海より大連丸にて八日歸連した長澤氏は語る

米國、佛、獨、白、蘭各國を廻つたが道路施設、都市計畫等は歐洲ではモウ擴張されつくして行き詰りの感じだ、結局金が第一でその點では金のあるアメリカが一番好い樣に思つた、新しい好い建物の多いのは白耳義、獨逸に多い樣だつた、自分としてはこの視察によつて得た知識によつて都市計畫、殊に道路の改良に盡したいと思つて居る、更に下水工事は歐洲において非常に發達して居るが是非大連における下水工事も遜色のないものにしたいものだ

國民政府の船旗旗

新に制定さる 海務局に見本

國民政府においては從來區々として一定せず亂雜極まりなかつた各種船舶旗幟を一定する事となつたが漸く黨旗、海軍旗、商船旗、將官旗等十八種旗の船舶旗章を制定したので、王正廷外交部長より重光代理公使を通じて各方面に通知した、因みに右船舶旗幟を知りたいものは一週間以内に大連海務局迄出頭せられたいと

西部大連は二割方安

自動車の新料金

西部大連における自動車營業者七名は曩に大連同樣、改正による新自動車賃金表を連名にて沙河口署に提出、同署より關東廳に申請中であつたところ七日附を以ていよ〳〵認可されたが、從來沙河口市内と稱するものが今回よりは東は長者町より日吉町まで、西及び北は市街と村落境界、南は㮶野町競馬場までとして西部大連の區域が擴大されたことになり、同じく七日附を以て認可された小崗子署管内の自動車賃金と共に左の如く從前の規定料金より約二割方安くなつた

▲沙河口自動車新賃金 西部六區五十錢、沙河口より小崗子伏見臺八十錢、聖德街より小崗子伏見臺六十錢、沙河口より舊大連市内一圓、聖德街より舊大連市内八十錢、月見ヶ岡六十錢、星ヶ浦一圓、桃源臺、平和臺一圓五十錢、沙河口火葬場一圓、大連火葬場一圓二十錢、周水子驛一圓五十錢、小野田セメント二圓五十錢、凌水橋附近一圓五十錢、傅家庄二圓、龍王塘四圓五十錢、旅順七圓五十錢、小平島二圓五十錢、金州五圓五十錢

▲小崗子自動車の賃金 舊市内五十錢、櫻花臺五十錢、桃源臺平和臺一圓、競馬場一圓、傅家庄一圓三十錢、老虎灘、星ヶ浦一圓五十錢、周水子驛二圓、小平島三圓、金州六圓、旅順八圓なほ往復料金は約五割增平均であると

支那人の銃殺死體

强盜の片割か

八日午後七時三十分ごろ大連管内周水子會周水子屯一一〇雜財商閻寶貴かたに侵入した三人組の拳銃強盜に對しては所轄大連署に於て嚴重犯人捜査中であるが、九日午前十一時ごろには周水子より甘井子に至る海岸に於て年齡四十歲前後、遊び人風體の銃殺死體を通行人が發見した、屆出により檢察局から春木檢察官事務取扱、大連署より藤井司法主任現場に急行し檢視すると共に司法刑事の總動員を行ひ捜査を開始した死體には胸部と頭部に貫通銃創あり、所持品なく何れの何者とも判明しないが八日午後八時ごろの兇行らしく人相服裝および兇行の時間より見て前記閻寶貴かたを襲つた強盜が逃走の途中仲間割れして斯る兇行に及んだものではないかと大連署當局は睨んでゐる

汐見町の火事

八日午後二時二十五分市内汐見町三八番地宋世當方裏口より發火、近隣の者が發見消火に努め一部を燒いたのみで消止めたが此騷ぎに負傷者三名を出した、原因は不明にて大連署で取調中、損害約卅圓

日本人溺死體

九日午後二時第一埠頭六番バース附近に日本人船員風の溺死體が浮き上つたので早速水上署に屆出るところあつたが檢視の結果右は死後四ケ月を經過したものでカーキ色の作業服を着てゐる點より去る一月十四日行方をくらました當時二番バース繫留中だつた菊桐丸火夫長松本六左衛門らしいので取敢ず扱店靖和商會に通知して死體を引取らしめた

大島郡人家族會

鹿兒島縣大島郡人會では來る十一日午前十時星ヶ浦星の家附近において春季家族會開催會費無料であると

明大校友會家族會

明治大學校友會關東州支部では十一日午前十一時から市内伏見臺淨水池において同校友家族會を開催するが、會費は一般三圓、獨身一圓五十錢で辨當は校友會にて準備をし、餘興として運動會其他を行ふと

定期船三等滿員 乘船豫約は早く

最近の定期船は三等が滿員になる恐れがあるので、十日出帆うらる丸以後は乘船豫約者は早く申込まれたいと大阪商船旅客係ではいつてゐる

電協總會延期

滿洲電氣協會では五月二十四日に定時總會開催の豫定であつたが諸般の都合により六月に延期する事になりその期日は追つて決定する由

三吉積罪物語

大庭武年作　浅枝次朗畫

【七】

遠州灘を帆走る或日の事、三吉は不図平助の後姿を見て、此の頃彼の態度に何となく解せない所がある事を感じた。考へて見れば、平助の以前のやうに快活に話しかける事もなく、たまにヒヨイと瞳を逢はす時なぞ、平助は妙に怖ぢた眼つきで視線を逃らす。そして總てなるべく三吉を避けやうとしてゐるらしい風がある。三吉はその謂はれが何となく氣になつた。

——海は割に平穏で、單調な航海が明け暮れに續いた。冬空に寒げに漂ふ孤雲をみては船夫たちの心情は遠い江戸へのノスタルヂアへ誘はれた。船は一二の港に一服しつゝ、小忙しく旅程を急いだ。

人間は秘密を隠し持つ程苦いものはない。平助の場合は殊にさうだつた。彼はたゞ友達の秘密を偶然に知つただけに過ぎないのだがそれが永久にそして絶對的に隠し持ち續けてゆかなければならないものだと考へると、それは酷い苦勞のやうに思はれた。彼の心は三吉の手前なほ二重に秘密を抱く懸迫を感じてその苦みは日毎に募るのみだつた。

そのうちに平助は一層狼狽しなければならない羽目になつた。それは近頃の三吉の様子である。その探るやうな眼、緊張した青白い顔、常に背後から鋭い視線を自分に送つてゐるらしい様子——それらを思ひ合はせると、平助は恰も自分が、殺しの秘密を持つてゐるかの如く心痛した。彼は明らかに自分の胸の中のものを三吉に嗅ぎつかれて了つたのであらうと考へた。

さう考へると、彼は我慢にも沈默は守れない氣持にされた。結果一切を三吉に打ち開けた方がいいと決心したのだつた。

ある夕燒雲の美しい黄昏、平助は人氣のない舳に三吉を誘つた。船の引く水跡が千里の彼方にまで白々と續いて見えてゐた。

——話を聞かされると、三吉はサッと顔色を變えた。が、すぐ觀念したやうに青白んだ殺氣の籠つた表情で唇を堅く嚙んだ。

「——と云ふ譯だが、むろん、わしゃ誓つて他言はしねえ。お前さんも大阪へ着いたら陸に上つて身を隠した方だ得策だらうぜ」

平助はともかく重荷を卸した氣持で云つた。

「——えらい心配をかけたなあ」

やつと三吉は小さく云つた。そして暫くして悄然と呟くやうに云つた「悪い事は出來ねえものだ。俺あすつかり逃れたつもりでゐたんだが」

それから一、二日は經つた。三吉と平助との間には、併し、平助が始め考へたやうに告白に依る圓滿は到來しなかつた。それよりなほ一層妙にこぢれた冷たい氣まづい溝が深く掘下げられてゆくやうだつた。三吉は平助を見ると「自分の秘密を握る男」に對する恐怖と憎しみが知らず心に湧きあがつた。平助はそれを三吉の顔や態度から知るにつけ、自身もすつかり憂鬱になつて、なるべく三吉からは離れた立場を取らうとした。

それは長い海路を、やつと吹き初めた順風に縮めて、あと一日のうちには大阪の地を見ようとする紀州沖での事だつた。風は俄に烈風と變つて、夜に入つてからは全く暴風となつた。小山のやうにも盛り上る水面は千石積の大船を木片かなにかのやうに翻弄した。時節と云ひそれは恐い難儀だつた。船夫たちは一心に金比羅宮を念じ乍ら船の安全を必死になつて計つた。

その最中だつた。馴れない平助は足を滑らせて顚倒した。彼の身體は起き上る間もなく、激しい勢で舷を襲ふてきた大波に卷き込まれさうになつた。平助は辛うじて舷に出てゐた横木にしがみついた。そして叫んだ。

「救けてくれ…」

が、誰もその聲に應ずる餘裕を持つ者は居なかつた。誰れしも自身の體さへ自由ではない場合だつた。然し丁度その時近くにゐた三吉は平助の聲を聞くと勇敢に危險を冒してその方に近づいて行つた。

「救けてくれ…救けてくれ…」

平助は必死に絶叫しつづけてゐた。三吉は物にすがり乍ら這ふやうにして近づいた。そしてやつと船舷に達すると、膂力をこめて今にも海中にさらはれやうとしてゐる平助の體を引寄せた。

「大丈夫だぞ、平助さん…」

そして三吉は己が身の危險も忘れて、平助を船の中に引づり込もうとした。その時三吉は不圖思つてはならない事を思つた「この男は俺が人を殺した事を知つてゐる奴なんだ」——三吉はギヨッとした。が、無意識な慚愧の情は、平助を安全に抱き寄せてゐた。

が、その時だつた。既に半死の状態にある平助が聲をあげて叫んだ。

「三吉！お前は俺を殺すんだな！」

三吉は鋭い刃物で心臓をつき刺されたやうに思つた。ギギギと船體がきしんでその時船は急角度に傾きかゝつた。平助を抱いた三吉は重心を失つて舷に酷く倒れかゝつた。その拍子に、三吉の手は思はず出來るだけの力をこめて、平助の體を海の中につきとばして了つてゐた。

滿日文藝

滿日柳壇　募集吟「花」

大連　凡雅
花の山女裝の髭も酌をされ
留置場の窓から花のことも聞き

大連　新月
獨り者花見の外に人も見る

大連　岳泉
花の山訪ふ人もなく淋しがり

湯山城　軒風
内緣は花見に本性さらけ出し

旅順　千潭
年増にはちと不似合な花子の名

旅順　屯狂
花の山家で見られぬ醫も出し

大連　芳人
終點で滿員になる花見客

大連　惣太郎
花に醉ひ酒にも醉ふて下る山

立山　愛愁
花の會その一輪が風致なり

沙河口　哥壽美
賣れ殘り花屋の床へ春盛り
活けるまで位は知つてゐる花屋
有綱に暮して花の名も覺え

山城鎭　濟風
花散りて失戀いつそ淋しがり

撫順　晴岳
公園の花へ誘ふて初見合ひ

寒天　照太郎
花札へ目附の變る負をとり
花鉄り下戸も浮れた歩きつき

川柳募集課題

◇連鎖街　五月十五日〆切
◇朝起き　五月二十日〆切
◇パラソル　同上
▽一題五句住所氏名明記▽大連市彌生町十六高橋月南宛

滿日文藝係

夕刊 滿洲日報 五月九日

既に難關を切拔け前途に波瀾無し

政府はいよ〱樂觀

【東京九日發電】議會の重心は既に貴族院に移り政府の對策は專ら義務教育費增額案委員會と豫算委員會とに向けられてゐるが、義務教育費の方は委員の顏觸が政府に有利に決定された結果審議の空氣は著るしく緩和されその通過は確實となり豫算委員會も八日の模樣から見れば今後大なる波瀾無しに切拔け得るものと政府は全く樂觀するに至つた、只豫算委員會における今後の質問者中花井、鵜澤兩博士及び坂本俊篤男はロンドン條約及びそれと關聯する統帥權問題につきこれまでの貴衆兩院の質疑應答內容に基きそれ〱蘊蓄を傾けて政府に肉薄するであらうから政府もこれを最も警戒しその對策に萬遺漏なきを期するはずであると

失業反對運動週間

第一日の對策促進協議會にて 各派代表が意見交換

【東京九日發電】無產黨共同委員會主催失業反對運動週間第一日は失業對策促進協議會として八日午後七時から協調會館に開かれ政友會山口義一、安藤正純氏以下六名民政黨加藤鯛一、風見章氏以下四名、第一控室尾崎行雄、森本一雄氏無產黨片山哲、淺原健三、松谷與二郎氏の各代議士その他參集し十時左の如く互選された

委員長 柳澤保惠伯(研究)

尾崎行雄氏は官民自ら失業者を作り出す國情と、失業者の增加を助長する如きことをしながら一方救濟を叫ぶの矛盾を指摘して失業救濟は軍備縮小に依り生產增加以外に途なきを唱へ、その他各氏より忌憚なき意見の開陳あつて九時半散會した

陸軍縮小決議案

革新倶樂部から提出

【東京九日發電】革新倶樂部では國民負擔の輕減を圖るためこの際現內閣當初の聲明に基き陸軍の縮小整理をなすべき事の決議案を一兩日中に第一控室議員の贊成を得て衆議院に提出する事となつた

義教費委員長

【東京九日發電】貴族院の義務教育費增額案正副委員長は九日午前

副委員長 斯波忠三郎男(公正)

ハルビンに着いた財部全權

司法權紊亂 質問書提出中止

【東京九日發電】既報の如く民政黨小俣政一氏は司法權紊亂に關する質問書を八日衆議院に提出すべく正規の手續きを濟ますばかりになつてゐたが、俄に小俣氏は右提出を中止した

治廢交涉 方針打合 重光總領事歸朝

【上海八日發電】重光代理公使は議會閉會後歸朝本省と治外法權撤廢交涉に入るに先立つて初め交涉方針の協議を行ひたいとの意を持つてゐる

汪公使歸國

【東京九日發電】駐日支那公使汪榮寶氏は九日午前十時外務省に吉田次官を訪ひ來る十二月橫濱出帆の秩父丸にて約三週間の豫定で歸國するにつき挨拶をなした

統帥權問題を徹底的解決

政民兩派が共同戰線

【東京九日發電】統帥權問題につき議會に會合した民政黨少壯派の實行委員杉浦、宮澤、作田、風見氏等は八日本會議後協議の末統帥權問題は當然樞密院においても論議されるからその對抗策をも講ぜねばならぬが更に根本的憲政の確立上この機會に本問題の徹底的解決に當るを必要とする依つて本問題を超黨派的に取り扱つて軍部に當るべく政友會少壯派に折衝して相提携して運動を起す事にしたいと意見一致し十日本會議後少壯派總會を開き右に關する決議をなし愈々具體的運動に入る事となつたなほ右につき政友會少壯派の態度はなほ未定である

馮閻兩軍の團結

鄭州に司令部を設置

【天津特電九日發】鄭州における閻、馮兩巨頭を始め最高將領の軍事會議の結果既報の如く大體に於て馮玉祥氏は鞏縣乃至太原に駐在して軍令を擔任し閻錫山氏は太原に在りて軍政を擔任すると共に馮派の鹿鍾麟氏は前敵總司令に、閻派の徐永昌氏は前敵副司令に就任し馮閻聯合軍の團結を堅め一方各軍の展開も計畫通りに進み東は津浦線から濟南へ西は平漢線から武漢へ而して主力は隴海線から徐州へ向け總攻擊を開始することになつた、而して直接戰爭を指揮する鹿鍾麟、徐永昌兩氏は鄭州に司令部を設け多數の高射砲を据えつけたが早くも蔣介石軍の飛行機は連日鄭州へ飛來し爆彈を投じつゝある同時に各戰線にては引つゞき小競合行はれ平原、禹城方面では山西軍退却し隴海線では萬選才軍は蔣軍の陳調元軍を破つた

中央軍の總攻擊愈よあす開始か

蔣介石氏蚌埠に到着

【南京八日發電】總司令部入電に依れば蔣介石氏は午後五時蚌埠着直ちに列車內で劉峙、顧祝同氏等の軍部要人と軍事會議を開いた結果大體左の如く作戰を決定した

一、津浦線の山西軍には守勢を採り隴海線の馮玉祥軍に對し攻勢に出る總攻擊は十日より開始する

二、必要の場合徐州を拋棄し蚌埠に退却する

尙蔣介石氏は陳調元氏とも蚌埠で會見山東の防備に就き打ち合せをなす筈

孫傳芳氏の反蔣聲明

【天津九日發電】江南招撫使に擬せられてゐる孫傳芳氏は連日山西派要人を訪問し活動してゐるが天津警備司令傅作義氏に對して大要次の如く語つた

張學良氏は夙に心を閻、馮兩氏に寄せてゐたがたゞ時機を俟つて態度を表示する考へで中立を標榜して來た、しかし今や閻、馮兩氏の團結は堅く蔣氏は四面楚歌の聲に倒れむとしてゐる、之を看取せる張學良氏も漸く反蔣派に加擔するとになり余を代表として入津せしめた次第だが余は閻氏の命令に從ひ不日江南招撫使に就任し前線に赴くがそれまで駐津辦公處を設立し舊部下を糾合したいから援助を求む

奉天派代表の馮閻離間策

【天津特電九日發】當地反蔣派要人間に傳へられるところに據ると張學良氏の北平駐在員危道豐氏は最近蔣介石氏に買收され馮、閻兩派及び反蔣各派の離間運動に奔走すると共に張學良氏に對しては時局に關して蔣派に有利のやう報告してゐるとのことで、山西當局は氏の行動に注意し始めた

李烈鈞氏北上

【天津特電九日發】久しく不遇であつた李烈鈞氏は今回馮玉祥氏の依賴をうけ近く北上黨の問題を斡旋することになつた

豆戰鬪艦費削減

【ベルリン八日發電】ドイツ議會豫算委員會は例の豆戰鬪艦エルザッツ、プロイセンの姉妹艦建造費第一回割當支出を豫算案より削除した

敬老の喜の字祝ひ

本紙創刊廿五周年並びに社屋新築落成記念事業の一つとして設置された「社會奉仕部」では先きに發表した通り第一回の事業として「在滿陸海軍諸部隊及び警察團への慰安娛樂器具寄贈」の計畫と共に滿蒙開發の第一線に活動し、又は子弟を激勵しつゝある高齡者の意氣を尊敬する意味に於て在滿邦人にして本年六月を以て七十七歲以上の高齡者に對し「喜の字祝ひ」に因み記念品を贈り表彰する事になつた。高齡者又は高齡者を御存じの方は左の規定によつてお知らせ願ひたい

尙御知らせあつた高齡者には官憲に依賴し調査の上記念品を贈呈する

樣式　高齡者最近の寫眞一葉、但し裏面又は別紙に姓名、生年月日、原籍地及び現住所を明記せるものを添へて差出す事

締切　本年六月末日迄

宛名　滿洲日報社々會奉仕部

昭和五年三月　滿洲日報社

若槻全權は軍部の意見をよく容れた

協定を基礎に國防の缺陷補充 主席專門委員 左近司中將語る

【ハルビン特電九日發】軍縮會議主席專門委員として目覺ましい活動をした中將左近司政三氏は語る

ロンドンで海軍側と外務側がいがみ合つたとは虛報である、若槻全權も吾等の意見をよく容れあの明晰な頭腦と論理でぐん〱攻め立てたのは事實であつた最後の歸結は

大局から 見て全權もやむを得ぬと見た結果であらう、大分日本でも騷いでゐるやうだが自分もあの協定には不滿である然しワシントン會議でも不滿乍らそれを補ふ方法を發見して國防を全うして來たのだから今度でも自分等は協定を基礎として國防を危ふくせぬ方法を講ずべきである、一九三三年以後に建造し得る大巡洋艦三隻を米國は建造しないと幣原外相は語つてゐるが一片の口約束などは信ずるに足らぬから先づ米國は建艦するものとして準備せねばならぬと信ずる、次ぎの會議で日本が今度の協定に拘束されるか否かは

水掛論で ある、自分等は飽迄拘束されぬやうに警戒するのみである、五國協定の出來なかつたのは失敗だがマクドナルド氏も近く兩國を訪問して協定を續けることになつて居り兩國も餘り無茶なことはすまいからさう心配するには當るまい、初めから對米七割と切出したことが失敗の因だとの非難もあるが自分等は掛値なしに押したから彼處まで行き得たのだと思つてゐる主力艦廢棄問題は次の會議の

中心問題 の一となるだらうから日本は今から考へて置かねばなるまい、潛水艦廢棄問題も赤蒸し返しさうだが之は素より斷乎として反對あるのみである(寫眞は左近司中將)

反對は日本のみ英米は滿足

强硬派の中村參謀談

また最後まで讓步案には反對したと傳へられる大佐級の隨一人軍令部參謀中村龜三郎大佐は左の如く語る

今度の協定に對し國內に反對の聲の高いのは日本だけで英米では大悅びだ、米國ですら日本はよくあれで滿足したと驚いてゐるといふことだ、フランスは流石に歐洲大戰の經驗から國防が如何に重大であるかをよく知つてゐるので政治家も外交家も一致して終始讓らずその主張を貫いたのは事實であつた、英國は老大國となり殊に飛行機の發達は英國海軍の價値を著しく減退させた、故に同國には軍縮は絕對に必要である、米國も建艦費維持費が莫大で大海軍で脅かしてゐるがその內容は軍縮を熱望してゐる、故に日本だけが軍縮に迫られてゐるやうに考へて卑屈になるのは考へもので此點は次の會議にあたつて充分國民の考ふべき點である【寫眞は中村參謀】

貴賓車の由緒 全權の乘つた

【ハルビン特電九日發】一行のためにソウエートが特にモスクワクルス鐵道の貴賓車を提供し一行を載せて既報の如く到着した展望車は今から二十年前ドイツ皇帝が前ロシヤ帝室に贈つたもので甚だ古いが昇降口の手摺には銀製の鷲の飾を施した古風な歷史的なもの

財部全權の旅程

今夜か明朝哈爾賓發

【ハルビン特電九日發】財部全權夫妻の出發は九日二十二時四十分か十日朝九時十五分か未定で軍醫の診斷で決する事になつてゐる、古賀大佐は北滿ホテルから滿鐵公館に移つた、夫人は庭園の花を眺め「全く日本へ歸つたやうで落つきました」と語つたが英國滯在中すつかり英語に熟達したと白系露人は今更の如く珍しがつた

樺山愛輔氏 鞍山大連を視察

【ハルビン特電九日發】財部全權一行中の樺山愛輔氏は九日南下鞍山を視察し十三日大連出帆の香港丸にて歸國、山本伯令息、中村、岩村兩大佐、左近司中將、菅原軍醫は北滿ホテルに滯在中

全權一行過奉期

【奉天九日發電】ロンドンから歸途にある財部全權一行十一名は十一日過奉の豫定であるが一行の氏名は左の如し

財部海相、同夫人、中村海軍大佐、岩村大佐、菅原軍醫大佐、外務省屬谷古本淸、岡官補少佐、古賀大佐、貴族院議員樺山伯、宇佐美鉄生

印度に大暴動起る

數千名の暴徒團が大擧して 裁判所、警察署を襲擊

【ボムベー八日發電】ショラプールにて大暴動起り數千の暴徒は裁判所や警察署を襲つて掠奪し三名の警官を殺戮した、なほ五名の警官が行方不明となつてゐるが多分殺害されたものとされてゐる

婦女子避難

【ボムベー八日發電】ショラプールの歐洲人婦人子供全部は特別列車でプーナに引揚げることゝなつた、警官隊は萬難を排して停車場まで後退し此處で暴徒と對峙してゐる

暴徒警官隊と衝突 百廿五名死傷

【ボムベー八日發電】ショラプール市はガンヂー氏逮捕後形勢惡化し反英運動は糾察隊を組織し市內を遊行してゐるが、今朝酒店監視の一隊は警官隊と衝突した結果死者二十五名(二名は警官)重輕傷者約百名を出し酒店數軒は燒き打の厄に遭つた、警官隊は發砲して漸く暴徒を鎭壓した

ガンヂー氏 陸軍療養所に

【ボンベイ八日發電】反英運動のガンヂーは七日夜密かにエロダ監獄からプランドハル陸軍療養所に移された

石油をかけて警官を燒殺

【ショラプール九日發電】當地に於ける暴徒は六名の警官を捕へて石油浸しにした上火をつけて燒き殺したことが判明した

紡績工場休業續出

【マンチエスター八日發電】印度の反英運動が舶來織物ボイコットの結果マンチエスター紡績工場及び機械工場は注文杜絕先安見越から休業するもの續出し火の消えたさびれ方で既に數千の失業者を出してゐる

關稅二重取計畫

山西派天津に新稅關 外交團が反對し失敗せん

【北平八日發電】山西側は天津海關差押へが失敗に終つたので第二の手段として塘沽又は大沽に純然たる支那側徵稅機關を設置し關稅二重取りの手段に出るものと見られてゐる、これは曾て廣東にて孫文氏が試みたのを眞似たものであるが省民の苦情と外交團の反對で物になるまいと見られる

小日山前理事滿鐵退任の挨拶

けふ本社會議室にて

七日を以て滿鐵理事を退任した小日山直登氏の在連社員に對する告別挨拶は九日午前十一時半より本社會議室にて行はれた、入場者立錐の餘地なく理事退任の告別式としては稀に見る盛況であつた、大藏主席理事先づ演壇に立つて總裁が是非出席の上御挨拶を申述べる筈のところ一兩日前から病氣であるため私に代つて挨拶せよとの命令でありましたからと前提して、小日山氏が明治四十五年入社以來十九ヶ年間滿鐵のため國家のため努力し來つた功績と氏の人格、力量を推賞し、春秋に富んだ氏の今後の活動を希望して惜別の辭を述ぶるや、小日山氏はこれに對し

今度會社を辭任するに就ては長い間の諸君の御同情を厚く御禮申上げたいと思ひます、只今大藏總理事からおほめの御言葉を頂戴致しましたが在職中は何一つとして仕事も出來ずまた任期すら全うし得なかつたことは重大使命を有する滿鐵の要職を辱しめたやうなもので、大藏理事の御言葉には甚だ恥かしい次第であります、然しこの席上で諸君とお別れすることは實に名殘り惜しい、滿鐵の有する使命は重大であるから諸君は今後一層自重して滿鐵のため國家のため御健鬪をお祈り申したい

との告別辭を述べ更に宇佐美鐵道部長は社員を代表して挨拶をなし冷酒を酌み小日山氏の健康のため盃を擧げ正午記念撮影を行ひ散會した

スダン地方統治問題

英埃交涉決裂

【ロンドン八日發電】スダン地方統治問題等の解決のため當地に開催中なりしイギリス、エヂプト會議はエヂプトがそのスダン地方に對する勢力拋棄を拒絕した爲め遂に失敗に終り本日を以つて打ち切られたイギリス外相ヘンダーソン氏は八日右の旨の聲明書を發表した

川上俊彥氏歸朝

【ハルビン特電九日發】北樺太石油問題でモスクワ滯在中であつた川上俊彥氏は十三日朝着哈の豫定

福田博士餘榮

【東京九日發電】昨日逝去せる福田德三博士に對し左の如く特旨敍位の御沙汰があつた

從四位勳三等 福田德三

敍正四位(以特旨位一級被進)

なほ博士の告別式は十一日午後二時より商大講堂で行はれることゝなつた

仙石總裁靜養

一兩日前から腸を病む仙石滿鐵總裁は一日でも殿下の扈從をと衷心熱望してゐるがこゝ五六日は醫師から絕對安靜を勸められてゐるので當分は星ケ浦別莊で靜養のほかなく當分は出社も困難であらうと

御歡迎宴に陪席

十日太田關東長官の秩父宮殿下御歡迎宴に滿鐵からは大藏理事、藤根理事、神鞭理事、藤井秘書が陪賓として出席の筈

香港丸船客

【門司特電九日發】十一日大連入港豫定の香港丸の主なる船客

鄉誠、小杉國太郎、新田信好、近藤三彌

梅澤氏等の歡迎會

藏前工業會滿洲支部有志は今般合同手織梅澤治平氏が滿蒙毛織の常務として平野長秀氏が同技師長として何れも赴任の途來連したのを機として轟に社用を帶び來連滯連中の高松丈夫氏を加へて八日午後六時より市內連鎖商店街扶桑仙館において歡迎の小宴を催した

人事

▲小野實雄氏 約三ヶ月間の豫定で霧島町九三に移轉

▲岡部平太氏(滿鐵社會課體育係員)十一日福岡において擧行される全福岡對全滿洲柔道戰出席のため九日發、日滿連絡上り機で福岡へ

▲遠藤讓嚴氏(滿蒙同志會主幹)會務のため十日出帆のうらる丸にて上京の筈

大觀小觀

統帥權問題、超黨派的に解決すべしと民政黨少壯派が騷ぐ、政友會も共同戰線を張らねばなるまい

◇

何といふても、この問題を解決せねば憲法政治、政黨政治を圓滑に運行する所以とはならぬ。

◇

宇垣陸相でさへ「現在」といふことをいふてゐる「現在」は現在將來のことは例外といふことにもなる。

◇

問題はその將來に懸かるものとして少しも支障なし、この統帥權問題を解決せば憲法上の責任といふことも明瞭となる。

◇

それだけでも解決せば、與黨や野黨が騷いだ代償といふものが得られることになる次第だ。

走馬燈

本日記事輻輳につき休載

天氣豫報

十日(北西の風)晴一時曇

滿潮 午前八時二十分 午後八時四十分

干潮 午前一時五十五分 午後二時二十分

秩父宮殿下
戰史御研究のため けさ旅順へ向はせらる
特別列車にて陸大生と御共に 御氣色彌ょ麗し

滿洲の第一夜を大連ヤマトホテルに過ごさせ給うた秩父宮殿下には前日の御繁忙なる御見學に御疲れもあらせられず九日朝六時十五分早くも御目覺めあり六時四十五分洋食の御朝食を攝らせられ午前七時二十分ヤマトホテル御出發、御沿道に堵列した各學校團體及び一般市民がお名殘を惜み奉送申し上げるうちを大連驛に向はせられ、七時三十分發特別列車にて宇佐美滿鐵鐵道部長の御先導により御附諸官及び御同窓の陸大生一行五十餘名及び藤根滿鐵理事、藤井秘書役、大連まで御出迎ひ申したる三宅軍參謀長、二宮憲兵隊長、中谷警務局長其他を隨へさせられいと御機嫌麗しく旅順へ向はせられた

畏し、奉迎者に謁を賜はる
旅順驛御着の宮殿下 沿道堵列者に御會釋

かくてお召列車が同八時四十分、朝風に日の丸の國旗を靡へしつゝ靜かに旅順驛ホームに停車すれば宮殿下には本間、淺見兩御附武官を隨へさせられて、太田長官、畑軍司令官以下在旅官民多數の奉迎を受けさせられつゝ陸軍大尉の御通常服なる颯爽たるお姿にて徐ろに掃き清められたるプラットホームに降り立たせ、直ちに設けの御諸臺より正面に整列奉迎せる名越第九聯隊長以下百十六名の陸軍將校、久保田駐在武官以下三十九名の海軍將校、中島譯官以下百十三名の關東廳關係文官及び在鄕軍人、地方有志に對し御會釋

列立賜謁 次いで九里驛長御先導、鐵道部長御誘導にて驛構內貴賓室に入らせられ、こゝにて再び長官、軍司令官以下厚東要塞司令官、藤田軍經理部長、宮崎軍醫部長、井上工大學長、安岡檢察官長、土屋高等法院長、長谷川敎授、西山民政署長、中谷警務局長、東畑市會議長、永山市長の順にていちいち單獨賜謁の後、關東軍より差廻しの軍一號の御召自動車にて驛を基點に御道筋東洋橋袂までの驛前通沿道の兩側に整列した陸海軍人、學校團體及び一般奉迎團數千人の

赤誠溢る 奉迎に對し御會釋を賜ひつゝ白玉山南道を山上の納骨祠へと向はせられた

戰歿將士の英靈を懇ろに弔はせ給ふ
白玉山納骨祠に御會釋をたまひ 戰跡を御巡行、往時を偲ばせらる

宮殿下には午前九時、お召自動車にて白玉山表忠塔下に御到着、こゝより納骨祠參道まで堵列の團體代表、在鄕軍人、工大學生、旅順一中、靑訓、少年團に對し御會釋、學務課長の御誘導にて長くも賜謁の後、厚東要塞司令官の御誘導にて

納骨祠 にいとも懇ろに御會釋あり日露戰役戰歿將士の英靈を弔はせ給うた、それより先着の陸大生一同にお加はり遊ばされ三宅參謀長の御誘導にて祠前に於て旅順港や各砲臺を御遠望、關東軍高橋參謀より旅順の一般地形に就て約五十分間に亘り戰役當時の狀況並に將來に於ける旅順等につき詳細なる說明を御聽講あらせられたが、宮殿下には終始地圖や双眼鏡を御手に遊ばされ、納骨祠表忠塔などをカメラに納められて後同九時五十分御下山、東洋橋を經て嚴島町乃木町三丁目裏通りを御通過鯖江町を經て土屋町派出所前より戰利品陳列館にお成り、約四十分間にわたり細川砲兵少佐より當時の彼我軍器、寫眞、模型、占領品等の說明を御聽取、當時の

苦戰を 偲ばせ給ひ御感慨深げに拜せられた、十時四十分同館御發黃金山要塞口に成らせられた、同地は旅順港口に面せる高臺で港內外を掌指する最重要の要塞口で久保田海軍駐在武官及び廣瀨中佐と共に港口閉塞決死隊に參加した在旅順松崎一等機關兵曹より閉塞隊の當時の行動に關し一時間餘に亘り詳細なる御說明を申し上げたが、殿下には殊の外

御熱心 に御聽取種々御下問遊ばされた、時に午後零時十五分、宮殿下には未だ御晝食も攝らせられずそれより一路黃金山道路を北に民政署橫手より伊知地町、憲兵分隊前を御通過、公會堂裏へ右折して柳町、十年町を經て東鷄冠山北堡壘へお成り、同砲臺にて畏く扈從諸官及び御學友と共に畏くも一同と同樣のホテル仕出しのサンドイッチで御晝餐をお攝り遊ばされた

東鷄冠山で御晝餐
午後の御動靜

東鷄冠山に於て簡單なる御晝餐を終らせられたる宮殿下には午後一時半より村田、河村兩大佐より旅順攻防戰に關する講話を御聽取、それより同三時發、同四時二龍山砲臺に御成り各一時間それぞれ同砲臺附近の戰鬪狀況を御聽講遊ばされ、同六時偕行社に於ける軍司令官の御招宴に台臨、同夜八時御假泊所たるヤマトホテルに御歸館の豫定である

旅順お成りの秩父宮殿下

(上)白玉山納骨祠にお會釋の殿下(下)左―旅順驛頭にて列立賜謁(同)右―驛頭に奉迎の旅順の知名士

秩父宮奉迎の輕氣球を揭揚

秩父宮殿下をお迎へ申した大連全市は歡喜の極に達し市民は何れも心から奉迎申し上げたが、わが社では八日連鎖商店街前の廣場に奉迎の文字をつるした長さ十一米突、幅四米突の大輕氣球を晴れ渡った中空高く揭げた

酒肴料下賜

秩父宮殿下には九日大連御出發に際し水谷民政署長事務取扱並に田中市長に對し御下賜品あり、尙殿下御來連に際し事務取扱に直接關係あった民政署員並に市吏員及び台臨遊ばされた日清油房、滿蒙資源館、窯業會社、中央試驗所、大連工場に對し夫々酒肴料を御下賜になつた

けふから春祭り
大連、沙河口の兩神社

九日の宵祭を以て大連、沙河口兩神社の春季大祭は始まるが、大連神社は既に九日朝より參詣人で賑はひ正午までに彌生高女、盲啞學校幼稚園等の各團體の參詣があつた、宵祭は大連は午後六時より、沙河口は同八時より始まり、それぞれ餘興もあるが、十日の本祭には兩神社とも大連市長供進使として參向、神輿の渡御及び電氣遊園には手踊、芝居等の餘興がある、なほ當日電氣遊園は入場無料である

竊盜詐欺捕ふ

長春日本橋通材木商松島良平田民(三〇)は去月初旬滿鮮杭木株式會社出張員と僞稱し市內吉野町五番地名古屋館に投宿、宿料約八十圓に對し滿銀支店拂の不渡小切手三百五十圓を渡して逃走、四月廿一日、東鄕町東鄕旅館に侵入し金側懷中時計鎖付一個(時價百二十圓)を竊取、外數件に亘り竊盜詐欺を働き鞍山に逃走中を六日鞍山署の手に逮捕され九日大連署に護送されて來た

覆面の三人組 雜貨商を襲ひ
主人を傷け金を奪ひ逃走す ゆふべ周水子の騷ぎ

八日午後七時三十分ごろ大連管內周水子周水屯一一〇番地雜貨商閻寶貴(四〇)方へ覆面の三人組支那人強盜が押入り、家人數名を縛り上げ、各々手にせるモーゼル拳銃を突きつけて「金を出せ、正直に出さぬと鏖殺するぞ」と凄文句をならべて脅迫、主人寶貴は大洋一圓より持ち合せがないといふや賊は「貴樣は不正直な奴だ、射ち殺してやる」と拳銃を發射し左大腿部に盲貫銃創を負はせ、家人の恐れ戰くのを尻目にかけて家宅搜査を强行ひ、大洋一圓と小洋八十錢を强奪「二時間以內に警察へ屆けると祟りが恐ろしいぞ」とおどしつけ宵暗に紛れて逃走した、急報により大連署では御警衞の一部をさいてオートバイで現場に急行、藤井司法主任指揮の下に徹宵非常線を張り犯人探査に努めたが未だ逮捕するに至らない

視察團の教授 カフエーで暴行
女學生を連れ飲み歩き

教育團の滿鮮視察中醜々旅行先で醜態を演じ我國敎育界の問題となつてゐる折柄、またも大阪帝國女子藥學專門學校教授が女生徒を引き連れてカフエーを飲み廻り亂鬪を演じた不祥事件がある、八日午後十一時ごろ宿屋の浴衣の上にレンコートを羽織つた「先生」と呼ばれる紳士が女生徒らしいのを二名連れ數軒のカフエーを飲み歩き強か

酩酊し て市內浪速町カフエー翠香に至り「俺は大正八年の京都帝大出だ」と氣焰をあげ、女生徒の止めるのも聞かず友人講口某を呼出すといつて電話を掛けたが、先方に通じぬのに腹を立て誰彼れなしに罵倒し居合せた客に迷惑をかけるので、見兼ねた翠香の主人が「生徒が可哀想だから宿へお歸りなさい」と促すと「貴樣は專門學校教授を侮辱するか」と摑みかゝり電話機を投げつけるやら衝立を突き倒すやら亂暴狼藉のところへ

女生徒 八九名と宿屋の番頭等が馳けつけ、手足を取つて連れ歸つた、この亂暴紳士は八日うらる丸で滿鮮見學のため女生徒五十餘名を引率來連した帝國女子藥學專門學校教授間島寬吾氏と判明一行の菅道子女史も同氏の亂暴を翠香主人に深く陳謝して引取つたが、この醜狀を目擊した人々は多數女生徒を預り長途の旅行にある教育者の斯る非常識な行動に非難の聲を放つてゐた

排日鮮人强盜團 片割れ十名捕ふ
間島總領事館警察に

【間島特電八日發】間島總領事館警察署では七日から八日にかけて大活動の結果東架地點において不逞鮮人十名を逮捕し引續き連類者を搜査中であるが、彼等は共產黨又は革命を標榜する十六名組の排日鮮人の强盜團で殺人の數も多い見込であり、既報鮮人新聞記者および鮮人選舉を殺害したのもこの一味の行爲とみられるので當局は意氣込んで搜査を續けてゐる

滿電バスの晝火事
場所柄とて一時は大騷ぎ

九日午前十時五十分ごろ市內常盤橋滿電自動車部屋上商品物置場より發火、黑煙が濛々としてあがつてゐるのを作業中の滿電職員係大櫛章が發見、急報により驅つけた大連消防署の活動により同十一時十五分鎭火したが、原因は地下室のストーヴの煙突より火を發して同置場の藁に燃え移つたものらしく、小崗子署から大內署長を始め猪股司法主任外各係官出張實地檢證を行つたが、場所柄とて一時は交通を遮斷され群衆道路兩側に堵をなして非常な騷ぎであつた損害輕微

支那から優勝盃寄贈
極東大會に

【東京九日發電】今回の極東大會には國民政府側から左の優勝盃を寄贈することゝなつた

一、主席蔣介石盃(一般選手權)
一、外交部長王正廷盃(野球選手權)
一、教育部長蔣夢麟盃(蹴球選手權)
一、工商部長孔祥熙盃(バレーボール選手權)

中華青年運動會

來月八日第九回中華青年大運動會が譚家屯の大連運動場で舉行される事になり目下着々準備中である、日支各方面より賞品の寄附が多いが本社よりは例年の通りメダルを贈る事になつた

艶色生膽秘譚 (106)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

品川沖 (二)

「思ひもかけぬ人、本人ではないが」

さう云はれて蘭川、ちつと考へたが、

「あツ！」

「思ひ當りましたか、確にお仙とやら申さるゝ御婦人からの使ひと睨みました、蘭川殿の名をかたつてな、それも今朝のことでした」

「ほう、どんな風態の仁がまいりましたな？」

「町人か知れませんが、乞食のやうな」

蘭川は蒼白んだ額に油汗をしたらせて眼を瞑つた。

ヴランヴキーラは立上ると、氣付の酒瓶を卓上へとりおろした。

「あなた疲れてゐます、顏色も非常でありません。一盃やるとよろしい」

「ありがたう御座います」

「さ、そ、そりや眞實……」

「ええ——」

さうなると蘭川にも見當がつかなかつた。

「は、は、御心配なさるな、あなたの思つて居らるゝ事件とは違ふでせうよ」

「と仰有るは？」

「近頃江戸に起つた怪死事件、其ひつかかりではありませんか？」

「は、ほう、それは初耳」

「下谷の藥種商、それ蘭川殿も御存知の筈ぢや」

「あつ、大黑屋才兵衛」

「さうです、その人毒藥で殺られました」

「うーむ、恩を仇で返す奴です。追分宿で私がたててやつた案をそのまゝ、お仙めに違ひありません」

「ま、お待ちなさい、これからどこへゆかれるのです」

蘭川は血相變へて立上つたが、ヴランヴキーラにかういはれてハツト氣付けば、窓外は、はやしらじらと朝の光が流れてゐるのだつた。

「しまつた！」

舌打ちして蘭川ぐつたりと長椅子の上へ腰をおとした。

「充分眠るがよろしい」

ヴランヴキーラが室を出ていつてしまふと、蘭川はそのまゝウトウトまどろみはじめた。

とばりが、ヅッシリ重く垂れた部屋内は薄暗く、彼の眠りは何ものにも邪げられなかつた。

折々唸くは悪夢にうなされでもしてゐるのか？

それとも旅疲れに加へて、おもいもかけぬお仙の出現に昂奮した彼。

身心の過勞からか？

時刻は疾に近づいたと見え、滿潮か、波音がだんだん近く響いてきた。

舌に燃える酒をグッとやると、漸く人心地がついて來たらしい。

蘭川は碓氷の峠で崖下へおちた折、くぢいた左の手首を療治するため、磯部の湯宿にかくれて十日餘り、漸く痛みがうすらいだを幸ひ、駕籠の垂れをふかぶかとおろして江戸入りしたのであつた。

が、湯島の邸近くへ來ると、何故か邊りが嚴しく戒められてあるらしい態にヒョイと氣付いた。

閉された門前にも裏門口にも怪しい風態の男が立話をし乍らそれとなしに周圍に眼を配つてゐる。

「しまつた、こいつアお仙の阿魔め、いま頃になつて一件を訴へ出たな」

で、そのまゝ蘭川、人眼をしのびしのび神奈川宿へ入りこんだのである。

處へきかされたのが、

「異製——乞食風で蘭川の名をかたり……」

と來た。

「ヴランヴキーラ先生、何用だと申しましたか？」

「例の一物持參いたしましてな」

第六回 滿日勝繼碁戰 (林氏三回勝 四回目)

二段 沐 仁作氏　二子 井上 太市氏

○四一ヲの十五　●四二ルの十六　○四三ワの十四　●四四ヌの十六
○四五レの十七　●四六タの十七　○四七ソの十五　●四八ヨの十一
○四九ヨの十　●五〇カの十一　○五一ヌの十四　●五二リの十一
○五三ヌの十五　●五四リの十六　○五五ワの十八　●五六ヲの十四
○五七レの十八　●五八カの十　○五九ヨの十八　●六〇リの十三

—【3】—

キネマと演藝

秩父宮殿下 拜寫 關東廳と滿鐵の映畫班

關東廳及び滿鐵の映畫班にては今回御來滿遊ばされた秩父宮殿下の御動靜謹寫を許可されたので關東廳では鴻野技師、滿鐵にては早川技師が日々の御動靜を拜寫し奉ることゝなり八日の御來連より兩映畫班は活躍をつゞけてゐる

踊る幻影

絶讃された「何が彼女をさうさせたか」に次いで帝キネが鈴木重吉監督と高津慶子のコンビネーションに杉狂兒を加へて、この三人のトリオで製作した現代劇である。

◆そしてこの一篇によつて鈴木重吉はそのテクニシャンであることを充分に示してゐる、三木茂のカメラも監督の注文を生かしてベストを盡してゐる。

◆物語りはサーカスの道化師がスクリーンに描いた夢であり、題名通りにそこに幻影が踊るのである、だから道化師が映畫を見るところから幻影を描き出し、ガルボのラブロオマンスのハッピイエンドで終るため、少々難解な筋であるが、「踊る幻影」の題名を頭に置いて見れば譯なく物語は諒解される。

◆だから、道化師がスクリーンを見始めてからの俳優の演技監督手法、その他一切の脚色演出が誇張に過ぎたり、その映畫表現一切が現實性に乏しくても、その缺點らしく見える凡てによつて踊る幻影が描き出されてゐる特殊の作品なのである。

◆俳優では何と言つても杉狂兒の三太郎が第一である、高津慶子は松竹座の樂劇生としての光りがこの一篇で強く見出される、それに奇術師に扮した若葉馨が嫌な役所をよくこなしてゐるのも注目される。

◆要は鈴木重吉が思ふ存分技巧をこらして踊る幻影を描き出したところに興味をそゝる一篇である【十日から演藝館上映】

協和會館映畫「アスファルト」

大連滿鐵社員倶樂部にては十日午後七時半から協和會館で映畫會を催しドイツウーフア社作品ベティ・アーマン主演「アスファルト」九卷を封切上映する、會費は大人五十錢小人三十錢會員外一圓

演藝日記

▲五月十日　昨夜の試寫でデュープらしいといふ疑ひのあつた「アスファルト」がけふの滿鐵社會課の試寫で斷じてデュープでない、特殊なレンズによつてクランクされたものでウーフアのプリントによくある例だとの見解が正しいことになつたから專門家の多い滿鐵の意見により昨報の「デュープで細部が味はれない」といふことは取消す。またゆふべの試寫を見損ねた人のために今夜もパレてから常盤座で「アスファルト」の試寫會が催された

▲けふから大日活で封切の「大忠臣藏」を里見凌洋が特別應援で解説するが▲大日活側の話によれば里見はまだ正式に入つた譯でないとのこと▲滿活社の森氏が兩三日前から來連して大いに暗中飛躍をしてゐるが、その結果は相當注目されてゐる▲また大日活では「大忠臣藏」の特別興行に新しい試みとして▲今週の入場者は洩れなく次週公開の「テンピ」の割引優待券を贈呈する▲今夜は大連神社の宵祭で大日活がスタートを切り明日の本祭には常盤座が「アスファルト」演藝館が「踊る幻影」で初日の蓋開け▲また歌舞伎座は昇之助の初日で春祭りに珍しい興行戰が開展される

大連 JQAK

五月十日午後七時

▲童謠(イ)ほうほう螢(ロ)蝶々の子供
▲ハーモニカ(イ)エスツチデイアンチナ(ロ)トルコの女王
▲浪花節「南部坂雪の別れ」(四面)
▲和洋合奏(イ)元祿花見踊(ロ)京鹿子娘道成寺
▲長唄「都鳥」(二面)
▲ジヤズソング(イ)ふるさと(ロ)春の行進曲
▲新民謠(イ)大森海岸小唄(ロ)沓の唄
▲スポーツ小唄(イ)勝利の唄(ロ)早慶戰時代の唄
▲歌舞伎劇「伽羅先代萩」(二面)
▲浪花節「金州城攻擊」(四面)

豆油豆粕は依然輸出附加税免除
他貨物の附加税徴收時期は支那側の自由裁量

日支關税協定の正式調印に依り支那側は茲に年來の懸案たる關税自主權を獲得することゝなつたが、これがため從來その實施を拒否されてゐた大連、安東兩海關に於ける輸出附加税は支那側の自由裁量に屬し、今は單なる施行時期の問題として殘さるゝに至り、關係方面に於ては效力發生後直ちに徴收さるゝものなるや、又は相當の

猶豫期間

を置かるゝものなりや如何を留意し居るのみで大體右に關する問題は結了したものと觀てよく、之と共に豆粕、豆油に對する輸出附加税は又當然除外さるべきものであり、之又何等の問題を招來せざるものであらう、即ち國民政府は不況に沈淪せる滿洲の油房工業助成の爲め去る一月二十日より輸出特産物中、豆粕、豆油に對する附加税を除外して居る、但し大連、安東に於ては輸出附加税の納入を拒否して居るため何等話題に上らなかつたものであるが

大連海關

では形式的に右の告示を出したものである、從つて大連海關當事者に於ても豆粕・豆油に對する附加税は當然除外さるべきで大豆、雜穀にのみ適用さるゝものと見て居る位であるから當業者の負擔は幾分輕減さるゝ譯である

後に於て廢止せらるゝことで之は所謂特惠としてゐたところの三分の一減税がなくなる譯であるが、最近一ヶ年の支那貿易狀況を見るに輸出は三千四百七十四萬圓である、之に對し輸入は七千三百五萬圓と云ふ約倍額に達してゐる、之が陸揚通過が非常に多いのであるから支那關税を認める結果は日本に有利であらうと思ふ、然し數字的には何等の調査もしてゐないから今言明することは出來ない

●朝鮮が被る影響について財務當局は左の如く說明してゐる

一、支那關税特別會議に於て我邦は進んで支那の關税自主を認むることを闡明した結果、各國共支那に對し關税協定を行ひ通商の安定、貿易の促進に努め來れるが日支間に於て之が爲め相互關税協定を行ふことは多年の懸案でありしが今回圓滿に其成立を觀たるは國交上且つ通商上喜ぶべきこと

二、本協定は一般的なるものなれば其一般影響は大體內地におけると變りがない

三、朝鮮としては從來行はれて來た鮮滿國境、即ち安東を經て輸入するものに對する支那の關税（本税）の三分一輕減が本協定實施四ヶ月後に至り廢止せらるゝため右輸入貿易が幾分不利となる點があるが（輸入品聚、酢酸類輸出品綿布品、砂糖等）均一の原則は既にワシントン會議に於て認める處で、右の輕減は支那の關税全部の三分の一でなく只本税の三分の一で比較的輕微なものである、この輕減により內地の分が特に朝鮮を通過して輸出入したものが直接大連を經由することになるだらうから貿易の徑路が變ることになることゝ思はれる

官銀號の特産買付に支那商人が反對
制限を加へて貰ひたいと近く學良氏に要請

紙幣發行權を有する支那側各銀行では銀行業の外特産物の買付けも行つてゐるが一方支那側商民はこれ等の官商に何時も壓迫され最近支那側有力商人間に反對の聲が揚り銀行業者の横暴なる特産買占めその他の商取引に或程度の制限を加へられたいと近く張學良氏に對し要請することになつてゐると

上海在銀減少

上海在銀高は漸增の一途を辿つてゐたが今週の在銀高は稍しく前週より兩は五十四萬三千兩、弗は二十四萬弗の各減少を示した

一億一千二百六十五萬一千兩　五十四萬三千兩減少
一億六千九百九十一萬弗　二十四萬弗減少

新關税と朝鮮の影響
問題は陸境減税の撤廢

【京城特電九日發】日支關税條約

輸組懸案の諸問題
霍田理事說明

八日の大連輸入組合總會に於て霍田理事は懸案の諸問題につき說明を加へたがそのうち主なるものゝ概要を擧ぐれば左の如し

一、貸出限度擴張に關する件　聯合會にて組合經由のものには三倍貸出、或は一般に貸出當初二個月を三倍とし爾後は二倍にすることを決議したが、なほ種々考慮の要あり、目下整理的に研究中

一、月賦販賣契約に關する件　法律關係並に月賦販賣に伴ふ金融機關設置等を研究する要があるので保留研究中

一、共通商品券發行に關する件　既發行者に對する影響並に法理上の疑義のため尙研究中なるも考慮の上實施する意向

なほ組合員の仕入品共同運送による運賃低下と組合員への運賃割戻し實施につき講究中であつたが某汽船會社と內交渉成立し組合員扱ひの個別貨物の阪、神、大連間運賃（名古屋大連間は目下折衝中）を分割引し、運賃割戻も六ヶ月毎に行ふことになつたと

大連輸組總會
議案全部可決

大連輸入組合總會は八日午後三時半より商議樓上にて開會、本人出席七十五名、委任狀出席百五十名霍田理事議長席につき第二期事業成績の概況を報告したるのち左記事項順次詳細に說明して附議した

一、定款改正の件（字句改正）原案通り可決
一、決算承認の件　決算內容は一昨紙夕刊に報じたが原案通り承認
一、新規加入者承認の件　原案通り承認
一、幹事、評議員選擧の件　議長指名の銓衡員六名（議長を加へて）により左記の如く銓衡し決定す

▲幹事　大島甲桝、濱井金次郎
▲評議員　小澤太兵衛、高田友吉、山葉龜五郎、太田信三、今中良助、岡田桑太郎、大久保正登、植田龍造、加藤玄一、宮本壽之助、米山福造、莊國四郎、小松圓吉、小山孝太郎、肥後盛彦、藤本奎三郎、森谷重八、鮎貝辰雄、市原三六郎、伊藤長之助

右終つて議長より組合員に對し意見乃至希望の開陳を求めたるに二三質疑應答あつて五時半閉會した

四月中の植民地貿易
入超千八十六萬圓

【東京九日發電】四月中の植民地對外貿易は朝鮮臺灣の入超合計一千百六萬圓であるが樺太南洋廳は十九萬八千圓の出超であつたから結局全體としては（關東州を除く）一千八十六萬二千圓の入超を示した

ドイツの支那視察團
目下中支視察中

ドイツの巨商ラゼマン氏を團長とする支那視察團は目下ドイツ公使ボルヒ氏の案內にて中支視察中なるが五月中旬北支那に來り更に滿洲各地を視察することになつてゐる、一行は北支那に於て鐵道、電氣、鑛山等の獨支合辦事業を企つるものとして注目され當地銀行協會等は目下歡迎準備に忙殺されてゐる

四分利英債借替
近く成立の見込み

【東京九日發電】第二回四分利英貨公債借替へ交渉は目下順調に進行中であるが、交渉成立は早くて十日遲くも十二、三日頃の見込である、條件は發行總額二億五千萬圓、期限三十ケ年で、利率は英米兩市場とも五分五厘利廻り六分二厘見當、英米兩市場にて折半賣り出す筈

五年發行價格九十ポンド發行利率五分五厘で一千九百五年公債の中未借替への一千萬磅借替への爲めである

ロンドンの準備整ふ

【ロンドン八日發電】日本政府の第二回英貨四分利公債借り替イギリス引受けの分に對し當地では既に一千二百五十萬ポンドの公債發行の準備が完了したものと信ぜられてゐる、右公債は償還期限三十

撫順縣に於る農業事情
經營法は自作以下五種
炭礦農林係農事擔當者調査

大阪商人と在滿の邦商
兩者の不平不滿（三）
野添孝生

六、在滿邦商の苦情

大阪の商人が、滿洲の日本商人は苦情が多くて、決濟が遲れるといふてゐる點について、一言述べなければならぬ。この點については可なり私も單に奉天のみでなく、各地に旅行する度毎に、內々調査して見たが、敢て必ずしも在滿の邦商のみを責めることは出來ない現に滿洲輸入組合などについて聞いて見ても、大阪商人が見本と實物と相違するものを送つて來るには閉口するといつてゐる。幾ら何んでも、見本と實物とが相違してゐるものに對し、苦情もいはず、また決濟も迅速にやるお人好しは居るまい。隨つて斯樣な取引をして置いて、やれ苦情が多いとか、やれ決濟が遲れるなどとは、よくもどの面して云ふのかと滿洲の邦商中憤慨するものが少くない。しかして在滿の邦商に云はしめると吾々日本商人にすら、見本と實物とが相違するやうな取引をする大阪商人であるから、當然支那商に向つても、同樣惡辣なことをやるに間違ひはないが、たゞ支那商は日本商人のやうに、口入釜しく交渉したり、强硬に値引きなどを要求しないため、支那商との取引を好むのであらうといつてゐる。私達が公平に見て、必ずしもこれ等の邦商が云ふてゐる全部を信用しないが、また一面大阪商人中には不良な商內をする者が絕無なりとは斷言し得られぬ。この點はこの前の日滿貿易懇談會の席上に於て更に、可なり私が遠慮なく述べて置いた筈である。

七、努力の足らぬ點

更に大阪商人が、滿洲の日本商人は、商品販路の擴大を依賴しても、一向に努力してくれない、これと反對に支那商は非常に努力してくれるといふ點である。努力しないとか、努力するとかは、究極比較の問題であつて、如何なる商人にしても、この商品は確に賣れると見れば、大阪の商人が依賴するとせざるとに拘らず、懸命の努力をすることは必然である。單り支那商のみが、販路の擴大に努力すると限られるは可笑しいではないか。この努力の點については懇談會の席上に於て、相當論議された點であり、隨つて私としても當時壓審した點に誤りはないか何うかを昨今親く確めて見たが、幸ひに見當外れでなかつた。即ち大阪商人は、最初は殆ど特約的に商品を依賴されるが、それが多少賣れてくると、忽ちに他の邦商にも更に支那商にもと云ふ狀態にて、多數の店を對手にされる結果、自然日本商が懸命の努力をしなくな

八、特約しない弊害

銀行會社休業

市況

今日の相場

▲五品　先限七圓七十錢
▲新株　錢鈔先十三圓七
▲綿糸　關助一六一圓八
▲綿布　買氣薄にて保合
▲麻袋　氣配變らず保合
▲大豆　二三錢方の低落
▲豆粕　軟弱商狀で大引
▲豆油　七月限は五錢高
▲高粱　五月限二錢方安
▲鈔票　換期六八圓七五
▲大洋　九十七圓五五錢
▲小洋　百七十七圓四〇

特産　買氣薄で一齊に軟調

今朝の市場は差したる材料も無く一般に買氣薄で各品共に一齊に軟弱商狀に推して大引

◇定期前場（銀建）
▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇	七〇〇〇
六月末	七〇八〇	七〇八〇	七〇八〇	七〇八〇
七月末	七一五〇	七一五〇	七一五〇	七一三〇
八月末	七二三〇	七二三〇	七二一〇	七二一〇
九月末	七二七〇	七二八〇	七二七〇	七二七〇

出來高　三十五車
▲普通大豆　出來不申

市場電報（九日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊　一九片二分一
同　先物　一九片十六分七
紐育銀塊　四三仙八分一
孟買銀塊　六六留比十六分一
英米爲替　四弗八十六分十五
米日爲替　四九弗十六分七
米支爲替　四六弗八分五

棉花

●米棉（換算一圓高）

●印棉
ベンゴール　一八〇留比
ヴドーチル　二四八留比
オームラ　二〇六留比

商品　前場

株式　內地株小緩み　當市弱含

錢鈔　銀塊高で鈔票は軟調

爲替相場

上海標金

上海爲替情報

手形交換

奥地市況

經濟部電話　八四五五番

社説　外交案件を整理せよ

日支間の交渉案件にして未解決のもの山積し、しかも當然に解決されねばならぬものにして容易に解決を見ぬのは日支國交のため憂慮すべき事項である。かの商租權問題の如きも當然に解決されねばならぬ問題であるのにも拘らず、その端緒をさへ見出し得ぬとは困つたものである。かくの如き大問題は兎に角として未解決案件は少しも解決整理せられることなく、それからそれへと累積せられつゝあるのは決して喜ばしい現象ではない。

最近、哈爾濱や間島方面で又また問題を起しつゝあるやうであるが支那側は例によつて責任回避、更に誠意の認むべきものがないから日本側の嚴重なる抗議もペーパープロテストとして張合のないこと夥しい。

日本と支那とが、かくの如く接觸し密接なる關係を保つてゐるからには、そこに色々な問題の惹起するのは當然といふべく而して場合によりては解決の困難なる案件の發生することも否定し得ぬところであらう。併しながら如何なる難問題といへども誠意を披瀝し責任を負ふの觀念を以て臨まんか片ッ端から解決整理し得ること明明白白である。

然るに何らの誠意を示さず責任を回避し顧みて他をいはんとするが如き態度に出でんか徒らに國交を害するのみであつて案件は山積する一方である。わが日本の如きも今日、時代錯誤または場所錯誤の既得權利を徹頭徹尾、振りまはさんとするものでもあるまい。その場合その時代に適合した妥當公正なる解決方法を否むものではあるまいと思ふ。たとへば商租權設定に關する細目協定の交渉を開催したりとしても支那側が當然の義務責任を回避するやうな無理を日本側が提起するであらうか。吾人は思ふ。そこには支那側に大なる杞憂が存すると。日本の識者中には、よし土地商租の細目が協定されたにしても日本人の生活程度、生活様式を以てしては結局　窓文に終らんのみと。而して支那の識者中にも朝鮮人は恐るべし併し日本內地人は恐るるに足らずと。これ抑も何を物語るのであるか。然るに支那側は、ただに商租權の問題のみならず、あらゆる案件に關し常に責任を回避し誠意の披瀝を認め得ぬのは遺憾である。而して最近は問題が紛糾するや例の奥の手として外交權は南京政府になどと回避するのである。

メーデーに際し露支鮮の共産黨員が日本總領事に對し亂暴狼藉の限りを働いた。而して日本官憲は支那官憲の逮捕せる不逞鮮人の引渡しを要求せるに對し彼等鮮人は支那に歸化してゐるものであるからと言を左右にして容易に引渡さんともせず折角の日本官憲の嚴重なる抗議もまたペーパープロテストの常套に陷るのではないかと慨嘆せざるを得ぬのである。無論かくの如く曖昧に腕押しの抗議外交なるものをして今日の如くに至らしめたには日本側にも責任はあるのである。すなはち抗議することを知つて解決することを敢てしなかつた從來の對支外交の結果、遂に彼らから脚下を見すかされるに至つたものといはねばならぬ。

支那側では歸化鮮人などといふが一體、支那に戸籍法などいふものが存在してゐるのであるか。自分の方に都合のよい場合には歸化したといひ都合の悪い場合には不歸化鮮人などといふは法權問題が將に國際間の議題とならんとする際、結局は支那側の現實を暴露することにならぬであらうか。よし彼ら不逞鮮人が支那への歸化は確實なりとして果して然らば日本の總領事公館に對する亂暴狼藉の責任を如何にせんとするのか。

間島方面にありても支那官憲が白晝公然と排日を敢てし不逞鮮人を使嗾して日支間の國交を攪亂しつゝあるのである。これに對し日本側が如何に嚴重なる抗議を敢てするとも馬耳に東風といふのが昨今の支那官憲の態度である。

日支すくなくとも日滿間における外交案件は上述の如き狀態を以て推移しつゝあるのである。ここにおいて吾人は日本當局に對しては單なるペーパープロテストの無意義なることを認め、もつと有意義なる手段方法を講じ以て日支の國交を圓滑に進捗せんことを望むと共に支那側に對しては誠意を披瀝し責任を回避することなく問題の解決整理に努力せんことを要求するものである。而してまた同時に時代は展開し外交界もまた新時代に進みつつあるを確認し、出ぬ化物を杞憂し當面を糊塗して責任を回避せんとするが如きことあるは不平等條約を云爲する支那側としては決して賢明なる方策といふことは出來ぬと思ふ。外交の大道は結局するところは公正妥當を以て坦坦たる大道とする。この大道を濶歩することを回避し、駈引を以て始終せんとするは國際的に支那を建設更生するゆゑんといふことは出來ぬではないか。」

婦人公民權案は特別委員に附託

政府委員から時期考慮を表明

八日の衆議院本會議

【東京八日發電】八日の衆議院本會議は午後一時二十分開會前日を以つて政府提出法案全部を通過し本日より議員提出の法律案が上程された、殊に婦人公民權附與の法律案が上程される日なので婦人傍聽席には市川房枝女史を初め婦選獲得同盟の猛者連がズラリと列んで居るのが目立つ、大臣席には安達內相只一人ポツネンとして控へてゐる、先づ砂田重政氏議事進行について發言を求め新潟警察署長助川某の選擧干渉問題につき安達內相の答辯を求め內相は人を派して調査をさせてゐるがまだ歸京しない遺漏あつてはいけないので更に人を派して愼重調査させると答へ議事日程に入る、即ち

一、市制中改正法律案（末松偕一郎外三十四名提出）
一、町村制中改正法律案（末松偕一郎外三十五名提出）
一、北海道會法中改正法律案（末松偕一郎外三十二名提出）
一、市制中改正法律案（若宮貞夫外十三名提出）
一、町村制中改正法律案（同上）
一、北海道會法中改正法律案（同上）

を一括上程・先づ提案者末松偕一郎氏（民）提案理由の説明をなす

婦人公民權は世界の大勢

反對論は全く杞憂

末松氏　世界の主要國中婦人に公民權を與へてゐないのは日本とフランスのみである、今や婦人公民權は世界の大勢であつて政友、民政が互に本案を提出したからといつてそれは斷じて黨利黨略に基いたのではない今日の社會生活において婦人の地位は決して男子に劣るものではない工場勞働者、農業勞働者の數からいつても經濟上重要な地位を占めてゐる婦人の綿密な注意力は地方自治體の政治に最も適切なものである歐米各國の永い間の經驗は種々の反對論が全く杞憂であつた事を立證してゐる故に速かに本案を通過せしめられん事を望むと述べて降壇

政友會は擧黨贊成

次いで同じく政友會側の提案者若宮貞夫氏提案理由説明のため登壇

若宮氏　本案は政友會は黨議を以つて擧黨一致第五十七議會に提出したが不幸解散となつたであるが本案が衆議院を通過するは確實であるが貴族院を押し切るにはそれだけ力强きものでなければならぬから民政黨も宜しく黨議に依つて本案を贊成されたい

次いで質疑に入り

山崎傳之助氏（民）登壇、本案に大體贊成である歐洲大戰中の働きは大したものである

選擧權も與へよ

無産黨の片山氏叫ぶ

片山哲氏（無産）　今日の我國の自治體は幼稚なもので單に公民權だけでは今日の複雑なる政治上の訓練は提案者のいふ如く望み難い故に婦人解放の實現は公民權は勿論選擧權をも認めて國政に參與せしめなければならぬこの點に就て提案者は如何なる見解を有せらるゝや又政府は公民權の提案に對し如何なる態度を執るものなりや又別個の選擧權を附與する意志ありや

末松氏　婦人參政權は理論的には認むるが漸進的に先づ公民權を認めたいといふのである

若宮氏（自席より）　末松君の答辯通りである公民權を先づ認めるのはやがて婦人の解放を實現する所以である

齋藤政府委員　婦人公民權は主義としては反對せぬが實施の時期範圍資格等については十分考慮の餘地がある故に本案には遽かに贊成し得ぬが政民兩黨が過半數の贊成を得た提案であるから政府においてはこの點に重きを置き十分考慮する

と答へて十八名の特別委員附託となる、次いで山田穀一氏（民）一身上の辯明に就いて發言を求め富山縣庄川問題に關し土倉宗明氏（政）と論爭あり次いで日程

第七　借用法中改正法律案（小久江美代吉外二名提出）

を上程第一讀會に入る

小久江氏登壇、提案理由を述べ中田鉄郎氏の質問ありそれに對し提案者は委員會にて答辯する旨答へて盜犯防止法案委員會に併託さる、次いで

日程第八、違警罪即決令中改正法律案（一松定吉外二名提出）
第九、行政執行法中改正法律案（同上）

を一括上程提案者一松定吉氏より提案趣旨の説明を簡單になし前回樣盜犯防止法案委員會に併託さる

宗教家に選擧權

日程第十二、治安警察法中改正法律案（後藤亮一外八名提出）
第十三、同上（安藤正純外六名提出）

を一括議題に供し先づ提案者後藤亮一氏（無所屬）より

後藤氏　僧侶その他諸宗教師に選擧權被選擧權を與へて置きながら政治結社に加盟を認めぬは不都合であるから宜しく本案に贊成あらん事を望む

と述べ議長指名九名の委員附託、日程第十四、國家賠償法案（小俣政一外二名提出）

を上程提案者小俣政一氏（民）その提案説明ありて盜犯防止法案委員會に併託

日程第十五、牧野法案（山內亮外六名提出）
第十六、同上（八田宗吉外四名提出）

を一括上程、議長指名十八名の委員附託、大臣席には婦人公民權の終つてからは一人の閣僚の姿も見えず一瀉千里議事は進んで行く

次で日程第十、恩給法中改正法律案（神部爲藏外九名提出）
第十一、恩給法中改正法律案（東武外六名提出）

を一括議題に供し第一讀會に入る提案者神部爲藏氏（民）並びに松實喜代太氏（政）よりそれぞれ提案理由の説明あり議長指名の九名の委員に附託さる

勞働運動の健全な發達助成

自主的失業の防衛策

日程第十七、勞働組合法案（片山哲提出）

を愈々上程先づ提案者の提案説明

片山哲氏（無産）　資本主義經濟組織の下にて勞働者が勞働組合を組織して團結の力に依つて資本家に當る事は必然である故に國家は勞働組合を認め勞働組合運動の健全な發達を助成すべきである第二に勞働者が失業に對する自主的防衛策として勞働組合は各種賃銀低下に對して鬪ふ唯一の武器である第三に勞働者が官憲の不當なる壓迫に對抗するには勞働組合に依[illegible]ない第四產業合理化の負擔に依つてのみ[illegible]い爲にも組合は必要[illegible]て此の組合法は自主的[illegible]ばならぬ

と提案理由を説明し議長指名の特別委員に附託

未成年者禁酒

日程第十八、未成年者飲酒禁止法中改正法律案（[illegible]外十八名提出）

議長指名の九名の委員に[illegible]

失業者手當問題

議場俄に殺氣立つ

日程第十九、失業手當法案（松谷與二郎提出）

を上程

松谷與二郎氏（無産）　政府は本會議に於て失業者を三十五萬であるといつてゐるが建築業者の失業關係のみでも六十萬人に上つてゐる假りに三十五萬人としても一家族四人とせば百五十萬人が飢に迫つてゐるのである現在政府は對失業應急策として僅かに六十九萬圓許りで百五十萬人の生活問題をどうする事が出來るか近時社會に「親殺し」「一家心中」等相踵いで起るは正に現內閣の責任である政府が今日の如き態度を以つて失業問題に對したならば再び第二の燒打事件が起らぬとも限らない

とやるや與黨一齊に喚き[illegible]長も松谷氏に注意すると[illegible]席に突つ立ち「議長[illegible]」「松谷君聯はず遣れ」[illegible]政側は怒罵々々を浴び[illegible]殺氣を帶びるが政友會[illegible]觀してゐる[illegible]三郎氏議長席に[illegible]

藤澤議長　松谷君の[illegible]穩當の發言あり[illegible]を調べる事とする

と述べこれで議場も[illegible]

松谷氏　[illegible]行救濟のため[illegible]出すのに比すれば失業[illegible]一日の手當を出す位[illegible]政府において失業對[illegible]

事なくば國家として不祥事を惹起するだらう

と結び無産派の拍手と與黨の罵聲を浴びて降壇

失業者の窮狀に同情

田子一民氏（政）（議席より）　本案に對し政府は同意をなすや

安達內相　失業者の窮狀には同情に堪へぬが勞働者に何等の負擔も與へない手當法には贊成し得ない政府としては別個に失業對策を講じてゐる

と答へ勞働組合法案委員會に併託さる

日程　第二十、衆議院議員選擧法中改正法律案（西尾末廣提出）

を上程、提案理由の説明を省略して婦人公民權案委員に併託

日程　第二十一、中央卸賣市場法中改正法律案（藤田若水外四名提出）

九名の委員附託

日程　第二十二、船舶業組合法案（加藤鯛一外三名提出）
第二十三、船舶業組合法案（內田信也外二名提出）

を一括上程、前田卯之助氏（民）駒田鍛次郎氏（政）より提案理由の説明後

加藤鯛一氏（議席より）　政府は本案に對し贊否如何

中野遞信次官　大局において本案は適切なものと認め贊成である

と答へ十八名の委員に附託、斯くて二十三の議員提出の法律案を一瀉千里に片づけて午後五時四十分散會

貴族院豫算總會

不景氣問題で

三井淸一郎氏質問

【東京八日發電】貴族院豫算總會第一日は八日午後一時半開會林委員長開會を宣し八、九、十日を質問日として十一日分科會十二日に總會を開かんと諮り決定し質問に入る

三井淸一郎氏　財界不況の現狀は國民生活上不問に附すべからざる問題である首相はこの經濟狀態を何と見るか

濱口首相　前途に對して左程悲觀してゐない然し出來る限りこれが打開に努力せんとしてゐる

三井氏　これが對策として政府は國產品愛用を奬勵してゐるが速かに有効なる對策を講ぜねばならぬ

濱口首相　不況を救ふには國際貸借の改善を圖る要あり、そのためには產業合理化國產の振興をなすべきである

三井氏　首相は貴衆兩院にて先般來金解禁の準備は完全にして居つたと言明せるも果して然るや

井上藏相　日本の對外的理想は成るべく外國に金の出ない樣にするのが目的であり金解禁も此の理想に向つて成されたのである、而して解禁後の經濟界は順調であると思ふ

三井氏　解禁の準備行爲として外國爲替を買入れこれを以つて在外正貨の充實を圖らんとしたるもこの方法以外に遣り方はなかつたか若槻內閣は金塊九千萬圓を現送したではないか政府は現在の資金の減少に對し如何なる對策を有するか

首相　政府は在外正貨のみを目當てに解禁したのでなく總ての事情が適當となつたのを見て解禁したのである在外正貨補充の爲めに現送する間は通貨の收縮を圖る事が出來ぬから現送を不適當としたのである

三井氏　政府は現在の兌換制度を改善する意志ありや

藏相　日銀條例の改善に就ては考慮してゐる成案を得次第金融制度調査會に諮りたいと思つてゐる

三井氏　兌換券に對する正貨準備が僅か三月の間に非常な減少を來したのは何か特殊の原因があるのではないか

藏相　輸入超過である以上正貨の流失は已むを得ない

三井氏　現在現送する正貨は建値の點に於て利益を受けるものがある爲めではないか

藏相　爲替相場の建値は日銀が定めるもので其の値段も取引の事情に依り一定するものではない

三井氏　商相は解禁準備につき如何なる計畫を樹てたか

俵商相　政府としては國產品愛用奬勵、產業合理化運動その他の施設をしてゐる

三井氏　米價下落を防ぐことは出來ぬか

町田農相　米穀補償法發動は尙早と考へる

次いで井上淸純男より軍縮問題につき質問應答あり、午後六時五分林委員長休憩を宣す、午後八時再開、長岡隆一郎氏實行豫算編成並に木炭、森林收入等につき質問し首相及び田淵農林省會計課長よりそれぞれ答辯ありて九時四分散會した

婦人公民權案は衆議院通過見込

十日の本會議に上程

陸相の答辯齟齬せず

松田拓相報告

南北主力衝突はこゝ數日中

蔣介石氏積極的攻勢

法權案亂質問

內容緩和か

借替公債利廻

六分七厘强

汪支那公使

歸國使命

懸案解決打合せ

北滿事情聽取

二法律案可決

閣議決定事項

塚本工大教授免官

張學良氏微恙

高橋合資丸を購入

軍需機關整理

國際聯盟軍縮委員會

陸相けふ出席希望

事後承諾案

委員會で承認

專門的御質問に恐懼

岡部山本兩氏談

昨年中の倉庫業績

寄託貨物及び收入增加

特產

錢鈔

商品

滿日地方版

町の便り

奉天輸入組合では八日午後一時から定時總會を開き四年度の決算報告と役員の改選を行つた
◇
奉天地方事務所では豫て滿鐵本社に對し市中汚物の自動車使用願ひを提出中の處、七日愈認可となつたのでトラック三臺で運搬する筈　該仕事は請負制度とし近く入札に附すると
◇
交通委員會では涌遼、熱河、開魯間の鐵道敷設の準備中であるが、經費は北寧鐵路局が擔當し暫時同線の支線として管理する由

人事

▲岸本中將　七日安東より來奉
▲時乘少將(陸大專攻科附)　七日湯崗子へ
▲牧野少將(滿鐵囑託)　八日撫順より來奉
▲中村朝鮮軍參謀長　七日過奉赴連
▲村田第卅三聯隊長　七日夜赴旅
▲鈴木奉天鐵道事務所長　七日歸奉
▲川瀨同工務長　同上
▲古仁所滿鐵奉天公所長　七日赴連
▲菊竹鄭家屯公所長　同上
▲橫田滿電專務　七日鐵嶺へ
▲ポールシエール氏(駐日波蘭代理公使)　七日過奉長春へ

奉天

安奉線名勝 紹介の遊覽列車 奉天鐵道事務所の計畫

安奉線各地の名勝を紹介し且つは夏季に於ける奉天市民の行樂に便宜を與へるため、奉天鐵道事務所では七月一日から毎日曜に奉天橋頭間の遊覽列車を運轉することになつた、尚今年は魚釣、蕨摘み、蕨狩その他時事に關した諸件を日曜遊覽案內として發表することになつてゐる、殊に本年は安奉線八景が決定したので一層賑はふであらうと

鐵道線路に 多數の石 機關士が發見

上り十六列車が六日午後二時半頃瓦房店驛を發車して遠方信號所附近に差掛つた際、下り線路上に拳大の石八個、上り線路上に廿三個を載せ列車の運轉を妨害せる犯人あり、幸ひ同列車の機關士が發見し事なきを得た、目下犯人嚴探中

庵谷會頭上京 日支關稅問題 對策協議の爲

庵谷奉天商議會頭はこの程赴連し日支關稅問題對策に關し滿鐵當局と打合せをなし七日歸奉したが、更に我が政府當局と打せのため本月中旬上京し廿七、八、九の三日間大阪に於て開かれる日本商工會議所臨時總會にも列席し、關稅及び課稅問題を提案討議の上再び上京、協議決定後六月上旬歸奉する由

男女家出三件

市內鹽町平井文子(一七)は過般無斷家出し大連の某カフエーに潛伏中取押へられ奉天に伴れ戾されたが七日家人の隙を見て又もや無斷家出し行方を晦ました、女子には大連に戀人ありそこに走つたのではないかと云はれてゐる、大連市敷島町十三番地山根萬造長女靜枝(一六)は同居人甘子義郎(二四)と手に手を取つて七日午前十時家出したが瓦房店で發見され大連に送り返された、又市內松島町十三番地山口方山澤直十郎は去る五日金五圓を携帶し自轉車に乘つて出て行つたまゝ行方不明となつた

哈爾賓

吾等の町を語る 華人の自覺に俟つ 特産の取引方法を改善せよ

國際運輸支店長　剛崎虎雄氏談

この町の占ひか?サテ誰もが一樣に考へてゐることで、そして、大體に於て同じことだがネ「ハルビンを中心點としてコンパスの足を浦鹽と大連に向け、圓周を書いたらどうなるかテ」難問答のやうだが、ハルビン—吾等の町の生命は、さうだ、矢張り開港をもつてゐることだらう、だが、三百萬噸の大豆を捌く港は勿論必要だが、東流、南行、總ての鍵は東支鐵道一千七十哩がもつ支配權如何で決定されるのだから東支が公平な運賃政策を立てない限り滿足な結果は得られない
◇
問題は北滿を代表する特産取引上の關係が急務ぢやないかナ、元來、ハルビンの發展すると否とは支那人自體の自覺にあるのだが、現在の如き特産取引方法は世界の何處にも見られない奇現象なのだ、第一、大豆百車の取引を、何月渡で契約すると、全額の代金は支那糧棧に前拂ひする、そして愈々荷渡期が來ると容易に受渡をしない、時たまスッタ揉んだの末荷渡をした品物をみると變質の上に挾雜物が五分乃至一割、甚しいのには水豆までも入つてると云ふ不道德さだ、問題にすると「それなら荷受をしなくつてもよい」とテンデ相手にしない、邦商では三井、三菱、日滿の如きも常に惱まされ、シピリスキーの閉店の原因も此の不正取引の結果が主要部分を占めてゐる
◇
糧棧が荷渡不履行の際は、必ず豫定の轄腹が浦鹽又は大連に廻いてゐるので、品物を一日も早く積込む必要上、市場で現物の手合をすると、必ず高いものに決つてるのだから、特産輸出商は支那糧棧に使はれてゐる小僧のやうなものだ、世界的の商品が斯くの如き不健全な取引方法によつてゐることは前代未聞だ
◇
結局　北滿の發展を自然的に阻害することになる、過去二十有餘年間に支那側糧棧が世界商品だとの自覺から正しい取引方法を採つてゐたならこの町は現在以上に發展したことだらう、僕は支那糧棧の取引改善を先決問題とし、我等の町を明るく正しくするには、支那人自身の聰明と自覺にあることを提唱する

【寫眞は剛崎氏】

北滿の市俄古たれ =處女ハルビンに呼びかける

三井物産支店長　鬼虎孟太郎氏談

昨年十月に來た土地で皮相だけより判らないが……兎に角一ケ年二億萬圓の輸入貨物中本邦品は其の三分の二——一億二千萬圓は消化される都市だ、其の半分は綿絲布で特別の商賣としても其他は雜貨類である、それが直接在住邦人の手を經ずに殆ど大部分は露商の在支那商でH本全體の輸出からすれば別に問題でないが、是非ハルビンに在住する邦人としては、其のうちの大半は邦人直接に取引のできる方法を講じることが必要だ
◇
それには政府として輸出保證法でも施行して大に獎勵をすると共に、邦人も亦自覺し所謂合理化により難局を打開する覺悟がなければならない、即ち、金融經濟市場に於て何も露商の背後にある必要はないのである、しかも邦商は二、三を除いた外は殆ど特産商ばかりで、本邦商品の輸入者は寥々であるのは不思議だ、サジブルク式の商取引では無く、各自が統一戰線に立てば立派に現品を輸入して商內はできるのである、これは是非とも當市に於ける邦商の發展策としてお互に研究し大に活躍したいと希望してゐる
◇
若い　フレッシュなローカルカラーの強いこの地は、青年で溌剌たる氣分をもつてゐるだけ將來を有してゐるこれで吉林、黑龍の廣漠たる處女地に鐵道が蜘蛛の網の如く交錯したら、滿洲のシカゴたるには充分な要素を備へることになる、現に、大正十一年に一度來たが道外(傅家甸)は六道街までより人家はなかつたが倍の十二道街までになつてゐる、この超スピードの跳躍振を視るならば直に肯定されるだらう
◇
要するに新々の未來あり生氣にはちきれる青年の都市に、邦人は如何なる準備をもつて突進せんとするかゞ先決問題だ——滿洲の光は北方よりの旗幟をかざしてお互は戰線に立ちたい、幾多の改良すべき點を研究し覺醒したい、これが處女ハルビンに呼びかける言葉だ、そして吾人はシスマテツクに彼女を愛しやうぢやないか

新綠の北滿に 雪崩込む觀光團 三百名の一團もある 滿鐵旅客係は大童で準備中

北滿にも紅白の野桃が咲き新綠の色滿々しく、旅行團が押寄せるシーズンになつた、來る十四日午後六時にチチハルから三重縣龜山商工團一行十三名がトップを切つて來哈し、十六日の急行で南下▲東京電氣業者五名一行は十五日來哈、十六日出發▲南滿地方からは撫順高女生七十九名が十四日四列車で來哈、十五日三列車で南下▲鞍山中學生六十五名は十八日六列車で來哈、二十日三列車で歸校する外珍しくも六月十一日には靜岡運輸事務所の主催で三百名の商工業者及官公吏が來哈して一泊するがこんな大勢は旅館には到底收容し切れぬので滿鐵旅客係では今から準備を急いでゐる、これまで三百名以上の團體は來たことはあるが泊つた事はない

第八區の 大火事 重輕傷五名

哈爾賓第八區埠頭倉庫片岡完爾氏所有倉から七日午前一時失火し午前八時に至るも鎭火せず、隣接せる正金保管の鈴木倉庫に延燒し鮮人糯米所をなめつくし三名の重傷者を出し、倉庫にあつた木炭に火がつき消防夫必死の活動も容易に威力を發揮せず漸く自然鎭火した燒失坪數は三百六十、重輕傷者は孫炳文(二四)、金廣喜(二二)、張景鎬(四〇)、妻成女(三四)、金利和の五名は眞夜中の就寢中で生命危篤

濱江雜俎

東支鐵道の執務時間は五月十五日から午前八時より午後二時までと

町の便り

なつた
◇
全哈野球大會は十一日午前十時から開始し滿鐵、午後は國際戰協會の試合で十八日優勝戰で幕
◇
全哈武道大會は十五日午前十時から小學校講堂で開催
◇
赤軍では一九〇八年生れの青年に對して赤衞士官學校に入學することを宣傳してゐる

◇一松江餘滴一◇

我等の全權財部海相歸るの報に滿洲里には東日高木、大朝中山、電通本櫃、聯合哈日、哈通の特派員が出動▲一時間半豫定より遲れた全權を圍んだ記者連の顏上には悽慘の氣がみなぎる、軍縮會議よりも猛烈な質問戰▲結局各特派員が本社への打電競爭にうつつたが、數千語の美文麗句も詮じつめれば全權がロンドン出發に際して出したステートメントと大同小異▲讀みるまでは意氣込んだ連中もナール程巧なものと感心▲ハルビンの東支電信局はこの通信のため午後三時から四時まで引續いた▲中心は軍令部長と統帥權問題だつたが解決は東京へ歸つて政府に報告してからとあり▲大魚を逸したと

長春

范家屯の邦人殺 眞犯人逮捕 公主嶺の下宿屋に潛伏

去る三月范家屯南大通り一五射的業井上延太郎を殺害した犯人につき長春警察署は極力嚴探中、この程范家屯派出所警官が公主嶺新町二ノ一九下宿屋明興棧に止宿中の一支那人を逮捕、本署に於て取調中であるが七日眞犯人である旨自白したと

童話と活寫會 明日の兒童愛護デー

既報—來たる十一日の兒童デーの催しについては目下地事社會係りで研究中であるが、會場は長春座で先づ久永社會主事の說明、童話に次で活寫は實寫「海底の美觀」「天の橋立」漫畫「ムブスヨットの卷」「蛙と蛙」喜劇「支那土產」社會劇「さすらひの少女」等を上映すると

西公園で茣蓙を貸す

滿洲一の名をとつた長春西公園は流石にその設備と云ひ天然の利用と云ひ申分がないので、早くも若草に裝ひを一新した今日此頃家族的の團欒は殆ど日毎に彼方に一組此方に一組と見受けられるが今度地方事務所が公園內に貸茣蓙等を許可することゝなつたから、今後は家族打揃つてピクニックルに出かけるには至極便利である

瓦房店

神社參拜者數 健康週間中の

四月廿七日より五月三日迄實施したる健康週間神社參拜者は左の通りで、保健衞生上相場効果を齎した
四月廿七日八六人、廿八日五八人、廿九日一三六人、卅日三三人、五月一日九四人、二日五八人、三日五七人計五二二人

吉林

軟式野球初試合 吉林軍脆くも慘敗す

長春青葉對吉林スポンヂ野球戰は既報の通り四日午後一時三十分より民會前グラウンドに於て石射總領事の始球式に、青葉先攻にて開始、第三回までは兩軍得點なく頑張してゐたが、第四回の表で吉林軍の守備不完全から一擧に四點を與へ、第五回で青葉更に一點を擧げ、第七回に至り吉林軍僅かに一點を得て五對一で吉林軍慘敗した兩軍の此の對抗戰は吉林球界今シーズンの劈頭を飾るもので、各ファン連に非常な興味を與へた

庭球試合 全吉林軍敗る

オール吉林對長春青葉の庭球戰は去る四日滿鐵コートに於て午前九時より開始、吉林側は練習不足の爲め三對二で敗れた、兩軍のメンバー左の如し

長春　吉林
○(谷川・眞木)　四—一　(大木・上村)
○(湯山・物部)　四—二　(石井・大西)
(伊藤・細井)　〇—四　○(小島・堀谷)
○(久保田)　四—〇　(小林・小野)
(長澤・眞木)　一—四　○(花籠・田谷)

滿鐵社員異動

滿鐵では五日附社報で社員の異動を發表したが、多年吉林滿鐵公所に勤務した田中守吉氏が本社庶務部庶務課へ、小島一男氏が同庶務部社會課へ夫々榮轉、僞東洋醫院事務長花田孫平氏は同日附で公所勤務を命ぜられた

官帖相場暴落

吉林官帖相場は先月末日から下押し氣配を見せてゐたが、三日に至り俄然金對三百吊臺を割り其後三百三、四吊を持續してゐる

公主嶺

新兵器の粹を蒐めて 激戰四時間に亘る 壯烈を極めた鐵道警備演習

公主嶺を中心とせる獨立守備隊の鐵道警備演習は、五日午前九時應急動員を行ひ范家屯以北孟家屯方面より攻防戰を開始し、七日午前七時公主嶺水源地附近に於て假想敵と遭遇、猛烈なる戰鬪の幕は切つて落され、輕重機關銃砲其他あらゆる新兵器の威力を示し激戰奮鬪、砲煙は天地を覆ひ裝甲車の突進猛擊等實戰を偲ばしめ、敵を蔡家驛方面に驅逐し戰鬪を終つたのは正午であつた

けふは=兒童デー さまざまの催物

公主嶺に於ける兒童デーは例年の如く十日午前九時より左記のプログラムで擧行される事となつた　午前十時小學校の講堂においてお噺大會を催し、死亡兒童の家族慰問後旗行列を行ひ、公主嶺神社參拜、公園に於て子供相撲高脚踊、手品、寶探し等ありて後土產品の分配を行ひて散會

開原

九十九名に上る 昨年の傳染病患者 日本人は七十一名

開原に於ける昨年度傳染病患者數は左の如し

病名	日本人	朝鮮人	中國人	計	死亡
赤痢	四五	七	六	五八	一〇
腸窒扶斯	一二	三	四	一九	四
パラチブス	二	—	一	三	—
猩紅熱	九	一	二	一二	—
實扶垤里亞	三	—	三	六	二
痘瘡	—	—	一	一	—
計	七一	一一	一七	九九	一六

赤痢は半數以上にして、その發生月別は左記
四月 一　六月 一七　七月 [illegible]　八月 [illegible]　九月 [illegible]　十二月 一　計 五八
日本人四十五名の職業別を示せば鐵道關係一八、地方事務所五、學校五、官衙八、銀行會社三、其他一般六であると

怖い赤痢の豫防方法

忌まはしい赤痢は毎年今頃から秋にかけて流行しはじめるが開原に於ける昨年の罹病者を調べて見ると、驚くなかれ日本人だけで四十五名、死亡五名であり人口僅かに二千餘名中斯くの如く多數發生するは、誠に寒心に堪へぬ、各自左記各項を充分注意されたいと

一、外出先より歸りたる時及び食事前には手を洗ふ事
二、未熟な果物殊に小兒には「バナナ」「杏、甜、玉蜀黍、葡萄、青豆等は控目にする事
三、野菜果實類は必ず消毒する事　消毒藥は無料で消防隊から供給す
四、暴飮、暴食を愼しむ事
五、寢冷をせぬやう注意する事
六、屋內に蠅を入れぬ樣、驅除する事
七、衣類、寢具は時々日光消毒する事
八、食器類は時々煮沸消毒する事
九、他人の子供に飮食物を與へぬ事
十、家屋內外殊に臺所便所は清潔にする事

郵便局四月業績

開原郵便局四月中事業成績左の如し

=郵便=

種別		
通常	引受	五〇、一八六通
通常	配達	五六、八九七通
小包	引受	二二五個
小包	配達	一、七六七個

=爲替貯金=

種別		件數	金額
爲替	取組	七五四件	一八、〇三五圓
爲替	拂渡	一六一件	五五九八圓
貯金	預入	一、四三三件	一七、八二一圓
貯金	拂戾	三〇六件	一一、六〇九圓
振替	振込	九九件	[illegible]
振替	拂渡	七一件	[illegible]

畑軍司令官 來月十六日來開

關東軍司令官畑中將は來る六月十六日來開し、開原守備隊の檢閱をなし即日鐵嶺に向ふ

藤田經理部長

關東軍經理部長藤田主計監は來る六月十五日來開し開原守備隊及び開原憲兵分遣隊の會計々理檢查の上四平街に向ふと

稅捐局長更迭

開原稅捐局長高紀彌氏は今般海龍稅捐局長に轉任、後任は新民縣より高鳳岐氏來任すると

弓道春季大會 あす道場で開催

開原弓道部では來る十一日午前十一時より滿鐵道場に於て春季大會を開催する

前田署長出奉

前田開原署長、東野兵事係兩氏は徵兵檢查の爲め適齡者八名を引率し八日奉天に出張した

教育團遠征 開原で庭球試合

鐵嶺小學校普通學校日語學堂職員を一團とする教育團は來る十七日開原に遠征して開原教育團と庭球試合を行ふと

鐵嶺

簡易保健加入者に 無料で健康相談 大連愛宕町の健康相談所で 遞信局の新しい施設

關東遞信局では今回大連愛宕町に健康相談所を開放し簡易保險加入者に對し(一)體質問題に就て(二)患者の病源件質療法に就て(三)治療の處方箋(四)體格檢查表診斷書(五)ワッセルマンの反應試驗等一切無料で相談乃至診斷に應じ沿線在住者には書面相談にも應答すると尙沿線居住者の書面相談は封筒の表に「通信事務」と朱書投函すれば郵稅を要せぬと、鐵嶺に於ける保險加入者延人員四千三百人にとつて少からぬ福音である

種別	引受	配達
普通	六〇、一〇六通	[illegible]
書留	一、一一〇	一、一九七
價格表記	一六	三六
書留小包	[illegible]	一、一一〇
價格表記	一	一
代金引換	四	[illegible]

四月末の 郵便局業績 貯金は漸次良好

鐵嶺郵便局四月中は比較的閑散であつたが貯金成績は頗る好く、而も預け入れの口數は二千八百六十八口といふ多數で、金額は一萬八千五百五十九圓十一錢に達し、月毎に成績良好の傾向である一般の事務統計左の如し

通常郵便物

種別	受入	拂出
爲替	[illegible]	[illegible]
貯金	[illegible]	[illegible]
振替	[illegible]	[illegible]

マラリヤ豫防

鐵嶺名物のマラリヤも滿鐵の防疫施設完備と共に著るしく減少し最近は年々二三名の患者發生に過ぎないが駐箚隊でも兵營附近を撒布し蚊群の發生を防ぐ爲め滿鐵から石油百八十六罐を購入したが近く到着次第撒布する筈と

遼陽

城壕川の築堤 一萬九千圓で 七月中旬竣工

遼陽本町東側の城壕川は鞍安以北が數年前改修され、其の以南は築堤のみであつたを本年度石材護岸に改修することになり、七日本社で入札の結果一萬九千四百九十八圓で吉川組に落札七月十五日迄に竣工すと

士官學校生來遼

陸軍士官學校滿洲戰史研究團一行二百七十餘名は廿六日頃來遼首山橋山及び遼陽附近を視察する豫定なりと

人事

▲酒井憲兵分隊長　八日首山往復
▲長山警察署長　同上
▲見坊地方事務所長　同上
▲田中驛長　同上

營口

砲兵隊の演習 十四日午後四時から開始

海城砲兵隊では十四日營口に來り演習を行ひ同夜は當地に宿營し、大石橋、分水、龍泉舖を經て十六日歸隊の筈、演習は十四日午後三時より四時の一時間、地域は南北本街、入船街、寶來街等にして、終了後同所に於て野砲、觀測器材化學兵器、機關銃等を一般に供覽した石橋中尉說明をなす筈である

輸組定時總會 十三日開催

營口輸入組合では十三日午後三時から公會堂に於て第二回定時組合員總會を開く筈

敬老會 十五日營口座にて

十五日營口座に於て開催の敬老會は同日午後五時から被招待者一同營口神社に參詣、記念の撮影をなし同六時から開會に決し、關本所長開會の辭、餘興は小學生の軍艦マーチ、童謠、武藏野、松月の舞踊、靜の家女優團の出演等

鞍山

吾等のあとつぎ 兒童を慈しめ! けふは兒童愛護デー 午後は小學校で演奏會の催し

鞍山滿鐵社會係では十日今期の兒童デーを開催、兒童愛護に關するパンフレットを全鞍山に配布し、午後零時三十分より小學校講堂に於て大連音樂會の演奏會を催し一般父兄にも聽かせ、鮫島社會主事の兒童愛護に關する談話がある筈

兩警官への 弔慰金 至急申込れたい

鞍山鐵西平安里附近に於て賊彈に斃れた故巡查部長橫井善一氏並に重傷の陰巡捕に對する弔慰金及び見舞金は總計一千四百四圓五十錢に達したが、近く締切り橫井部長の遺族及び陰巡捕に贈る筈である、此の際至急地方事務所庶務係まで申込まれたしと

野球優勝戰は 愈よあす決戰 午後二時より運動場で

全鞍山各團體對抗の野球優勝戰は九日午後四時より滿鐵グラウンドに於て實業對製造課で開始、勝者と五星會の對抗戰は十一日午前八時より開始し、工務課事務課の對抗あり最後決戰は午後二時よりの豫定である

病院患者減少

鞍山滿鐵醫院の入院患者は昨今漸だ少く例のアミーバ赤痢患者も出ず毎日三百人を超えて居た外來患者も僅百名足らずに減少したと

鞍山中學の 春季運動會 海軍記念日に

鞍山中學校では來る二十七日海軍記念日當日全校生徒の春季運動會を開催し、一般生徒を主とした運動競技を盛に行ふべく目下準備中

全鞍店員の 慰勞會 實業協會主催で 來月一日開催

鞍山實業協會では六月一日滿鐵苗圃に於て全鞍山店員慰勞會を盛大に催すべく、植田繁造、大黑新治郎、酒瀨川傳太郎、阪元藤三郎、相谷彥三郎の五氏を委員に擧げ目下準備中である

五星會運動會 二十五日擧行

鞍山五星會では二十五日中學校々庭に於て春季家族運動會を開催すべく目下準備中である

輸組役員會

鞍山輸入組合役員會は八日午後三時より實業會堂に於て開催、左記事項を議了後林地方事務所長、松木警察署長井之上郵便局長其他顧問を招き親睦に於て懇親宴を張つた

一、四月業績報告
一、總會開催の件
一、增口及規約一部改正の件
一、昭和五年度豫算審議の件
一、聯合總會へ提出議案審議の件
一、店員慰安會開催の件

全滿醫學大會出席

全滿醫學大會は來る十八日撫順に於て開催せらるるが、鞍山醫院から〆醫長並に醫員多數出席する

撫順

水利問題解決 公司より稅金を拂ふ

新屯、龍鳳、萬達屋各部落約三百町步の水利問題に關し鮮農大擧して領事館に押掛けた事件は、八日朝鮮總督府清水理事官來撫、撫順署高等係と打合せ、農業公司責任者野中、古賀、田村の各氏を招致、理事官領事館の特別の斡旋で漸く金融方法につき同公司より中國地主や水利局に支拂ふべきものを支拂ひ目出度く解決した、之で鮮農も公司側も救はれた譯である

萬國動力會議に 大橋氏出席

來る六月十五日ベルリンに於て開催される萬國動力會議に撫順發電所長大橋鐵三氏が出席する、右は世界的事業である撫順式乾餾法に依る製油工業の研究課程、現況等を發表する爲である尙同氏は動力會議終了後は英獨等の工業界を視察する筈

安東

カフエー二人殺犯人に 懲役十五年求刑 檢事の同情ある論告

新義州府民を驚愕せしめたカフェー鶯樂の二人殺し事件の公判は七日新義州地方法院第一號法廷に於て開廷された、午後十二時十五分被告は悄然として着席、傍聽者は開廷二時間前より押寄せて立錐の餘地もない、裁判長より型の如き訊問をなし直に犯罪の審理に入る、終つて檻本檢事立つて刑法第百九十九條を適用し懲役十五年を適當とすると被告に同情ある求刑をなし神保辯護士の辯論に移つた

激戰夜に入る 守備隊の警備演習

既報獨立守備第四大隊は去る五日より警備演習を開始したが七日は安東驛を中心として午前七時より第六大隊參加のもとに一大警備演習を開始、午後一時頃よりは白熱し小銃、機關銃、大砲の音凄じく數千の觀衆殺到、演習は夜に入るまで繼續された

吳服商が 商品を脫稅 毎年數萬圓を

新義州府內某一流吳服店では過日安東縣から多量の反物を輸入するに際し價格表を二樣に作り一は原價を示し他の一は關稅を課せられても採算の出來る價格表を提示して課稅を受けてゐたとの事で新義州稅關に押收されたと、尙從來も毎年數萬圓の脫稅を行つてゐた由で目下嚴重取調中である

共販の成績 頗る良好

安東驛前共同販賣所は四月二十五日開舖以來成績極めて良好で最近では日々二三百圓程度の賣揚があるが近く內部の電氣裝置が完備すれば夜間も相當賑はふものと觀られてゐる

文榮堂新店舖

市場通文榮堂書店では今回二階建煉瓦造の新樣式店舖を建築の爲め三日から筋向ひの假營業所に移轉した、新築店舖は二階廣間を一般の集會其他に開放し屋上にはベランダを設ける、竣工期は九月末であると

新義州の春祭

新義州の春季大祭は來る十、十一兩日に行はれるが、平安神社の祭典並に御輿渡御式あり、境內では活動寫眞及び奉納相撲など例年の通り盛大に擧行される事となつて

危險な野犬

最近安東市內に野犬出沒、五日午前十一時頃四番通三丁目附近に於て清原秀雄(一〇)六日には同所通行中の鮮人某、同日濱通に於ては支那人が何も野犬の爲め咬まれた

禁制品違反常習犯

六日奉天發安東着の第五列車內にて禁制品密運搬常習犯を檢事の上現品を押收した、犯人は奉天支那街居住の列車內販賣員李杏林(二七)にて同人は安東の同類と謀し合せて右の犯罪を續けてゐたものと見られ、目下嚴重取調中

苦闘を語る
創業廿周年を迎へて
南滿洲瓦斯株式會社に 富次専務を訪ふ

（終）

然るにこの値下に刺戟されて二三年後には内地瓦斯會社が二圓四十錢を二圓に下げ、東京だけは一圓八十錢に値下するに至つたが、日本に於ける瓦斯料金の値下斷行は當時の滿鐵瓦斯作業がその最初となつてゐる、其後歐洲戰亂により炭價の暴騰はその極度に達し、全世界の瓦斯會社にとつては所謂受難時代を出現し、日本の各瓦斯會社も一躍、三圓五十錢乃至三圓八十錢に値上の餘儀なき立場となつた。

▽―△

また自分たちも已むを得ず二圓六十錢に値上したが、多くの會社は今日尚この料金を保つてゐる、これは炭價と勞銀との關係に引ずられてゐるためだが、東京は大都市だけに需要戸數の關係上當時より幾分値下してゐるも、自分たちの料金と殆どその差がなく從つて東京と大連とは瓦斯料金に於て日本一に安い都市となつてゐる、

▽―△

然し創業當時の大連は所謂ダルニー時代の漁村にいくらか毛がはえたやうなもので、建物もバラッ

梁大井とは知らずに足を辷らして天井を踏み抜き眞逆樣に墜落したなどのエピソートも決して少くない、明治四十五年だつたと思ふが丁度その年は工場擴張に迫られてゐたけれど、豫算の都合で一ケ年繰延べといふことゝなつた、然るに皮肉にもその年から急に瓦斯需要量が激増し年末の供給が果して順調に行くかゞ危ぶまれたゝめ、已むを得ず鐵製レトルトを應用して増産計畫をたて辛うじて急場を間に合はせたこともあつた

▽―△

兎も角二十年間、他の同業者がよくやる事變をホントに一つも起さず、また需要者にも一回として迷惑をかけず、從つて何等非難の聲も聞くことなく來たことは、全く從業員の注意と緊張した氣分、即ち自らの仕事を各自が愛し、且つ同僚を愛し合つて與れたことによることで、創業當時から終始一貫今日まで瓦斯事業に沒頭して來た自分としては深く感謝してゐる次第である、

▽―△

殊に事業の性質が頗る地味であるため就業員としても惠まれない處が多々あつたゞらうけれど、全員一致して二十年間一糸も亂れなかつたことは感激のほかない、勿論今後も一般家庭のため最善の努力を盡して行くが、日本人家庭では燃料問題としての瓦斯は既に徹底してゐるも、支那人方面が未だ徹底するまでに至つてないため、「なるほど」といふところまで十二分に宣傳して見たいと思つてゐる、これはいふまでもなく支那人家庭の燃料問題解決であり、且つその家庭經濟のためであらうと信じてゐる【寫眞は開業式當日餘興場の來賓】

閻氏の力も及ばぬ 勞働組合の强さ
官業從業員は優待
遊んでる天津の電話交換手

支那の勞働組合は、蔣介石だらうが閻錫山だらうが軍閥の絶對權力を以てしても容易に動かすことの出來ない强固な團結力を持て居る最近閻錫山は北方政府樹立準備と對南京政府の討蔣軍事に莫大の軍費が必要なので

山西派 管轄下の全機關—各省政府、市政府、縣政府其他あらゆる機關に經費三割減、つまり職員俸給三割減を申し渡した、所が、郵便、電報、電燈、電話などの官營機關の從業員はその限りにあらずとの減俸免除令が出て、電話交換手や電燈工夫などが下ッ端の役人より

給料も 多く、ノホホンで暮してゐるといふ奇觀を呈してゐる、これは減俸による工會の活動から勞働大衆の反感を買つては不利だとの考へから來たものであるが、その最も適例として擧げられるのは、天津の電話が普通の呼出しから自働交換機に替つたのが今から

一年半 程前で、これは必然的に數百名の交換手が犧牲にならねばならぬ筈だが、自働交換機になつて一年半、未だに一人の解雇者もなく、通常呼出機當時の交換手がその儘居殘つてゐる、天津の電話は各國租界が主で、現在約六千の自働交換機が出來て居り、尙支那町に四百足らずの舊機があるのだがその僅かに四百未滿の

呼出機 に五百何十人かの交換手がブラ〳〵集つて居る、普通一人の交換手が四十機位の交換を捗び得るのだから、百五十人あれば交代しても充分の所を六百人近くが頑張つてゐるのである電話局では彼等の工會の力を怖れて

解雇も ならず・みす〳〵賃銀を支拂つて雇つて置かねばならぬ、これでは電話事業の改善も出來ず故障百出なのも無理がない斷つて置くが支那の電話交換手は全部大の男で、所謂交換手といふ言葉から來る

女性の 概念は支那では生れて來ない、男なればこそ强力な工會を楯にして、流石の閻錫山をして工會員の減俸免除が、全機關職員三割減俸令の但し書となつて來るのである

五月の問題

印度の外貨排斥

インドの反英運動に伴ひ、外國綿布の不買運動が猛烈になつて來た、最初ボンベイに始まつた此の運動は漸次奧地にも及びデリー・アムリツア・ラホールその他各地の綿布同業組合は三ケ月乃至一ケ年間外國綿布不買の決議をした、最近にはデリー綿布商組合からマンチエスター、橫濱等の商業會議所に對し、インド向綿布の積出しには今後大いに警戒を要し、買手側と相談の上で積出され度しとの警告を出した、此の運動は英國品排斥が主であるが、我が國としても等閑視する譯にはいかない。

日支關税協定

三月十二日假調印を了した日支關税協定に關する交換公文は、四月三十日我が樞密院本會議に於いて承認されたので、重光代理駐支公使と王正廷外交部長の間に正式調印が行はれる事となつた、此の協定の結果、支那よりの輸出品は二分五厘の附加税が賦課され、大連港よりの輸出品も愈々五月十日から適用され從來より百斤當り四錢七厘の増加となる。

日支條約改訂

かねて交渉の緒についてゐる日支通商條約改訂の第二問題、即ち治外法權撤廢問題に就いて近く討議が始められるやうな報道が傳へられゐるが、南北對立の形勢次第によつては、又一頓挫かも知れぬ

支那對日感情

南北分立の影響か、最近南方國民政府の對日感情は漸次良好となりつゝある、今度我が副島義一博士は同政府の法律顧問として招聘される事になつたが引續き各方面に日本人顧問を招く意思がある。

當年上海の覇者今何處?
歐洲大戰の勇將達
其の後の消息物語

（一）

歐洲大戰が獨墺軍の完全な降伏に依つて目出度く休戰の幕を閉ぢてより既に十餘年を經過した、未曾有の戰禍に戰慄した世界は恒久平和の樹立を目ざしてワシントンからジユネーヴへの道を辿つた、そして遂に國策の具としての戰爭を抛棄するケロッグ不戰條約の成立を見るに至つた「一九三〇年ロンドン海軍條約」は此の不戰の條約を實行に移した第一歩である

世界の輿論は斯くして 滔々相率ゐて軍縮の大勢に傾く、曾て歐洲大戰の當時驍々たる武勳を樹てた各國の勇將のその後は、此の著るしい世界の動きに照して特に興味があらう。最近ドイツ海軍の鬪と言はれたフオンターピッツ提督が八十二歳の高齢を以てミユンヘンで逝去したドイツの海神と呼ばれた提督が、大戰當時勇猛果敢、潛水艦戰を決行し聯合軍の心膽を寒からしめたは人の知るところである

一九二〇年 休戰後幾許 もなくして死んだ英國海軍の名提督フイッシャー卿に次いで鬼籍に入つた海將である、フオンターピッツ提督は大戰當時兩交戰國の海將中の最高齢者であつた、提督の好敵手英國の提督ベッテー卿は最も弱年で今猶六十歳に達しない、英國は國家の危機に一身を挺した憂國の名將に報いること極めて厚く、ベッテー提督は戰後「ボロデールのボロデール子及び北海、ブルックビーのベッテー男」と言ふ

嚴しい稱號を與へられ 更に議會の議決により十萬磅の功勞金を與へられた、ベッテー提督に次で英國海軍の巨星はジエリコー伯、即ちジョン・ラシユワース・ジエリコー提督である、當年七十ジユットランド海戰の功に依つて五萬磅を授與され、貴族に列せられた「スカパのジエリコー子及びサウザンプトンのブロスカ子」と言ふのがその稱號である、大戰當時活躍した米國の提督はウリアム・エス・シムス、及びヒユー・ロドマン兩將である

兩提督とも今は豫備役 に編入され、シムス提督はロード・アイルランドのニユーポートに、ロドマン提督は故山ケンタッキーのフランフオートに、悠々自適の日を送つて居る、シムス提督は遣歐米國艦隊の司令、ロッドマン提督は當時北海に於て英國の指揮上に活躍した米國第六戰鬪艦隊の司令である

家庭とコドモ

健康な血液は美容の第一要素
美しくなりたい人は日光に浴せ

血色が良くて生氣のあることは美容に缺くことの出來ない要素で、如何に整へる容貌でも血色が惡くては美感は起りません、又如何に進歩した精巧な美容術でも健全な血液なしでは容色に生氣を與へることが出來ません、從つて

美容は常に 健全な血液を必要とし、これなしに完全な美

いやうに長く地下室や鑛坑等で働いてゐる人は蒼白くて生氣に乏しいものです、ですから美容を望めば屢々戸外にあつて日光に浴することが必要です、終日日當りの惡い室内に蟄居して美容を欲するのは恰も樹によつて魚を求むるに等しいとも言へませう、美容には鮮紅の血が血管内に流れてゐることを要するが、それには酸素に富んだ新鮮な空氣を充分に呼吸することが肝要です、詳言すれば呼吸によつて酸素が血液の血色素と

充分に結合 して多量の酸化ヘモグロビンが成生することが大切で、炭酸瓦斯の少ない空氣を呼吸すれば血は暗赤色となり、血球を破壞して甚だしく血色を害します狹い所に多人數雜居してゐる場合種々な化學工業に從事してゐる人々の血色の惡いことは萬人の知るところで美容を望む人は屢々森林田園、海邊に行き新鮮な空氣を心行くばかり吸はねばなりません、又血液を健全にする爲には適度の

運動が必要 です、即ち運動によつて新陳代謝が盛になり多量の血液が消費されると同時に新しい血液が補充されます、これに依り常に多量の生き生きとした血液が全身を循環し、從つて血色がよくなります、これに反して終日徒食安逸を貪る人は血液の消費量が少い代りにその補充量も少くその爲に古い老いた血球が比較的澤山にあることになります、血も亦

一種の生物である以上老たものが澤山で

若いものが 少くては生氣の有りやうがありません、運動家の血色が生き生きとしてゐるのに老人や座食してゐる人の顏色に生氣が見られないのは全くこれが爲です、食餌の選擇も亦血液の保健上必要な條件であります、榮養學の立場から言へば血色を良くする爲には主榮素（含水炭素、蛋白質、水分、鹽分等）と副榮素（ヴイタミン）とを體重、年齡、職業活動の程度等に應じ適當な配合と分量とを以て攝取することにありこの目的を達する爲の

食品の撰擇 配合、調理法等に就いては茲に申上げませんが要點は哺乳兒には母乳が最も適當な食餌で成人には季節々々の新鮮な食物を彼是と取交ぜて消化し易いやうに調理し、腹八分目に攝ることゝです、殊に血液病を豫防し常に血色を良くしてゐる爲には綠色甘藍「マッバウド」卵黄、菠薐草、牛肉、豌豆、にんぢん、白豆馬鈴薯等を必要とし、新鮮な野菜類、林檎、梨、柑橘類等を缺かしてはなりません餘り美食したり、或は偏食したり粗食したり又は過食、減食したりすれば必ず血液に變化を起して血色を害ひ、永い間には重い血液病となつて著るしく美容を損ねる結果を來します（和田醫學士談）

▲童詩▼
おうま
大廣場校三年　河野松生

でんきこうえんの
うまにのつたら
すうと
うごきだした。
そのときどこかで
おんがくが
きこえた。
タラララッタ
タンタン
タラララッタ
タタン
わたしも一しよに
うたつちやつた。

日蔭の草木 は絕對に望まれません、血液を健全に保つには全身の無病健全を要することは勿論でありますが、殊に充分な日光、新鮮な空氣、適度な運動と適當した食餌等が必要です、先づ日光は血色を良くするに最も必要なもので、血球や血色素は日光の直射がなくては充分に成生しません

大チヤンノ モウジウガリ　(9)
ヘルミチ作　ジラウ畫

「ヒツポダ　ヒツポダ」
「ズイブン　オホキナ　ヒツポダ　ナ」
ドジンドモ　ハ　カハ　ノ　ナカ　ヲ　ユビサシナガラ　ワイワイ　サワイデ　キマス　ソコヘ大チヤンタチノ　ジドウシヤ　ガ　ヤツテキマシタ。
「ナンダ　ナンダ？」
大チヤン　ハ　ジドウシヤ　ノ　ウヘニ　ノボツテ　ドジンドモノ　ユビサスハウヲ　ナガメルトフカイ　カハ　ノ　ナカニ　オホキナ　カバ　ガウイタリ　シヅンダリシテキマス　大チヤン　ハテツパウニ　テヲ　カケマシタ。

趣味の挿花（下）
◆……花道の眞諦……◆
三好洞石

▽藝術は△ 美的感情の發現であり知的感情である事は既に世間知悉の事で此の二者の內で先づ知的感情としての藝術より得る所が多い樣でありますので此の點を述べる事に致しませう、例へば櫻の花を描いた繪で、櫻の知識を與へ又梅の花を描いた繪で梅の知識を與へるなどは先づ繪畫が第一であります、次に詩文や戯曲によりて未見の經驗人生の秘奧を知らしめる、即ち藝術は過去現在未來を通じ靈魂宇宙とも交通し得られる鍵、我々に大きい

▽効果の△ 範圍を持つてゐる、故に知的教育にも多くの藝術的構式が用ひられる、教科書から繪畫と文學を除いたなれば殘る所によりて得る所は僅少であらう、次に藝術の道德的効果の直接と間接の關係に就いて述べて見ませう直接効果と云ふのは藝術の內容が道德的であり之を鑑賞する者が道德的教訓を得る事である、例へば忠臣孝子を描いた繪を見る者に忠孝を教へるが故に小學校の兒童の教育として効果がある、又「先代萩」の淨瑠璃を聽くとか芝居を見て政岡親子の忠節を感じ「壺坂」の淨瑠璃なり

▽芝居を△ 見てお里の貞節に教訓を得る芝居や淨瑠璃も社會を道德的に導く有力な教材であります、而して夫等の教訓は藝術の內容となつて居る爲に換言すれば教訓が藝術の形式に包まれて居る爲に其の効果を增す事を注意して貰ひたいのであります、露骨に教訓だけを與へ樣とすると教訓は大抵無味な樣であるが爲に受入れられない、夫に藝術と云ふ形式に包まれると愉快を與へながら愚鈍な者にも受け入れられる、例へば忠義を盡せと云ふよりは楠正成の繪を見せるとか

▽先代萩△ の淨瑠璃なり芝居を見せる方が効果を擧く文學する、花道は道德的な知的な藝術である、從つて他との混同を許さないけれども一般藝術の効果を知つて子弟を教導せねばならぬ、故に花道家は藝術の知的なり道德的なる方面を理解し往々耳にする不道德的な事のない樣に努めて注意する事を要する次第であります

新刊兒童教育書紹介
▲理科教育（五月號）國家の盛衰と理科教育の振興、美の話、科學思想養成の實際方案に就ての座談會、史實より見たる光その他（四十錢、東京市小石川區雜司ケ谷理科教育研究會）

カメラ遍歷
水產試驗場の卷【下】

「へーえ、滿洲にも日本人の漁師が居るんですか」など目を丸くする人がある、ふざけちやいけない、市場のタヽキに水をぶつかけられて溜よく頭を並べてゐる魚といふ魚はおほよそ日本人の漁師がこゝいらの海から獲つたものなのである、現在關東州內に板子一枚下地獄のきわどい生活をしてゐる日本人漁師は約三百人、これらの漁師はたいてい五六十噸位の發動機船を所有して手繰り網やトロール網を使つて海の底をひつかき廻してゐるのである

◆　◆

手繰網やトロール網にかゝつて來る魚は先づ此の頃盛んに獲れるエビやカナガシラを始めとして五月から六月にかけてとれる鯛、それにカレヒ、ヒラメ、グチなどの底棲魚類、これらの魚に取つては深い海の底も決して絕體安全のユートピアでは有り得ないのである、そこへ行くと支那人の漁獲法は頗るマンマンデーだ、彼等はたいてい舊來のはひ繩を使つてゐる、長い繩に結びつけた澤山な針にエサをつけそれを海に沈ませて魚の食ひつくのを氣永に待つて居やうといふのだから頗る悠長である、斯うした時代遲れの漁獲法を唯一無二の方法として墨守してゐる支那人漁師に取つて手繰網やトロール網が一大脅威であることは無理もない

「何とかして俺達の漁場から手繰網やトロール網を追拂はなければ俺達の顎は干上つてしまふ」と彼等支那人漁師どもは暗夜密かに大きな石や岩を漁場の要所々々に投げ込んで網を引けないやうにしたりする、兎に角海上は誰の所有とも極つてゐないのだから轉がつてゐる寶は先に取つたものゝ所有だこんな有樣だから漁場では陸のものゝ想像も出來ないやうな殺氣立つた大爭奪戰が四六時中續けられてゐる

◆　◆

手繰網やトロール網で海底から掬ひ上げたあまたの漁獲物は船の底の貯藏室に頭を揃へてきれいに並べ、細かく碎いた氷を入れて運送する、こゝで一寸氷鯛と生鯛との說明をして置かう、氷鯛といふのはよほど遠方から氷につめて運送されたもので生鯛といふのはすぐ此の近海で捕れたものゝやうに考へられるが、生鯛といふのも氷鯛といふの結局獲れる場所は同じことで唯船で運んで來る場合氷づめにして來るか生簀に入れて生かして來るかの相違なのである、生鯛が氷鯛より値段が高いといふのもつまりは運搬上の手數が違ふからことである

◆　◆

四月の初め頃からボツ〳〵海老が市場に出るが、それは鉄嶺の山東高角から南方約二三十哩の石島灣沖で獲れるやつだ、此の頃になると漁場がぐつと渤海灣に入つて龍口沖あたりに海老が集つて來るそして海老がだん〳〵少くなる頃から同じ網に鯛やサワラがかゝつて來る、鯛の安くなるのもその頃からだ

◆　◆

滿洲名物の黃花魚の漁獲も春が最も多い、漁場として有名なのは熊岳城沖で漁獲高から見ても鯛に次いでだ、しかし日本人は値段の安い黃花魚を食はない「どうも日本人は餘りに傳統的でいけませんね、料理の仕方によつては随分うまく食へるんだが、さて買つて食ふものが殆どない、そのくせ支那料理に出たりする黃花魚を無條件で賞讃するんだからやり切れない、とにかく主婦の頭を大いに開發する必要がありますね」と試驗場員がグチを言ふのも無理はない

◆　◆

日本人は新らしがり屋のくせに極めて傳統的だ、味噌汁を吸つてマグロの刺身を食つてそして疊の上に寢なければ承知出來ない人種なんだ、だから滿洲に來ても滋養價があつて値段も安いカナガシラだとか黃花魚だとか太刀魚だとかを顧みやうともしない、滿洲に來たらやはり滿洲土產の魚を食はなければ嘘だ、滿鐵家庭研究所では在滿邦人が滿洲產の安い魚を食はないのを遺憾としてこれらの魚の料理法を研究してゐるさうだが、生活改善、家庭經濟の合理化もこんなところから入つてゆくのがほんたうだらう

◆　◆

關東州の養殖事業としては先づ牡蠣が有君である、最近では海上に浮んだ筏から針金を垂れその針金に牡蠣を附着せしめて立體的な養殖をやつてゐるが場所の經濟から見ても頗る好結果を納めてゐるさうである、但し淺海利用の養殖としてはアサリなどは頗る有望、關東州の漁業に於て最も漁獲高の多いのは鯛が第一位で年額約八十五萬圓、次は黃花魚の約八十萬圓それに次いでは鰈の約五十五萬圓などで太刀魚やヒラメの四十萬圓も馬鹿に出來ない

寫眞說明
上＝標本陳列室、關東州近海で獲れるあらゆる魚族が網羅されてゐる
下＝罐詰製造室

探偵小說 **女妖**（85）

江戸川亂歩作　横溝正史

伊藤幾久造畫

古塔の老婆（五）

引き千切られた謄本を見て、浪子は思はず息を呑んだ。

彼女はわざ〳〵このシャトワール村までやつて來たのは、たゞこの河内兵部の子孫が知りたいためであつた。總ての謎はこの謄本の中に包まれてゐる。彼女は今一息でこの謎を解き得る處迄やつて來たのだ。しかもその肝腎のところで、又してもまんまと敵のために出しぬかれて了つた。

浪子が地團駄を踏んで口惜しがつたのも無理はない。

「爺さん、爺さん――」

浪子は急がしく奧へ向つて聲をかける。

「はア、何んだね」

老役人は鷹揚さうに奧から出て來た。

「今日、此の謄本を見に來た人があるつて、貴方さつき言つてましたね。どんな人？」

「さうですな、一人は背の高い、外國人らしい紳士でしたよ。その人が朝一番に飛込んで來ると、この謄本を見せてくれといふので、その人が歸つてから、直また三十ぐらゐの立派な紳士がやつて來ましたよ」

「さう――ぢや、そのうちの一人に違ひない。爺さん、ほら、御覽なさい。此處ンところが三頁程千切れてゐますよ」

「ナ、何んだつて、謄本を破つたつて？」

爺さんは思はず顏の色を變へた。

「や！成程、本當だ。ひどい事をしやがる。こりやきつと、一番初めに來た外國人の仕業に違ひないこん畜生！」

「爺さん、その人、どうしたの？屹度直に歸って行つたの……」

「さうだ。彼奴、この塔の中を見物させてくれと言つて登つて行つたが……まだ出て來ねえやうだ。野郎ふん捕まへてやらなけりや」

老役人はさう言ふと、そゝくさと部屋の中から出てくると、薄暗い、埃つぽい階段を登つて行つた。

浪子もむら〳〵と沸き起つてくる好奇心に驅られて、その後から續いた。この塔といふのは、その昔の物見櫓か何かのために建られたものに違ひない。螺線狀の狹い階段が、長く高く續いてゐた。

それが何年となく最早手を入れないと見えて、壁は落ち石はかけて、餘程注意しなければ足許が危ふい。役場の爺さんは、それでも慣れてゐると見えて、老人にも似合はぬ足どりで登つてゆく。浪子もその後から急ぎながら。

「ねえ、爺さん、この塔の中には日頃誰が住んでゐるの？」

「あゝ、お利枝婆さんといふ七十ばかりの婆さんと、その孫娘の小夏といふのが二人、番人の代りに住んでゐるんですよ」

「まア、こんな氣味の悪いところに、よくそんな老人と子供と二人でゐられるものね」

「ナーニ、慣れてりやわけはありませんや、それにこの婆さんといふのが變人で、何でも祖先からの命令で、この塔の守をしてゐなければならんと自分で信じてゐるんでさ」

「まア、この塔を――、祖先からの命令で――？」

「さうだよ。何でも昔この城を建た河内兵部といふ男の子孫ださうで……」

「え？何ですつて？ぢやその婆さんといふのは、河内兵部の子孫なの……」

浪子は思はずさう叫んだ。

何かしら不安な氣分が彼女の胸の中にむら〳〵と湧き起つてきたと、その途端、塔の上の方から一種異様な叫び聲が、一際高く、長く響いて來た。

その聲が、埃つぽい階段の上から、渦巻く樣にきこへて來た時、役場の老人も浪子も思はずぞつとして足を止めた。

それは何か、斷末魔を思はせるやうな不氣味な聲だつた。

三百年前の『蓮の實』と『粘菌』獻上の光榮

秩父宮殿下のお目にとまつて 大連第一、二中で手續

秩父宮殿下御假泊所たるヤマトホテルには各學校生徒の圖畫、手藝品、博物蒐集品等の成績品を陳列し、八日午後九時、殿下が滿洲館における滿鐵の御招待宴からお歸りと共に御覽にそなへたところ宮殿下にはいと御滿足に思召された模に拜したが、そのうち、大連第一中學校より出品せる粘菌と稱する

原生植物 について同校小林教諭が御説明申上げたところ、御意にかなひお持ち歸りの意をお洩らしあらせられたので、同校では有難き思召に感激し直ちに獻上の手續をとつた、なほ大連第二中學出品の同校淸教諭が普蘭店にて採集せる約三百年前の蓮の實及びそれが自然發芽の押花にしたものをお目にとめさせられたので同校にても直ちに獻上の手續をとるべく一中の粘菌と共に九日午後一旦

關東廳に 送り、同廳を經て殿下のお手許に差上げられる筈である、なほ獻上すべき蓮の實は普蘭店の農家劉雨田氏の畑、泥炭層より採集されたもので、二、三百年を經た今日なほ發芽力を有し、敎育專門學校教授大賀一郎博士がこの蓮の實の研究によつて博士論文とした程の珍しいものである、洩れ承る處によれば殿下が斯く博物採集物にお目をとめさせられたことは御兄君陛下が生物學に御造詣深く興味を持たせられるため

陛下への 御參考に思召された爲めと拜察され、今更ながら殿下の御兄弟宮への御情愛深きことに一同恐懼感激してゐる

我國特殊の原生植物 粘菌について 小林教諭語る

出品物について殿下に御説明申上げ且つ粘菌獻上の光榮に浴した一中小林教諭は語る

粘菌は植物ではありますが生物として全く下等なもので動植物の境にある樣なものです、獻上のものは三種類でありますが、これは當校五年の溪正夫君が昨年八月安奉沿線で採集したものです、これは胞子が發芽せば粘液體樣のものとなり、朽葉等のうへを匍つて歩いて小さいバクテリヤを食べるのですが成長すれば固定して子囊體を出します松等に寄生して居り世界に三百種あるうち日本に二百十種以上もある我國特殊のものです

なほ金州公學堂では生徒の作品たる木細工の煙草盆、刺繡したテーブル掛を出品したが殿下に獻上せんと目下關東廳に伺ひを立てゝゐる、若し許可あれば前記獻上品と同樣お手許に差上げられる筈

全市學生らの體操、競技を台覽

大連運動場に御成

八日午後三時三十分大連各團體の御親閲を終らせられた秩父宮殿下には再び自動車に召され、スポーツの宮さまとして畏くも大連運動場に成らせられた、運動場三方オープンのスタンドは各學校生徒、在郷軍人、青訓員、少年團で埋めた、午後三時三十分殿下が御到着

會場内の 奉迎者は一齊に起立脱帽して御迎へ申し上げた、殿下には御影池學務課長の御先導にてメーンスタンド正面上段の設けの席に御着席滿鐵音樂會の君ケ代奏樂裡に茂木善作、宮畑虎彦兩氏の手でスタンド中央前二本が檣頭高く日章旗掲揚された、かくてラグビーは岡部平太氏其他は山本壽喜太氏御説明役を承り直ちに豫定のプログラムに入つた、神明、彌生、羽衣、女子商業四高女の生徒約

千九百名 の胡蝶のやうなマスゲームは津上ツヤ女史の指揮にて見事に行はれ、公學堂生徒、尋常科男女、兩生徒のリレーレースも終り、坂本次人氏指揮の全市小學校男生徒公學堂生徒等の合同體操あり、次いでリレー出場選手および滿鐵、醫大ラグビーチーム競技役員一同は中央御座所直線コース上前に整列、殿下から御會釋を賜り、同四時二十分より滿鐵對奉天醫大のラグビー戰に移つた、試合は同五時二十五分終了したが殿下には終始御熱心に台覽あらせられ再び全員起立の裡に御機嫌麗しく同三十分御退場遊ばされた

御巡覽畫報

大連工場御巡閲(×印は殿下)

(1)譚家屯大廣場における御親閲(2)同上分列式(3)大連運動場における國旗掲揚式(4)

台覽競技の成績

▲公學堂男子四百米繼走

一着 西崗子チーム(周家頼、王宗文、劉汝堂、王士金)五七秒六

二着 伏見臺チーム(盧雨春、李楨芳、張春霖、桃田智)

三着 沙河口チーム(孫世章、李福升、劉入財、劉思福)

四着 土佐町チーム(潘泰鑑、楊鳳桐、趙洪義、陳德林)

▲小學校尋常科女子四百米繼走

一着 春日チーム(飯島久米子、山田八重子、沖野陽子、國廣信子)一分〇一秒四

二着 朝日チーム(秋元德子、平原正子、吉野朝子、内田節子)

三着 聖德チーム(日塔滿子、西末子、内山智恵子、入江直)

四着 大正チーム(鈴木喜代子、江頭ヨシノ、熊谷利子、牧山ユリ子)

▲小學校尋常科男子八百米繼走

一着 伏見臺チーム(吉村健治、山口幸男、石河陽二、中村置士)二分〇六秒二

二着 聖德チーム(河野治郎、久保田正登、喜丘山鎔吉郎、川上久芳)

三着 朝日チーム(山田信輝、折井宏、奥爵一、池田大作)

四着 常盤チーム(倉橋榮造、横田優、河田匡耟、池田融)

▲全滿鐵對奉天醫大ラグビー

滿鐵 11 3 医大
　　 　5 6

(主審渡邊諒氏、線審大石強、井卓爾兩氏)

經過

◇前半 醫大トスに勝ちプール側に陣し滿鐵キックオフ▲直に滿鐵攻入りしも醫大も盛り返へし二十五ヤード内に入りしも田中の强張りとFWのドリブル効を奏して敵廿五ヤード内にもり返せしもトロップアウト、四分六分共にチヤンスありしも成らず九分醫大一擧米港のダツシユでゴール、ポスト前まで攻入りしも成らず漸く十一分滿鐵の反則でプレスキツクを得西内プナルチーゴール成り三點を先取す▲十六分滿鐵廿五ヤード内で醫大の反則でプレースキツクを田中ゴールをねらひしも球左ポスト近くに落ちしを高橋とび込んでトライゴール成らず▲廿一分滿鐵敵十ヤード附近ルーズの球井上高橋と渡りしも成らず二十五分ポスト前ルーズの球田中浦野と渡り左ポスト、フラツグ中間にトライ、ゴール成らず▲二十八分峰尾十ヤードドライン附近よりロングキツクして二十五ヤード内に攻入り後醫大TBパスを浦野インターセプトし左ポスト近くにトライ高橋のゴール成るその後一進一退にしてハーフタイムとなる

◇後半 ▲醫大キツクオフせしもセンタースクラムとなり、直ちに攻入り壓迫を續く十分漸く右五ヤード前ルーズの球を弓道もぐつてトライ、ポストにあたりゴール成らず▲後滿鐵FWドリブルで敵陣に攻入りしもチヤンスを逃し廿五分FWパスの後古瀨のパンドを高橋とび込んで左ポスト寄りにトライ田中のゴール成る▲醫大力闘よろしく滿鐵を壓迫し廿五ヤード内で競合ふ廿七分滿鐵の反則で平野ゴールをねらつて成る▲廿八分滿鐵FWドリブルの後田中、浦野、古瀨と渡りチヤンスと見えしも成らず壓迫を續けながら遂にタイムアップとなる

(滿鐵) 月田 手邊 岡 泉 川口 瀨上 高 中野 櫑尾 FW／上平 井渡 辻 HB／今 金野 古井 森田 浦 高峰 TB／FB

(醫大) 田場 下日 居川 村下 井港 島川 野川 内木 FW／中弓 大靑 折熊 今木 酒米 HB／中澄 平立 西 TB／FB

都計や道路施設 歐洲ではモウ行詰り

長澤技師、視察のお土産話

關東廳土木課大連出張所長長澤奎氏は八ケ月の豫定で歐米各地を視察中であつたが、印度洋を經由上海より大連丸にて八日歸連した長澤氏は語る

米國、佛、獨、白、蘭各國を廻つたが道路施設、都市計畫等は歐洲ではモウ擴張されつくして行き詰りの感じだ、結局金が第一でその點では金のあるアメリカが一番好い樣に思つた、新しい好い建物の多いのは白耳義、獨逸に多い樣だつた、自分としてはこの視察によつて得た知識によつて都市計畫、殊に道路の改良に盡したいと思つて居る、更に下水工事は歐洲において非常に發達して居るが是非大連における下水工事も遜色のないものにしたいものだ

西部大連は二割方安

自動車の新料金

西部大連における自動車營業者七名は曩に大連同樣、改正による新自動車賃金表を連名にて沙河口署に提出、同署より關東廳に申請中であつたところ七日附を以ていよいよ認可されたが、從來沙河口市内と稱するものが今回よりは東は長者町より日吉町まで、西及び北は市街と村落境界、南は裡野町競馬場までとして西部大連の區域が擴大されたことになり、同じく七日附を以て認可された小崗子警察署管内の自動車賃金と共に左の如く從前の規定料金より約二割方安くなつた

▲沙河口自動車新賃金 西部六區五十錢、沙河口より小崗子伏見臺八十錢、聖德街より小崗子伏見臺六十錢、沙河口より舊大連市内八十錢、聖德街より舊大連市内一圓、月見ケ岡六十錢、星ケ浦一圓、桃源臺、平和臺一圓五十錢、沙河口火葬場一圓、大連火葬場一圓二十錢、周水子驛一圓五十錢、小野田セメント二圓五十錢、凌水橋附近一圓五十錢、傅家庄二圓、龍王塘四圓五十錢、旅順七圓五十錢、小平島二圓五十錢、金州五圓五十錢

▲小崗子自動車の賃金 舊市内五十錢、櫻花臺五十錢、桃源臺平和臺一圓、競馬場一圓、傅家庄一圓三十錢、老虎灘、星ケ浦一圓五十錢、周水子驛二圓、小平島三圓、金州六圓、旅順八圓

なほ往復料金は約五割増平均であると

社員倶樂部と滿洲館御成

殿下には順路大連滿鐵社員倶樂部に向はせられたが、電氣遊園下廣場の上空には本社の氣球が奉祝の大文字を掲揚して敬意を表し奉つた、後仙石滿鐵總裁代理として大藏理事の「滿鐵の事業に就いて」と題する御講話を聞し召された後、午後六時二十六分夕闇迫る社員倶樂部を御出發、滿洲館における滿鐵總裁御招宴に台臨、御晩餐後午後九時四十分滿洲館より御假泊所の大連ヤマトホテルに入らせられ、玄關より二階貴賓室の御部屋まで寺澤支配人が御導き申し上げた、殿下には御休憩の御暇もなく引續き一室に陳列申し上げた大連各中等學生小學兒童公學堂生の手工圖畫習字の成績品を台覽後滿洲に於ける最初の一夜を過ごさせ給うた

日章旗を引拔く

白耳義船員

秩父宮殿下を迎へ奉り市民歡喜の極にあつた折柄、故意か知らずか戸外にたてられた日章旗を引拔きつぎ廻つたベルジユーム船員が居る、白國汽船コーカシヤ號はアントワープを出帆し神戸、横濱、秦皇島を經て七日大連に入港廿三番バースに繫留中であるが、八日午後同船火夫ヂリツフ(三九)シヨルス(三二)外三名は非番を幸ひ上陸、山縣通りサツポロカフエーにおいて飲酒酩酊のうへ小崗子方面に向つたが、九日午前零時三十分頃何處よりか日の丸國旗をおのおの一本宛手に入れて凱歌をあげて歸船せんとしたが、折よく張込中の水上署員に難なく逮捕された、取調によると同人等は酩酊してゐたものではあるが、その罪は國際的犯意があり『一本一圓で支那人から買つたもので國への土産物にするんだ』と豪語する始末に、水上署でも嚴重處罰する筈

全滿料理業者聯合大會

全滿料理業者聯合大會は八日正午から西園亭で開會、各地同業者二十五團體出席白川大連三業組合長座長席に着き議事に入る、聯合會規約の一部改訂を行ひ、各地提出の議案二十二案は委員附託となり次年度大會主催地は奉天と決定午後五時三十分散會

州内軟式庭球大會

本社主催で廿五日 北公園滿鐵コートで

州内庭球界本シーズンのトツプを切る本社主催第十四回州内軟式庭球大會は左記規定に從ひいよいよ來る廿五日大連北公園滿鐵コートにおいて擧行されることになつた

▲時間 午前九時より

▲申込方法 五月二十日迄メンバーおよび申込金一圓を添へ、本社運動部宛申込のこと

▲使用ルール 明治神宮競技規定に依る

▲使用球 丸菱ボール

▲試合方法 トーナメント式

實業・滿倶野球戰 六月八日から擧行に決定

試合日數を短縮、八日間に三回戰

審判に新田、錢村兩氏招聘

わが滿洲球界の檜舞臺野球戰として好球家の人氣を集めてゐる本社主催の實業野球戰——滿洲倶樂部の對抗野球試合は曩に大連ヤマトホテル特別室に於て實業團側より宮崎風一監督、安藤[illegible]主將、中島識男、薄五郎兩選手、滿倶側より中澤不二雄監督、疋田拾三主將、桁田武夫、片岡秀雄兩選手、本社側より佐藤編輯局長、本村販賣部長、山口事業部長、立上運動部記者參集協議會を開催した結果、左記の日取により昭和五年度の定期戰を擧行することになつた、なほ今回決定された期日は從來擧行されてゐた日曜日毎の對戰を變更して、三回戰を八日間の短時日に擧行することゝなつたから一層この試合に對する興味は加はるわけである

第一回戰 六月八日(日曜日)實業球場で二時卅分より

第二回戰 六月十三日(金曜日)滿倶球場で三時より

決勝戰 六月十五日(日曜日)實業球場で二時卅分より

なほ審判官はリーグ專屬審判の

新田恭一(球審)

錢村辰巳(壘審)

兩氏を招聘することに決定、目下交渉中である、因にメムバー交換は五月二十六日正午本社會議室に於て行はれることになつた

宇佐神宮の神樂奉奏

大連神社春祭り

大連神社の春季祭には宇佐神宮職員による神代神樂十八番を奉奏する事になつたが、これがため同神宮神樂員中野健司氏ほか九名の一行は八日入港のうらる丸で來連した、宵祭には神社、本祭には御旅所後祭には神社の三日間奉奏するが同神樂を滿洲で奉奏する事はこれが最初である、また一行は宇佐神宮々司、男爵到津公熈氏より免狀を有する日本有數の古典神樂で莊嚴そのものゝ如くさながら神代を偲び日本國體の

尊嚴を 現はし思想上にも敎育上にも裨益する處大なるものがある、因に神樂番組は左の通りである

扇の舞▲花神樂▲三氣都和伊命の舞▲手種▲御先▲太刀神樂▲弓神樂▲地割▲大神▲天兒屋根命の舞▲高皇產靈神の舞▲四鬼神▲思兼神▲太玉命▲素盞鳴尊▲手力雄尊▲天目一箇尊▲天鈿女尊▲戸取明神▲番外大太刀の舞 七五三の舞

福田博士逝去

【東京八日發電】福田德三博士は八日午後二時半慶應病院にて逝去した

早慶戰入場券 抽籤で賣る

公平を期して

【東京九日發電】天下の人氣を負ふて十七、八兩日に行はるゝ早慶戰入場券は兩日とも一等一千七百十枚、二等七千五百枚宛だけしか發賣出來ぬので(決勝戰も同數)リーグ側ではファンの希望を容れるに公平を期して抽籤に依り分配する事となつた

片野代議士等有罪

【秋田八日發電】秋田縣第二區選出代議士片野重脩氏及び秋田縣會副議長佐々木孝一郎氏外前縣議七名にかゝる選擧違反事件は七日いづれも有罪と決定し公判に附せられることゝなつた

埠頭信號所が信號規定統一

埠頭信號所では甘井子築港の完成と共に信號規定統一の必要に迫られてゐたが、今回これが細則をつくり甘井子に新たに建設する信號所と互に連絡をとる事となつた、なほ埠頭信號所では右規定の完成と共に海務局港務係とも打合せるところあつた

電協總會延期

滿洲電氣協會では五月二十四日に定時總會開催の豫定であつたが諸般の都合により六月に延期する事になりその期日は追つて決定する由

三吉積罪物語

大庭武年作
浅枝次朗畫

【七】

遠州灘を帆走る或日の事、三吉は不圖平助の後姿を見て、此の頃彼の態度に何となく解せない所がある事を感じた。考へて見れば、平助の以前のやうに快活に話しかける事もなく、たまにヒヨイと瞳を逢はす時なぞ、平助は妙に怖ぢた眼つきで視線を逸らす。そして總てなるべく三吉を避けやうとしてゐるらしい風がある。三吉はその謂はれが何となく氣になつた。

――海は割に平穏で、單調な航海が明け暮れに續いた。多空に寒げに漂ふ孤雲をみては船夫たちの心情は遠い江戸へのノスタルヂアへ誘はれた。船は一二の港に一服しつゝ、小忙しく旅程を急いだ。

人間は秘密を藏し持つ穢苦いものはない。平助の場合は殊にさうだつた。彼はたゞ友達の秘密を偶然に知つただけに過ぎないのだがそれが永久にそして絶對的に隠し持ち續けてゆかなければならないものだと考へると、それは酷い苦務のやうに思はれた。彼の心は三吉の手前なほ二重に秘密を抱く壓迫を感じてその苦みは日毎に募るのみだつた。

そのうちに平助は一層狼狽しなければならない羽目になつた。それは近頃の三吉の様子である。その探るやうな眼、緊張した青白い顔、常に背後から鋭い視線を自分に送つてゐるらしい様子――それらを思ひ合はせると、平助は恰も自分が人殺しの秘密を持つてゐるかの如く心痛した。彼は明らかに自分の胸の中のものを三吉に嗅ぎつかれて了つたのであらうと考へた。

さう考へると、彼は我慢にも沈默は守れない氣持にされた。結果一切を三吉に打ち開けた方がいいと決心したのだつた。

ある夕燒雲の美しい黄昏、平助は人氣のない舳に三吉を誘つた。船の引く水跡が千里の彼方にまで白々と續いて見えてゐた。

――話を聞かされると、三吉はサッと顔色を變えた。が、すぐ觀念したやうに青白んだ殺氣の籠つた表情で唇を堅く嚙んだ。

「――と云ふ譯だが、むろん、わしァ默つて他言はしねえ。お前さんも大阪へ着いたら陸に上つて身を隠した方が得策だらうぜ」

平助はともかく重荷を卸した氣持で云つた。

「――えらい心配をかけたなあ」

やつと三吉は小さく云つた。そして暫くて悄然と呟くやうに云つた

「悪い事は出來ねえものだ。俺ァすつかり逃れたつもりでゐたんだが」

それから一、二日は經つた。三吉と平助との間には、併し、平助が始め考へたやうに告白に依る圓滿は到來しなかつた。それよりなほ一層妙にこぢれた冷たい氣まづい溝が深く掘下げられてゆくやうだつた。三吉は平助を見ると「自分の秘密を握る男」に對する恐怖と憎しみが知らず心に湧きあがつた。平助はそれを三吉の顔や態度から知るにつけ、自身もすつかり憂鬱になつて、なるべく三吉から離れた立場を取らうとした。

それは長い海路を、やつと吹き初めた順風に縮めて、あと一日のうちには大阪の地を見ようとする紀州沖での事だつた。風は俄に烈しく變つて、夜に入つてからは全く暴風となつた。小山のやうにも盛り上る水面は千石積の大船を木片かなにかのやうに翻弄した。時節と云ひそれは酷い難儀だつた。船夫たちは一心に金比羅宮を念じ乍ら船の安全を必死になつて計つた。

その最中だつた。馴れない平助は足を滑らせて顛倒した。彼の身體は起き上る間もなく、激しい勢で舷を襲ふてきた大波に巻き込まれさうになつた。平助は辛うじて舷に出てゐた欄木にしがみついた。そして叫んだ。

「救けてくれ…」

が、誰もその聲に應ずる餘裕を持つ者は居なかつた。誰れしも自身の體さへ自由ではない場合だつた。然し丁度その時近くにゐた三吉は平助の聲を聞くと勇敢に危險を冒してその方に近づいて行つた。

「救けてくれ！救けてくれ…」

平助は必死に絶叫しつづけてゐた。三吉は物にすがり乍ら這ふやうにして近づいた。そしてやつと船舷に達すると、膂力をこめて今にも海中にさらはれやうとしてゐる平助の體を引寄せた。

「大丈夫だぞ、平助さん…」

そして三吉は己が身の危險も忘れて、平助を船の中に引づり込もうとした。その時三吉は不圖思つてはならない事を思つた「この男は俺が人を殺した事を知つてゐる奴なんだ」――三吉はギヨッとした。が、無意識な惻隠の情は、平助を安全に抱き寄せてゐた。

が、その時だつた。既に半死の狀態にある平助が聲をあげて叫んだ。

「三吉！お前は俺を殺すんだな！」

三吉は鋭い刃物で心臓をつき刺されたやうに思つた。ギギギと船體がきしんでその時船は急角度に傾きかゝつた。平助を抱いた三吉は重心を失つて舷に激しく倒れかゝつた。その拍子に、三吉の手は思はず出來るだけの力をこめて、平助の體を海の中につきとばして了つてゐた。

滿日文藝

滿日柳壇

募集吟「花」

花の山女裝の髭に酌をされ　大連　凡稚
留置場の窓から花のことも聞き　大連　新月
獨り者花見の外に人も見る　大連　岳泉
花の山訪ふ人もなく淋しがり　湯山城　軒風
内緣は花見に本性さらけ出し　旅順　千潭
年増にはちと不似合な花子の名　旅順　屯狂
花の山家で見られぬ藝も出し　大連　芳人
終點で滿員になる花見客　大連　惣太郎
花に醉ひ酒にも醉ふて下る山　立山　愛愁
花の會その一輪が風致なり　沙河口　哥壽美
賣れ殘り花嫁の床へ春盛り　山城鎭　濟風
活けるまで位は知つてゐる花屋　撫順　晴岳
有綿に暮して花の名も覺え　奉天　照太郎
花散りて失戀いつそ淋しがり
公園の花へ誘ふて初見合ひ
花札へ目附の變る負をとり
花鉾り下戸も浮れた歩きっき

川柳募集課題

◇連鎖街　五月十五日〆切
◇朝起き　五月二十日〆切
◇パラソル　同上
▽一題五句住所氏名明記▽大連市彌生町十六高橋月南宛
滿日文藝係